

洛 書

R A K U

S Y O

— 平成27年度 研究紀要 —

札幌市学校図書館協議会

平成27年度研究紀要『洛書』

目次

◆ もくじ	2
◆ 巻頭言 札幌市学校図書館協議会会長 荻原 啓	3
◆ 1. 平成27年度活動推進計画	4
2. 平成27年度活動報告	7
◆ 研究研修部	
1 研究研修部	10
2. 寄託図書研究部	21
3. 学校図書館地域開放研究部	22
◆ 事業部	
1. 感想文コンクール部	25
2. 図書選定部	26
3. 情報部	26
◆ 会則	27
◆ 選定図書リスト	31
◆ あと書き 札幌市学校図書館協議会副会長 松井 良彰	106

巻頭言

一足一足山をも谷をも踏み越えよ

札幌市学校図書館協議会 会長 荻原 啓
(厚別南中学校長)

今年度、市内中学校10校へ学校司書が配置されました。学校図書館にかかわるものにとっては、大変喜ばしいことです。市内の中学校に順次配置し、平成31年度までに全校配置が完了する計画です。これは、昨年度6月の「学校図書館法」の改正によって、はじめて法律上に学校司書が位置づけられたことに大きく影響されています。また、札幌市では平成17年度から子どもの読書活動推進の第1次計画をスタートさせ、今年度からは第3次計画が始まりました。国をはじめとする行政が、生涯学習推進施策の一環として、子供の読書活動を後押しする取り組みが広がっています。学校図書館でも学校図書館法の前回改正から19年が経過し、司書教諭の存在が教育現場に定着してきました。そして、前述した学校司書の配置へと続き、すべてが順風満帆のように見えますが、まだまだ課題も残されているのが現実です。

現場では教員が学校図書館運営に携わる場合、担任をしながら図書館運営を行わなければならないことも少なくなく、レファレンスサービスを十分に行えないケースがあります。学校図書館の開館についても放課後の時間が諸会議に取られ、児童生徒の希望に応えられないケースもあります。こうした細かな問題に、各校司書教諭や学校図書館担当者は地道に取り組み、改善するべく努力を重ねてまいりました。読書活動を重んずる気運が高まる今こそ、学校図書館に携わる者は、子どもたちの豊かな読書生活を支えるために、日々の課題や情報を交流し、解決の糸口をつかんで実践に反映させなければなりません。学校図書館にかかわる者どうしが手をつなぎ、より強固な取組を創出するべきです。

札幌市学校図書館協議会は、学校図書館に携わるすべての人が横のつながりを強固にし、子どもの読書活動を豊かに育むために設立されました。その精神は現在までも引き継がれ、年間計画に配置されている実務研修会や研究会によって具体化されています。また、コンクール事業では全国につながる読書感想文コンクールを開催し、札幌市としての表彰式を毎年中央図書館で挙行しています。子どもたちの感性が読書によって磨かれ、ますます思考が深まる様子が毎年の作品から感じ取れ、そうした作品はどれも素晴らしいものです。作品集は市内小中学校全てに配付されておりますので、入賞作品をぜひお読みください。子どもたちの歓声の素晴らしさに感動していただけるものと確信しています。

表題の「一足一足山をも谷をも踏み越えよ」は国語教育学者西尾実先生の言葉です。まさに、今の自分の心境に合致します。そして、札幌市学校図書館協議会の現状と重なるように感じています。「学校図書館」や「読書」について考えると、札幌市の特色ある教育の一つに据えられ、一段と各学校における取組が進みました。ブックさあくるによる公共図書館との連携強化や学校司書の配置もかないました。しかし、それらを一層効果的に活用するために、組織を動かす人材がまだまだ不足しています。現場の多忙化によりせっかくの研修にも参加できない、人と人が分断されている実態もあります。また、「学校図書館」を取りまく状況の変化とともに、新たな課題も沸いてきます。一つ一つの課題を解決するために、学校図書館協議会が組織としての力を発揮し、「一足一足」前進していきます。振り返れば、過去、今よりもっと困難な時代に、「一足一足」前へ進むために努力されていた先人たちがいらっしゃる。その先人たちの労苦を思うとき、気持ちの引き締まる思いです。今は子どもたちの読書活動を豊かにするために、たくさんの教職員の皆さんが汗を流していらっしゃいます。互いの力を併せれば素晴らしい取り組みが必ずできると確信しています。学校図書館に携わる者どうしが連帯し、スキルアップを成し遂げる場。札幌市学校図書館協議会の使命を、今後ますます果たしていきたいと思えます。

最後になりましたが、今年度も札幌市教育委員会をはじめ幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の教職員のみなさまや教育関係諸団体及び協賛各社の多大なるご支援とご協力をいただきましたことを、この場をお借りし深くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

1. 平成27年度 札幌市学校図書館協議会

推 進 計 画

はじめに

札幌市では「札幌らしい特色ある学校教育の推進」の中で生涯にわたる学びの基盤として【読書】を取り上げ、教育の柱として取り組んでいる。

一斉読書として朝読書を行う学校がほとんどとなり、読書に目を向ける学校も増えた。

しかし、指導要領に謳われる「言語活動」を、学校図書館を活用した活動に繋げるため、一斉読書だけでなく教科・領域の学習と結び付けた読書活動に広げていくことが必要である。

そのためには司書教諭の活躍が不可欠である。しかしながら、多くの司書教諭が、どう活動すればよいかのわからなかったり、学校事情で継続的に担当することができなくなったりなど、まだまだ司書教諭が十分に活動できる環境とはいえない。

本会では、これまでも司書教諭を対象にした実務研修を行い、司書教諭の取り組みに寄与してきた。

そこで昨年度に引き続き、「司書教諭が積極的に活動に取り組めるよう、基本に立ち返った支援」として以下を重点として活動していきたいと考えている。

取り組みの重点

1 札幌市の特色ある教育を進めるための研修・研究の充実

- 実務研修などで、学校図書館における司書教諭の基礎的な実務の具体例を伝えていく。
- 授業研究を通して、「学習情報センター」としての役割や学び方指導等を学び、教育課程に寄与できるようにする。
- 司書教諭の交流機会を増やし、日常の読書活動が効果的になるよう、学校図書館の活用の仕方について実践を通して検証し、広く発信していく。

2 学校・家庭・地域社会との関わりの中での学校図書館の役割の模索

3 情報社会における学校図書館のあり方について検討

これらの重点の実現のため、研究研修部・事業部それぞれが以下のように取り組みを進めていく。

○研究研修部計画

研究主題

学ぶ喜び

味わう楽しさ

～子供の育ちを支える学校図書館の創造～

主題の解説

ここ数年の間に学校教育の中で「読書活動」がクローズアップされ、認知されるようになってきた。

学習指導要領では「言語活動の充実」が謳われ、小学校中学校ともに学校図書館、読書活動の重要性が認識され、積極的に学校図書館が活用されるようになったこと、朝読書の活動の広まりなどがその一因と考えられる。

さらに、札幌市では読書を教育の特色ととらえ取り組んでいこうという体制もできてきた。

このような状況の中で本会の今年度の重点「札幌市の特色ある教育を進めるための司書教諭への支援」がより重要性を増してきたと考える。

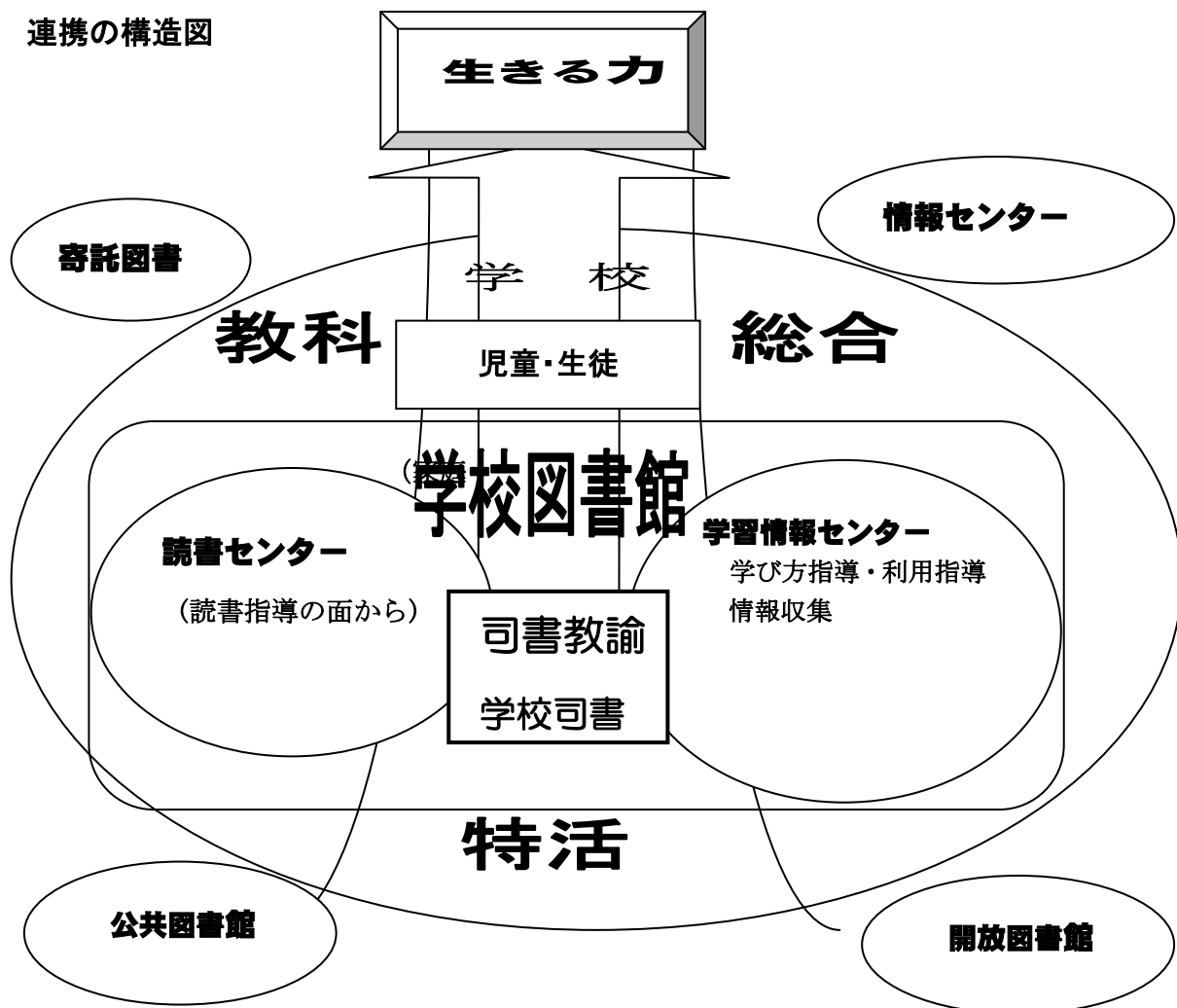
そこで研究の主題を「学ぶ喜び、味わう楽しさ ～子供の育ちを支える学校図書館の創造～」として研究を進め、「司書教諭、図書館担当者、学級担任が子どもたちに学ぶ喜びを与え、本を読むことよき、味わうことの大切さに気づかせるために、どのような関わりをもっていくことが望ましいのか」を考えていく。

昨年度は、小学校 5 年生の国語「本は友達」を通して子どもたちが図書館の利用を増やすにはどのようにすればよいかを考える授業に取り組んだ。その中で、様々な原因や解決を考える中で、自身が図書館と近くなり、読書に取り組もう、図書館を利用しようという意識が高まった。このように言語活動を取り入れた授業を充実することで子どもたちの読書活動に広がりが見られた。今後はより具体的に、学校図書館に「学習情報センター」「読書センター」の機能を充実させることで教育課程にどのように寄与することができるのか、また、「公共図書館」「開放図書館」等地域にある図書館機能を学校現場でどのように活用していくことがよいかという点を追求していきたい。

2 各部計画

- 研究研修部・・・・・・・・各校種での「学び方指導」、「読書指導」の実践、資料収集。
第39回研究大会の企画運営
司書教諭に関する研修の実施、研修プログラムの充実。
- 寄託図書研究部・・・・・・・・寄託図書活用の方法を模索。実践例の収集。
- 開放図書研究部・・・・・・・・「開放図書館事業」家庭・地域社会・学校との連携についての研究。
開放図書館の実践例や様子を広く伝えていく。

連携の構造図



○事業部計画

1 今年度活動にむけて

事業部の活動は読書に関わる様々な取り組みを通して、広く読書活動のよさを伝えていくために重要である。昨今は授業内容の増加などに伴い、読書感想文の取り組みを行う学校も減ってきているが、より深く読書に取り組むためには重要な手法であり、そのよさを伝えていく必要がある。

また、子どもたちに読んでほしい本の選定を毎月行っており、選定図書を多くの先生方に伝えていくことも読書活動を広げるために重要である。

そこで、読書感想文コンクールや図書選定について、HPなどによる情報発信を行い、多くの先生方への情報発信などを行っていく。また、これらの取り組みに多くの先生方に参加いただけるよう働きかけていきたい。

2 各部計画

○コンクール部・・・読書感想文コンクールの計画と実施。

○情報部・・・ホームページの更新。広報紙の発行。

HPアドレス：<http://www.sapporo-sla.com>

○図書選定部・・・道SLAと共同で優良図書を選定。選定した図書の紹介。

2. 平成27年度 活動報告

平成27年度は、3回の実務研修会をはじめ、様々な活動を行ってきた。研究大会は、平岸中学校で行われた。

- 4月10日(金) **第1回事務局研修会**
 - ・総会準備, 今年度活動方針の確認
 - 4月23日(木) **第1回拡大事務局研修会**
 - ・総会準備, 総会資料発送準備
 - 4月30日(木) **札幌市学校図書館協議会総会**
(会場 札幌市中央図書館)
 - ・研究主題, 各部計画の提案, 承認
 - ・役員選考, 決定
 - ・会計報告, 予算案提案, 承認
 - 第1回実務研修会**
 - ・「読書活動の推進について」
 - 6月17日(水) **第2回事務局会**
 - ・実務研修会検討, 研究推進
 - 6月 『読書感想文コンクール応募要項』 発送
 - 6月25日(木) **第2回実務研修会**
 - ・「新聞記事データベース活用法」(札幌旭丘高等学校)
 - 7月 6日(木) **第3回事務局会**
 - ・実務研修会検討, 研究推進
 - ・読書感想文コンクール詳細検討
 - 7月27日(月) **第3回実務研修会**
 - ・「学校図書館クリニック」(札幌市立北白石中学校)
 - 9月10日(木) 読書感想文コンクール一次審査会
 - 10月 5日(月) 読書感想文コンクール二次審査会
 - ・佳作賞, 優良賞, 特別賞, 学校賞の決定
 - ・北海道読書感想文コンクールへの応募作品の決定と発送
 - 10月22日(木) **第4回事務局会**
 - ・読書感想文コンクールについて, 研究大会検討
 - 11月 4日(水) 研究大会授業指導案研修会
 - 11月 9日(火) **第2回拡大事務局会**
 - ・読書感想文コンクール表彰式準備, 研究大会詳細検討
 - 11月14日(土) **第61回札幌市読書感想文コンクール表彰式**
(会場 札幌市中央図書館)
 - 11月17日(火) **第5回事務局会**
 - ・研究大会準備
 - 12月 3日(木) **第38回札幌市図書館協議会研究大会**
(札幌市立平岸中学校)
 - 12月 7日(月) **第6回事務局会**
 - ・研究大会反省
 - 1月21日(木) **第7回事務局会**
 - ・洛書について
 - 3月 2日(水) **第8回事務局会**
 - ・次年にむけて
- 広報紙「SLA通信」発行

研究研修部

1. 研究研修部

学ぶ喜び

味わう楽しさ

～子供の育ちを支える学校図書館の創造～

I 第39回札幌市学校図書館協議会研究大会報告

日時 平成27年12月3日(木) 5時間目 平岸中学校2年3組
男子18名 女子15名 計33名

授業者 小笠原 太郎 教諭

教科 国語科

単元名 「話し合って考えを広げよう ～図書館を充実させるために本を探そう～」

成果と課題

- 研究大会の参加者が例年なみに集まり良かった。
- スムーズに運営できた。
- 平岸中学校の先生方に協力していただき、ありがたかった。
- 授業者中心に研究が行われた。研究部がイニシアチブを取って授業づくりを行うべきだった。研究部としての主張、研究主題と授業の関わりなどが希薄だった。
- 授業検討会をもう少し早い時期から始めた方がよい。
- 小学校からの参加者がもう少し欲しかった。

☆課題はあるものの、提案性の高い授業ということで高い評価もいただいた。なにより授業者の小笠原先生が「やってよかった」と思ってもらえたことが今後につながると感じた。
以下に指導案を掲載。

国語科学習指導案

平成 27 年 12 月 3 日 (木) 5 時間目

2 年 3 組 男子 18 名 女子 15 名

計 33 名

授業者 小笠原 太郎 教諭

1. 単元名 「話し合って考えを広げよう ～図書館を充実させるために本を探そう～」

2. 単元の目標

①国語科として

図書館という身近な話題から課題を発見し、話し合い活動を通して、課題を解決するための材料を多様な方法で集めて整理し、考えを深めることができる。

②図書館協議会として

図書館を充実させるために入れたい本を少人数で検討する言語活動を通して、図書館の機能を知り、図書館への興味関心を高めることができる。

3. 単元について

本校生徒は、読書活動を行う際には真剣に本に向き合うことができている。朝読書は、ほぼ全ての生徒が開始時間から取り組み、集中して本に向かっている。また、1学期にPOP作りをした際も積極的に取り組み、工夫をしながら作品の魅力を伝えようとしていた。

反面、読書に対する自発的な意識は低い傾向にある。特に、朝読書以外の読書活動や図書館利用に対する意欲や関心が低い者が多いことが、今年度の全国学力・学習状況調査を行った結果明確化した。例えば「1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。」という問いに対しては、「10分より少ない」「全くしない」と答えた生徒は全体の 50.4%であった。また、「本を読んだり借りたりするために図書館にどのくらい行きますか。」という問いに「年に数回程度行く」「全く行かない」と答えた生徒は 89.1%にもなる。昼休みに図書館を利用する人数も少なく、同じ生徒に固定化されている現状である。

今回は札幌市学校図書館協議会で定義づけている、学校図書館の「読書センター」と「学習情報センター」としての機能を生徒に伝え、どのような本を入れれば本校の図書館が充実するかを考え話し合う活動を行う。その活動を通して、図書館やそこにある本に対しての興味や関心を喚起し、その後の自発的な図書館の活用や読書につなげたい。国語科としては単なる興味関心の向上のみにとどまらず、現状やその課題をとらえ、情報収集や整理、その後の話し合いを通して解決する能力の向上を目標とする。

4. 指導事項

- ・社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。
2年A 話すこと・聞くこと (ア)

5. 言語活動

必要な情報を収集し、本校図書館を充実させる本を選ぶために話し合う。(関連：言語活動例ア)

6. 言語活動の設定の理由

以下の三点の効果を見込み、今回の言語活動を設定した。

①国語科としての指導事項(2年A ア)を生徒が自然に身につけていく効果

今回は、「図書館の充実」という目的を設定したため、これを焦点化して話し合うために、まず本校図書館の課題を探る必要性が生まれる。またどんな本を入れるか検討するために、現状の確認や、課題を解決するための本探しなど、話し合いの材料探しに生徒が自然と取り組むこととなる。

②生徒の読書生活を広げる効果

図書館や書店の様々な本を手にとることや、検討で互いの本に対する意見を交流することを通して、普段自分が読まない本の価値や他者の読書観などに気づき、生徒の読書生活に広がりをもたせたい。

③図書館の利用者数を向上させる効果

授業で図書館や本に触れる機会が増えることや、その結果として図書館に本が入ることで、生徒の図書館や蔵書に対する興味や理解を刺激する。それを通して生徒の意識が図書館に向き、これまでよりも図書館の本を活用しようとする姿勢や、興味関心を掻き立てられるような本を探そうとする意欲が利用者数の増加という形で見られるのではないかと考えられる。

7. 指導計画 授業展開 (全5時間)

時	言語活動	学習内容
【単元を貫く言語活動】必要な情報を収集し、本校図書館を充実させる本を選ぶために話し合う。		
第1時	↓ 図書館を充実させるために本を選ぶよう話し合おう	平岸中学校の図書館に、足りない本・必要な本は何だろう。 ①学校図書館の機能を知る。(全体) ②本校図書館の蔵書を調査し、充実させるための課題を考える。(個人) ③各自の考えを元に、本校図書館の課題を話し合いまとめる。(班)
第2時		自分たちの課題について、図書館にどんな本があるか詳しく調査しよう ①各班から出された課題リストから、班で検討する課題を決める。(班) ②決定した課題について、本校図書館にはどんな本があるのか探す。(個人) ③課題に関する本校図書館の現状について交流し、まとめる。(班)
第3時 本時		自分たちの課題について、図書館にどんな本を入れたら良いか検討しよう ①課題解決のためにどんな本を入れたら良いか考える。(個人→班) ②他班と交流する中で要望や感想を述べ合い、考えを深める。(班⇄班) ③要望や感想を元に、どんな本を探してくるか確認する。(班)
冬休み		地域の書店へ行き、本を探しワークシートに記録する。(調査活動)
第4時		自分たちの課題を解決するために、どの本を購入してほしいか希望をまとめよう ①冬休みの調査活動を元に、購入したい本を検討して決める。(班) ②希望の本のリストを作り、購入したい本の特徴を明確化する。(班) ③学習の振り返りや反省を行う。(個人)
第5時	これまでの取り組みやどんなことができるようになったか振り返ろう ①振り返りや反省を個人が発表し聞き合う。(※互助会)	

※互助会…別の班員同士で新たな少人数班を作り、互いの班の活動の報告や相談、助言などを行う形式の活動。

8. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
①目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしようとしている。	①社会生活の中から話題を決め、話し合うための材料を多様な方法で集め整理している。(ア) ②目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げている。(オ)	①相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話したり聞いたりしている。(イ(オ))

9. 本時の学習 (3/5)

本時の目標

- ・どんな本を入れれば図書館の機能を充実させられるかを考え、考えたことを意見交換することを通し、自分の考えを深めることができる。

	生徒の学習活動	授業者のかかわり・留意事項
導入 5分	・前時のプリントをもとに、自分たちの課題と、現在の図書館にある本の傾向（現状）を確認する。	
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 自分たちの課題について、図書館にどんな本を入れたら良いか検討しよう </div> <p>ステップ1 (5分) ①図書館の現状・課題と、それを解決することができる本の特徴をワークシートに記入する。</p> <p>ステップ2 (15分) 入りたい本について、班で話し合う。 ①各自の考えを全員が発表する。 ②発表された意見をもとに検討する。 ③検討する中で出た意見を整理する。</p> <p>ステップ3 (15分) 他の班と交流し、班の考えを深める。 ①交流の流れを確認する。 ②各班のリーダーが、相手の班に発表する。 ③リーダーの発表をもとに、相手の班にどのような要望・感想・助言を話せば良いか整理する。 (作戦タイム) ④二つの班で集まり、相手班への要望、感想、助言を自由に発表する。(A班→B班の順)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が例を示す。 ・できるだけ、自分が見つけた課題を解決するよう促す。 ・リーダーが後で発表することに触れる。 ・新たな考えが出た場合も記録させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 評価【国語への関心・意欲・態度】① 観察（話し合いの様子から） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの発表中はメモを取らず、傾聴する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 評価【話す・聞く能力】① ワークシート </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表された要望などはメモを取り、記録する。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・班で、自班によせられた感想や要望をもとに、冬休み中どのような本を探してくるか話し合う。 ・課題についてどんな本を入れたら良いか、どんな本を探してくるかについて見通しが持てたかを全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな考えが出た場合も記録させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価【話す・聞く能力】② ワークシート </div>

【国語への意欲・関心・態度】

- ①どんな本を入れれば図書館の機能を充実させられるかを考えたり、考えたことを意見交換したりしている。

【話す・聞く能力】

- ①図書館の課題と現状を材料として、どんな本を入れたら良いかを考え、話し合いのために整理している。(ア)
- ②自分たちに対する要望や感想や、それを元にして班で話し合う中で、どんな本を探してくるか自分の考えが広げられている。(オ)

II 実務研修実施日程

回数	日時	実施場所(予定講師)	内容
第1回	4月30日	中央図書館 ●講師 岸峯 千恵子氏 (札幌市中央図書館運営企画調整担当)	「読書活動の推進について」
第2回	6月26日	中央中学校 ●講師 高瀬 敏樹教諭(旭丘高校)	「新聞記事データベース活用法」 講師
第3回	7月27日	北白石中学校 ●講師 北海道立図書館 北方資料室 鈴木浩一 氏	「学校図書館クリニック7 ～みんなで図書館をリニューアル！～」
研究大会	12月3日	会場校 平岸中学校 ●授業公開 授業者 小笠原 太郎教諭(平岸中)	第39回札幌市学校図書館協議会研究大会 授業公開(幼・小・中・高合同)

1) 第1回実務研修会 講演会記録

日時：平成27年4月30日(木) 15:00～16:20

会場：札幌市中央図書館講堂

講師：札幌市中央図書館運営企画課主査
岸峯 千恵子 様

「読書活動の推進について」

今日は、今後子どもたちの読書活動をどのように推進していくかということについてお話をしたいと思います。

まず、「子どもの読書活動推進計画」についてお話をいたします。この計画は「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、各都道府県や市町村で策定されているものです。法律上、都道府県と市町村には計画の策定について努力義務が課せられています。

昨年度の「子どもの読書活動の推進に関する法律」に関わる一番大きい出来事といえば、6月の「学校図書館法」の改正ではないかと思います。学校図書館に学校司書を置くということを努力義務とするように改正されました。また学校司書の資質向上を図るために、研修の実施とその他必要な措置を講じるように努めることとされておりまして、今後、学校司書という立場になるためにはどのようなことをしたらいいかというようなことが、国の方で決まってくるのではないかと考えております。

さて、札幌市では平成17年に第1次計画、平成22年に第2次計画を策定しております。現在、第3次計画を策定作業しており、昨年度、アンケート調査のほか、有識者や市民の方々に参加していただく会議を開催して検討しました。また、学校のご協力で、子どもたちと意見交換をさせていただきました。有識者会議では、学校図書館協議会の方にも御協力いただきまして、副会長の木村先生には、いろいろ貴重な御意見をいただいております。

また、計画の改定に当たり、最近の子どもたちの読書状況、読書活動の現状を検討しました。皆さんも御存知の通り、最近ではスマートフォンが急速に普及しています。小学生は持っている子どもは少ないのですが、中学生になると4分の1位、高校生は9割以上がスマートフォンを持っているという調査結果が

あります。利用時間は、平均すると平日一人当たり 107 分ということで、1 時間半以上使っています。経年の変化でいうと長時間化が進む傾向にあります。どのようにインターネットを利用しているのかというと、まず LINE などの SNS を使ったり、ちょっとした事を調べたり、ゲームや音楽のダウンロードをしたりしているという調査結果があります。次にいわゆる不読率についてですが、これについては学校一斉読書活動を行っているところが増えておりますので、1 か月に本を読まない子は減ってきておまして、改善傾向が見られます。札幌市も同じ状況になっていると思いますが、公共図書館や学校図書館の利用が減少しているという現状が見られます。

子どもについては法律が施行された時よりも現在は本を読むようになってきているという調査結果がありますが、反対にここ数年の傾向として大人の読書活動が減少しているという調査結果があります。なぜ本を読まないのかということをお聞きすると、仕事で時間が無いということもあるのですが、スマートフォンなどに時間を取られて読む時間がないというふうに回答している人がここ最近増えております。

次に、第 3 次計画の素案の大まかな内容について説明します。

まず、基本的な考え方についてです。子どもの読書活動は、言葉を学び、自らの感性を磨いて表現力や想像力を豊かなものにするとともに、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、知的探究心や真理を求める態度を養うことで、個人の自立の基盤となる力を育むもので、読書の楽しさや大切さを広く社会で認識し、子どもの興味関心を尊重しながら、子どもが自主的に楽しく読書習慣を身に付け、読書活動を通じて自ら考え、自ら行動し、人生を深く生きる力を育む環境づくりを進めるということを基本に施策を進めることとしています。

次に計画の基本目標と基本方針についてですが、基本目標は「読書の楽しさにふれる」「読書の大切さを知る」「子どもの読書をみんなで支える」という三つの目標を掲げる予定です。これは第 2 次計画と同じです。

それに付随して、どのような方針でこの目標を達成するかというところで三つの方針を掲げています。一つ目が子どもの発達に応じた読書に親しむ機会の充実、二つ目が子どもの読書に関する普及・啓発、三つ目が子どもの読書環境の充実というように今のところ考えております。これらは一つ一つの目標に対応するような形で作っていくという仕組みになっております。

次に第 3 次計画の主要な新規の施策についてです。来年、白石区役所が移転するのですが、その移転先の白石区複合庁舎の 6 階に仮称ではありますが絵本図書館ができる予定です。絵本図書館ができるということもありまして、乳幼児保護者向けの読書活動をより一層支援していくということを一つの新規施策として掲げております。もう一つは、なかなか本を読まなくなる年代と言われている中学・高校生向けの読書活動支援を進めていきます。最後に、学校及び学校図書館の読書環境整備を主要な新規の施策として考えているところです。

まず、乳幼児保護者向けの読書支援活動ですが、絵本図書館を設置し乳幼児保護者向けの行事を実施します。現在、市内の図書施設で読み聞かせやおはなしの会などを定期的に行っていますが、絵本図書館でもそのような行事を行うとともに、保護者向けに小さなお子さんのいるお母さんやお父さん向けの事業や、親子で参加できるような行事を行うことを考えています。その次に 0 歳から 1 歳児、2 歳児、3 歳児以上というように年齢に応じてサービスプログラムを作っておはなし会を行うことを考えています。次に幼稚園とか保育所などに団体で利用してもらおうということで団体向けサービスプログラムを作り、クラスごとに来ていただいて絵本図書館の中で楽しく過ごしてもらおうと考えております。その他に、さっぽろデジタル絵本事業を考えています。これは市民の方や創作をされている方に絵本の作品を応募していただいて、それをデジタル絵本にし、電子書籍を貸出ししている札幌市の図書館の電子図書館を使用して、貸出しできるようにしようというものです。それとボランティアの育成と連携があります。絵本図書館のいろいろな活動をボランティアさんに協力していただいて、一緒に楽しく図書館を作っていくことを考えています。

次に中学・高校生向けの読書活動の支援についてです。今、札幌市の図書館ではあまり中学・高校生向けの支援というのを積極的に行っていないという状況があります。しかし、中学・高校生は、進路や友達関係、恋愛の問題など、いろいろ悩みの多い年頃でもあります。そういった悩みを本が助けてくれるということもあると思いますので、中学・高校生向けに支援していくことを考えております。

具体的には、図書館に中学・高校生向けのコーナーを設置する予定です。中学・高校生向けの本を展示したり、何か情報交換のコーナーを作ったりというようなことを考えております。次に、中学・高校生向けのホームページを作るというのもあります。現在、札幌市の図書館ではキッズページという子ども用ページがありますが、中学・高校生向けには、区別してページを作った方がいいだろうと考え、そういったものを作れないかと考えています。次に中学・高校生向けの行事や、中学・高校生向けの情報提供を考えています。最後に、図書館の使い方、いわゆる調べ物など情報活用能力向上のための講座などを実施するというを考えています。図書館でこういうことをやりますよと言っても、生徒はあまり来ないと思うので、アプローチ方法を工夫しながら実施することが必要かもしれません。情報活用能力というのは、社会に出てからも必要になるものですから、その力を伸ばさせるようにする必要性を感じています。

次は、学校と学校図書館の読書環境整備についてです。学校図書館に読書推進のために全中学校に学校司書を配置することを検討しています。

以上が第3次子どもの読書活動推進計画として現段階で検討している内容です。現在、作成中でありまして、今後さらに調整し、パブリックコメントを実施して策定していくことになります。

次に、今後の図書館における子どもの読書活動推進の取組についてお話したいと思います。図書館では、毎年、乳幼児から小学生の高学年を対象として、読み聞かせ、おはなし会、工作会、映画会などを行っています。そのほか、1日司書体験ということで、司書の仕事を経験してもらっています。これは大変人気のある行事で、いつも抽選になるそうです。この他に、大学等の専門機関の協力をいただいて、サケクイズ、ヒグマクイズ、恐竜クイズという実物学習をしています。これは大学の先生などの専門家が実物の模型を使って講義をするほか、サケやヒグマなどのクイズを出して図書館の資料を使って調べながらクイズに答えるという行事です。

また、昨年度からは、いくつか新しい行事に取り組んでおります。一つ目は、ぬいぐるみのお泊り会という行事です。これは、子どもに自分の好きなぬいぐるみを図書館に持ってきてもらい、一晩図書館の方で預かり、次の日、ぬいぐるみを預けた子どもたちが、ぬいぐるみを取りに来るという行事です。取りに来た子どもたちには、ぬいぐるみが一晩図書館で遊んでいた様子や寝ている様子などを撮った写真をアルバムにしてプレゼントし、絵本を子どもたちにお薦めして、希望者には借りていってもらいます。二つ目は、読み聞かせというお母さんというイメージがあると思うのですが、お母さんばかりではないだろうということで、お父さんの読み聞かせを始めました。三つ目としては、外国語で絵本を読んでみるとどんな感じかなということで、外国語の読み聞かせも始めました。外国語の読み聞かせをしてくれるのは、札幌市の国際交流員の方で、去年はドイツの交流員の方とアメリカの交流員の方をお願いしました。

今後、取組を行う上では、子どもたちの意見が大切だと思います。昨年、第3次計画策定にあたり、図書委員の子どもたちから意見を聞きましたが、そこで出た意見は参考になると考えています。皆さんは子どもたちに実際関わっていらっしゃるの、だいたいお分かりになると思うのですが、新刊本やお薦めの本の紹介をしてほしい、映画やドラマの原作本・ノベライズ本、ケータイ小説、恋愛小説を置いてほしい、同じ世代や一つ上の世代に人気のある本を紹介してほしいという意見が多くありました。他には、友達やクラスで本を紹介し合ったらいいのではないかと、学校図書館では表紙が見えるように書棚を工夫したら効果が上がる、学校図書館の開館時間を増やしてほしい、他校の図書館を使えるようにしてほしいという意見もありました。大体共通するのは、本は好きなので読みたいのだけれども、実際にどういう本を読んだらいいのかわからないというものです。このような意見を受け止めて、今後の図書館の読書推進の取組に生かしていけたらと考えております。

図書館では第2次図書館ビジョンにおいて、知の拠点としての図書館を目指しており、市民の暮らしに役立つ情報拠点としての図書館の機能を積極的に果たしていこうと考えております。子どもたちに対しても、読書はもちろんのこと、情報リテラシーについても、図書館は様々な情報が集まったところですので、推進していけないかと考えております。図書館を使った情報の探し方を知っているのと知らないのとでは、その後の課題解決に当たって取り組む姿勢が変わってくるのではないかと思います。自分の体験から申し上げるのはあまり説得力がないかもしれませんが、私が最初に図書館に配属された時、レファレンスについていろいろ先輩方などから勉強させていただきました。その頃はネットが今ほど

普及していなかったので、直接レファレンスブックに当たりながら情報を探していくという地道な方法で行っていました。そのようにして情報を探していくと、案外見つかるもので、見つかった情報から更に違う糸口が見つかっていって、いろいろと突き詰めていくなかなか面白いものだなと感じました。こういう作業を勉強しておく、ネットを使うようになって、自然とその出典の原典に当たって調べるといふ癖が付いてきて、案外これが仕事の役に立ちました。中学生や高校生ぐらいで、自分で調べて課題解決に取り組む姿勢というものを勉強しておく、それから先の人生で役に立つのではないかと思います。

最初に説明させていただいた子どもの読書活動推進計画の策定については、図書館が担当していますが、札幌市全体の計画でありまして、札幌市で子どもの読書活動に係わる部局が全体で取り組んでいくというものです。また、市役所だけではなく地域の皆さんや子どもたちも積極的に参加していただいて、市全体として子どもの読書活動を盛り上げていくことが必要になってきます。取組自体はあまり派手ではなく、こつこつ積み上げていく地道なものが多いのですが、子ども一人ひとりが読書は楽しいものだという気持ちをもってもらえるように、皆さんと一緒に取り組んでいけたらいいなと思います。特に、学校の先生は子どもに大変な影響力があるので、ぜひとも先生方には御協力をいただきたいと思っています。

私自身、今でこそ図書館にいて読書も趣味の一つですが、小さい頃は絵本や紙芝居を母親がいろいろと読んでくれていたものの、小中高は読書感想文を書くために読んでいたくらいなもので、ずっと読書から離れていました。本を読み出したきっかけは、高校3年生の時に世界史の補講で、担当の先生が授業の合間に世界史関係の本をこれは面白いよ、あれは面白いよと紹介してくださったことです。先生がそこまでおっしゃるのであれば面白いのかなと思い、読んでみたら、結構面白かったので、そこから関係する本を読み進めていきました。本を読むきっかけは人それぞれ違うと思いますけれども、そのような経験のある者もおりますので、学校の先生方には少しずつでも構いませんので、子どもたちに本を薦めていただいて、本は楽しいものだというように伝えていただけたらと思っています。

私の話はこれで終わりにさせていただきます。どうもありがとうございました。

2) 第2回実務研修会 研修内容記録

日 時：平成27年6月25日（木）15：30～17：00

会 場：北海道札幌旭丘高等学校 M201 教室、図書室

講 師：北海道札幌旭丘高等学校 教諭 高瀬 敏樹 様

「新聞記事データベース活用法について」

旭丘高等学校で共通教科情報を担当している高瀬敏樹教諭を講師にお招きして、新聞データベース活用に係る講義と実習をしていただいた。

まず講義では、新聞記事データベースの特徴と活用方法について説明していただいた。また旭丘高等学校で契約しているいくつかの新聞記事データベースの特色を教わり、実際に検索実習を行った。次に実務研修会で学んだ新聞記事データベースの特徴と使用方法、ならびに代表的な記事データベースについての概要をあげる。

1 新聞記事データベースの特徴

① 新聞記事のキーワード検索が簡単にできる。

- ・ 従来は縮刷版で過去の記事を探すか、スクラップブックを作るしかなかったが、簡単に記事を検索できる。調べ物や教材作りに利用しやすい。
- ・ 調べたい事や作りたい教材がある時に、必要なキーワードを打つと、関連記事がすべて出てくるので、最も適切な記事を選ぶことができる。実はこんな記事もあったのだと新たな発見

をすることがある。スクラップだと関連記事を見落としてしまっていることがあるが、記事検索ではそれがない。

- ・ 連載している特集記事等を一度に探すことができる。
- ・ 比較的新しいキーワードについて、そのキーワードがいつ頃から使われているのかを調べるのにもキーワード検索が有効である。
- ・ 新聞記事のうちデータベース化されているのは、大体 1980 年代以降である。

② 広告がない。

- ・ 授業中、パソコンを使ってウェブ検索すると、どうしても広告が目に入ってしまう気になる児童生徒がいる。新聞記事データベースによる検索では広告がないので、対象に集中できる。

③ 連載小説や著名な方のコラムなどは、著作権の関係で載っていないものがある。

2 新聞記事データベースの使用方法

① キーワードは新聞記事で用いられている用語でなければならない。

② キーワードを入力する時は、必要最低限の文字にした方がヒットしやすい。

例) 札幌旭丘高校に関する記事を検索する場合 → 「札幌旭丘高等学校」 × 「札幌旭丘」 ○

③ 検索後、基本的には新しい順番に表示される。

④ キーワードについては、色が変わって表示されるので、どのキーワードでヒットしたかが分かる。

⑤ キーワード検索だけでなく、カテゴリー別の見出しからの検索も利用価値が高い。

⑥ 使い方については、ヘルプ機能がある。

3 代表的な新聞記事データベース

① スクールヨミダス (読売新聞社)

- ・ データベース検索が同時に 50 台できる「ヨミダス文書館」と「縮刷版 DVD-ROM」のセットで年間 9 万円 (税別)。高く感じるかもしれないが、新聞の縮刷版を購入すると月刊で約 6,000 円なので、「スクールヨミダス」はそれほど高くはない。縮刷版は、保管場所をすごくとるし、記事を探すのが大変である。旭丘高校では情報の教科予算と図書館の予算で折半して 9 万円を捻出し契約している。※データベースのみであれば 6 万円 (税別)
- ・ 読売新聞社のものは、データベース化されていない 1986 年以前のものも、別な形で画像として提供されている。
- ・ 英字新聞もある。英字紙の記事から邦文へと切り替えることができる。
- ・ ビューアが起動して、実際の新聞紙面のイメージで見ることができる。写真も一緒に見ることができる。切り抜き紙面の表示と印刷ができる。
- ・ 日付や期間を細かく設定して検索できる。
- ・ AND 検索 (すべての条件を満たすものを検索)、OR 検索 (複数の条件のいずれかを満たすものを検索)、NOT 検索 (必要のない語を除くものを検索) ができる。
- ・ 「びっくあっぷ」という所を使用したり、一括表示を選択したりして、読みたい記事をまとめ読みすることができる。
- ・ 全国の地域版も検索が可能である。
- ・ 縮刷版 DVD でもキーワード検索ができる。検索対象になっている記事にピン (印) がつく。広告検索もできる。

② 朝日けんさくくん (朝日新聞社)

- ・ データベース検索が同時に 50 台まで可能で年間 6 万円 (税別)。
- ・ AND 検索 (すべての条件を満たすものを検索)、OR 検索 (複数の条件のいずれかを満たすものを検索)、NOT 検索 (必要のない語を除くものを検索) ができる。
- ・ キーワードを入力しなくても、ジャンルやコラム名などで記事を探せる「ナビ検索」モードがある。
- ・ 「朝日新聞」「週刊朝日」「AERA」の最新記事が検索できる。「AERA」については創刊から

の情報がある。現代用語辞典「知恵蔵」も検索できる。

- ・ 「天声人語」や「社説」を和英対照で読むことができる。「Asahi Weekly」のコラム（英文）もある。英語学習を意識したものとなっている。
- ・ 「日替わり学習」というコンテンツがあり、漢字と英文法のドリルができる。漢字トレーニングは「天声人語」で使われている漢字から出題されている。英文法トレーニングは、大学入試センター試験レベルである。

③ 日経テレコン（日経メディアマーケティング株式会社）

- ・ 収録されている新聞が多い。全国紙は毎日新聞と日経各紙、一般紙は北海道新聞、河北新聞、中日新聞、西日本新聞を含む10紙を網羅している。
- ・ 利用料金が他に比べて高い。旭丘高校は10ID（10人が同時にアクセスできる）契約をしており、年間で12万円（税別）である。一斉授業で利用しづらいが、総合的な学習の時間や、教員の教材作成等で利用している。

④ 北海道新聞記事データベース（北海道新聞社）

- ・ 札幌市立の中学校には各校5IDが配布されており、IDは各校に連絡済みである。小学校は希望があれば対応してもらえる。
- ・ AND検索（すべての条件を満たすものを検索）、OR検索（複数の条件のいずれかを満たすものを検索）、自然文検索（文章で検索）ができる。

※ 複数社の新聞記事データを検索できる環境があれば、同じ題材でも新聞社によって取り上げ方や論調が違うということを学ぶことができる。

3) 第3回実務研修会 講演記録

日時：平成27年7月27日（月）9：30～16：00

会場：札幌市立北白石中学校図書館

講師：北海道立図書館 鈴木浩一様

「学校図書館の作り方」

1 プロローグ 石川県の学校司書配置などの事例について紹介

2 学校図書館の役割と現状

- ①学校図書館の役割
- ・ 学習の補助（調べ学習） → 資料・情報センター
 - ・ 本に出会う → 読書センター
 - ・ ほっとするところ → 本を介在した癒しの空間

【まちの図書館にいま求められているもの】

- ・ どこにいても利用できる全域サービス
- ・ 子供たちに本の楽しさを伝える → 子ども読書活動推進
- ・ まちの暮らしや仕事に役立つ図書館を
- ・ みんながあつまる、そして みんなで創る図書館を
　　< 置戸町の例 → 「図書館は本のあるみんなの広場」 >

【図書館の3要素】

- ・ 施設 → 建物・システム・ネットワーク
- ・ 人 → 職員・ボランティア・地域
- ・ 資料 → 図書・雑誌・視聴覚資料・データベース

②子どもが学校図書館を利用するための3要素 今取り組むこと

- ・ 施設 → 図書室のリニューアル

- ・ 人 → (教育委員会と学校の連携)
まちの図書館等の職員と学校の先生との連携・ボランティアとの協働
- ・ 資 料 → 子どもの読みたい本を学校に
古い本の修繕・本が足りない時はまちの図書館に相談する

③学校図書館の課題

- ・ 本が少ない・古い → 子どもたちの要望にこたえられるか
- ・ 図書室が遠い・古い・カギがかかっている
- ・ 専任の職員がいない

※平成 19 年度 音更中学校読書アンケート結果から

なぜ本を読まないか? ①忙しい ②読む本がない → ということか?
どのように進めてよいかわからないのであればまちの図書館に相談するとよい

④学校とまちの図書館の関係

まちの図書館は資料が豊富 ⇔ 学校図書館は毎日子どもが来る
・ 教育委員会と・学校・図書館が連携し計画的に取り組むことで子どもの読書活動が充実する

◆ところであなたの学校図書館はどうですか?◆

- ・ ふる〜い本が多い。 → 背表紙が日焼けしてなんの本だかわからない。etc…
- ・ 昼休みしか空いてない
- ・ 物置化している
- ・ 書架に本がびっしり詰まっている
- ・ ダメが多い (制限が多い)

「古い・暗い・狭い・遠い」では行きたくなるわけがない。どうしたら利用したくなるだろうか。

◇利用しやすい・したくなる・してよかった図書室はどんな図書室?

- ・ いつも開いている → 必要なときにいつでも図書室を利用できる
- ・ 読みたい本がある → 新刊書がある・展示が工夫されている・PR が上手
読み聞かせを行っている
- ・ 本が探しやすい → 書架の作り方が工夫されている
- ・ 利用方法が簡単で分かりやすい
- ・ 明るくて居心地の良い雰囲気
- ・ 余計なものを置かない

3 図書室をリニューアルしよう

- ① 改造のポイントを絞り、何に重点を置くか決めよう
- ② 室内の配置を見直そう → 書架・机椅子・カウンター
- ③ 本を整理しよう → 古い本を除架・除籍し新しい本を前面に
- ④ 必要のないものを整理
- ⑤ 展示物を見直そう
- ⑥ 入口からアピールしよう
- ⑦ ミニ展示コーナーをつくろう

4 学校図書館・まちの図書館の試み紹介

篠路西小・光陽小・発寒中など 15 の具体例について

5 学校図書館のリニューアルのポイント

- ④ 書室をチェック
- ② 古い本を除架・除籍して魅力ある本棚を
- ③ 書架で見せよう
- ④ 図書室を楽しく
- ⑤ ミニ展示をしよう
- ⑥ 表示を見直す (サインでわかりやすく)

2. 寄託図書研究部

I 今年度の現状について

1980年にスタートしたこの寄託図書制度は、子どもたちの学習活動に役立つ図書を複冊で揃え、市立小・中・高等学校で共同利用する札幌独自のものである。

今年度、運営を担う学校図書館情報センターが白楊小学校から明園小学校に移転した。それに伴うWEBシステムの不具合によりWEB申請が使えない状態になり、9月よりFAXによる貸出を行った。新システムの稼働は、次年度となる予定である。WEB検索、貸出申請ができないため利用が滞ってしまった。

II 寄託図書を活用した授業展開例

4年生 手稲宮丘小学校 熊崎茂介教諭
 単元名 きょうみをもったところを中心に、
 しょうかいしよう
 「ウナギのなぞを追って」

1) 単元の目標

【関心・意欲・態度】調査によって明らかになった事実と、考察で構成された調査報告書に興味をもち、進んで読もうとしている。

【読むこと】必要な情報と不必要な情報を区別し、目的に応じた要約をすることができる。

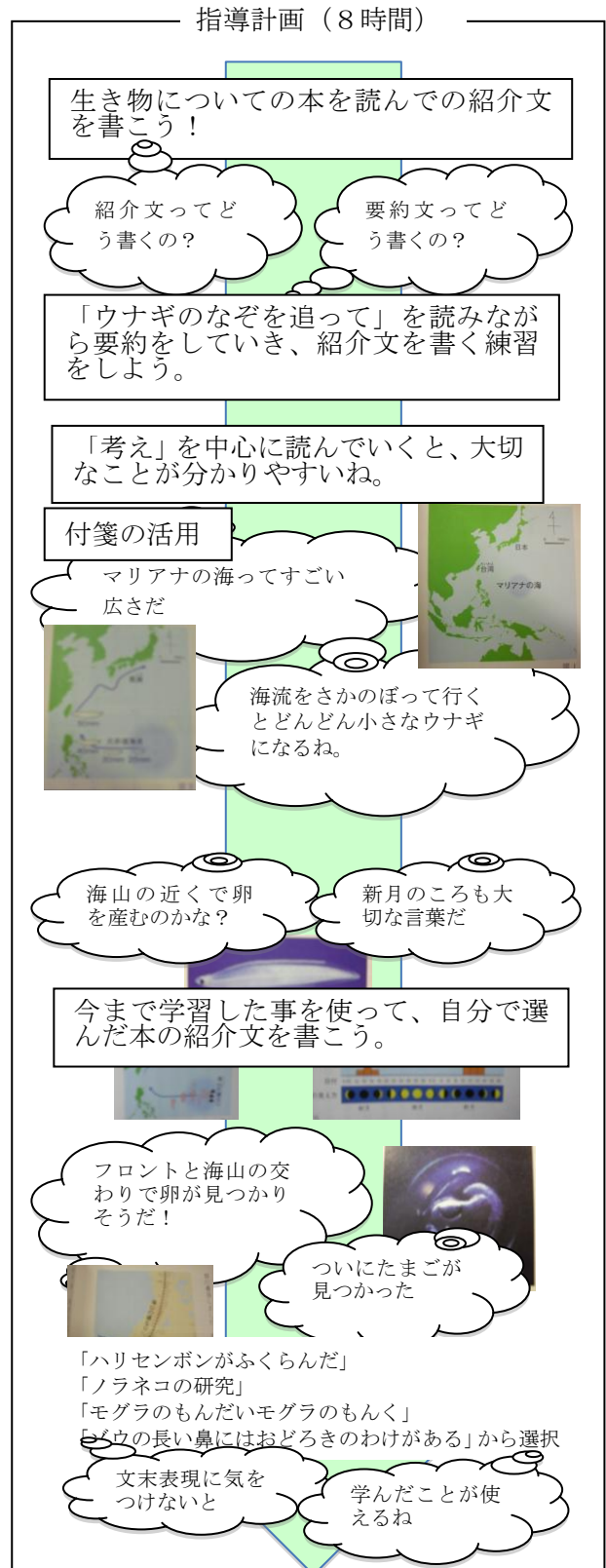
【書くこと】観察・実験・調査などの記録や報

2) 単元を貫く言語活動

言語活動として、紹介文を書く取り組みを設定する。並行読書をする本の紹介文を書くために、「ウナギのなぞを追って」の本文から調査の道すじが分かるための大事なことを読み取り、それを要約する活動に取り組む。要約文にまとめる活動を繰り返すことで、紹介文を書くために大切なことを文章から読み取る力を高めていく。

3) 寄託図書活用の良さについて

- 寄託図書を借りることで、学年の3クラスが、同時に同じ学習内容で取り組むことができた。
- 同じ本を複数冊借りることで、狙いに合わせて読む本を絞って指導することができた。図書館にある本を使用して指導するとなると、ねらいに合わない本を選ぶ子も出てきて、指導が難しくなると思った。



3 学校図書館地域開放研究部

I 目的

学校図書館を地域に開放することにより、子ども及び地域住民の読書活動を盛んにし、読書を通じて子どもと大人、大人相互の交流の場を広げ、地域社会の教育力向上に役立てる。

II 札幌市学校図書館地域開放協議会

札幌市学校図書館地域開放事業の充実向上及び読書環境の整備、併せて各開放校相互の連携強化を目的とする。市内各学校図書館地域開放校で構成され、平成27年度現在で小・中合わせて111校となった。

毎年5月に総会が開かれ、その後、運営委員長部会、校長部会、担当教諭・司書教諭部会、開放司書部会、経験者研究部会に分かれて部会をもつ。

秋の全体研修（今年度は旭川子ども富貴堂店長の福田洋子氏講演会を開催）のほか、運営委員長部会では区ごとに開放司書との合同会議をもち、全市代表者会議を開催している。開放司書部会ではお勧め本の紹介、手作り体験講習会のほか、トラック協会読み聞かせ広場への協力、道新絵本ワールドへの協力等を行っている。担当教諭・司書教諭部会では大久保雅人氏より読書指導についての研修会を行った。

開放校～平成27年度現在 114校

中央区…桑園小、大倉山小、日新小、幌南小、幌西小

北区…拓北小、屯田小、新川小、新琴似西小、新陽小、篠路小、鴻城小、太平小、
あいの里西小、新川中央小、新琴似小、幌北小、あいの里東小、北陽小

東区…栄北小、丘珠小、札苗緑小、札苗北小、札苗小、栄南小、中沼小、栄東小、栄町小
伏古小、美香保小、苗穂小、開成小、東光小、札幌小、明園小、元町北小、栄西小

白石区…東札幌小、本郷小、北都小、米里小、東橋小、北白石小、川北小、西白石小、南郷小
上白石小

厚別区…青葉小、厚別西小、上野幌小、共栄小、小野幌小、もみじの森小、もみじの丘小

豊平区…西岡南小、平岸西小、平岸高台小、中の島小、みどり小、平岸小、東山小、西岡小、
しらかば台小、福住小、あやめ野小、豊平小

清田区…清田緑小、北野小、平岡小、美しが丘緑小、清田南小、

南区…藻岩北小、藤の沢小、真駒内曙中、藤野小、南小、常盤小、石山南小、簾舞小、
南の沢小、真駒内桜山小、藻岩小 澄川小

西区…発寒西小、琴似中央小、西野第二小、平和小、手稲東小、手稲宮丘小、福井野小、
発寒東小、発寒小、西小、八軒小、八件西小、琴似小、二十四軒小、山の手南小、
西岡小、山の手小、発寒南小

手稲区…手稲北小、手稲西小、新陵小、前田中央小、前田北小、富丘小、星置東小、稲穂小
西宮の沢小、手稲中央小

事業部

1 感想文コンクール部



第61回 青少年読書感想文コンクール

札幌市読書感想文コンクール部門



平成 27 年 11 月 14 日(土)、札幌市中央図書館講堂において、第 61 回札幌市読書感想文コンクール表彰式が行われました。

来賓としてお招きした札幌市教育委員会指導主事横道幸紀様からのご祝辞の後、入賞者一人一人に賞状が渡されました。



札幌市長賞 : 「かけがえのない家族、かけがえのない命」
伊田 紗雪さん (札幌市立藤野小学校)

札幌市議長賞 : 「相手の立場になって」
宮下 巴菜さん (藤女子中学校)

札幌教育長賞 : 「平和への祈り」
田中 花歩さん (札幌聖心女子学院高等学校)



を始めとして、特別賞・優良賞など 39 名と藤女子中学校が学校賞を受賞され、表彰後に受賞者を代表して作品の朗読が行われました。

*** 【コンクール事業部長 金澤 幸子より】 ***

今回で 61 回を迎えた札幌市読書感想文コンクールですが、今年もたくさんの応募をいただきました。

まず、小学校の読書感想文を読ませていただき、最初を感じることは、本を読むことの楽しさです。最近、朝読書などの読書活動も浸透し、進んで読書に親しむ児童が増えてきた結果ではないかと思えます。普段の生活の中に読書が根付いていることが、感想文を読むと分かります。今後が楽しみです。

次に、中学校の読書感想文を読ませていただくと、感動する本に出会ったときの、心の高まりを受け取ることができます。1冊の本との出会い。その作品の魅力に引き込まれながら、自分を振り返り、本を通して成長していく。そんな心のありようが、よく表現されています。今年は、戦後 70 年の年ということもあり、「戦争」「平和」「命の大切さ」などをテーマにした力作も数多くみられました。

最後に、高校生の作品を読むと、視野の広がりを感じさせられます。「世界の情勢」「日本の社会」「自分の人生」「人と人との絆について」など、深い洞察力と瑞々しい感性で上手く書き上げています。その感想文に引き込まれ、私も考えさせられました。

今回も、このようなすばらしい作品にたくさん出会えたことに感謝して、審査講評と代えさせていただきます。



その他の受賞者などの詳細は、札幌市学校図書館協議会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。
(<http://www.sapporo-sla.com/>)

2 図書選定研究部

I 研究の概要

図書選定研究部では、毎月2回の選定会を、札幌市教育委員会4階入札控室を主な会場として、トーハンと図書館ネットワーク・サービスの助力によって新刊図書を提供していただき、北海道学校図書館協会と協力して行っている。この選定会には、毎回60～100冊の新刊図書が持ち込まれる。これらの図書の内容を概観し、幼児・小学校低学年・中学年・高学年・中学校・高等学校・その他向けの図書に分類することから選定が始まる。各自が担当のグレードの図書を読み、グレードを変更したり、選定候補の図書を選び、意見交流して、選定図書を決めている。この選定の結果は、札幌市学校図書館協議会及び北海道学校図書館協会のホームページ

(<http://www.hokkaido-sla.jp/topics/pdf/list>) 及び北海道学校図書館情報センター(イントラネット)のホームページ(現在は休止中)で公開しているので、各校の担当者や一般教員の方も、すぐに見ることができるようになっている。また、選ばれた本を実際に見られたい方は、明園小学校1階に設置されている北海道学校図書館情報センター書庫に保管されているので、そちらを利用していただきたい。

II 研究主題

「教育現場にいきる図書選定のあり方を探る」

III 研究主題について

各学校での図書館活動を支えるものは、やはり図書である。数多くある図書・新たに刊行される図書の中で、どの本が自校の図書館に必要なものであるか、どの本が子どもや児童や生徒にふさわしいのかをとらえることが、各教育現場での課題である。そのために必要な情報を送り出すことが、当研究部の責務ととらえ、研究主題として設定した。

IV 最近の傾向

本年度は、戦後70年ということもあり、ヒロシマ・ナガサキの原爆被害を扱った書籍をはじめ戦争全般に関する本が多かった。また、「安全保障関連法案」の採決にあたり、『集団的自衛権はなぜ違憲なのか』などの「憲法」の考え方に関する本も目立っていた。また、マララさんの本や中東やアフリカの戦場や現代の世界情勢に関連した書籍も目をひいた。そして、5年を経過してもなお復興が遅れている「東日本大震災」の被害に関する本もまだまだ目につく。

また、札幌市の小中学校では現在ほぼすべての学校で「朝読書」が実施されている、強制的な読書という捉え方もできるが、全く本に触れていなかった子どもたちに、ある種の機会を与えるという意味では効果をあげているように思われる。朝読書をきっかけに読書する習慣が身に付いたという生徒も多い。ただ、趣味の読書からさらに学習するための読書という段階に引き上げるためにはもっともっといろいろな手立てが必要である。そういう意味で学校図書館の活用は大きな課題であると思う。次年度からは各校への学校司書ボランティアの配置が始まる。司書教諭も互いに協力し合ってより多くの生徒に役立つ本を選書してもらいたいと思う。

V 今後の課題

当部の活動は、月二回の選定会へ出席し、直接新刊図書に触れて、児童生徒に供する優良図書を発見することにあるが、実質的に行動できる部員が限られているため、独自の活動は不可能な状態にある。選定も北海道SLAの選定結果をそのまま活用させていただいているという現状である。今のところ独自の解説をつけたリストの作成を行っているが、ここ何年も月単位でホームページにアップすることができていない実情である。次年度こそは時期外れにならないリストの作成に努めていきたい。

3. 情報部

情報部では、web ページでの広報と通信の発行を行っている。web ページは、平成20年度に独自ドメインを取得、開設し、活動の様子を紹介したり、選定図書や研修会資料の配布など情報共有を行ってきた。

しかし、今年度は、担当者の交替などにより、更新が滞っている状態である。現在、来年度に向けて、リニューアルを計画中であり、今後発展させていきたいと考えている。

札幌市学校図書館協議会会則

第1章 総 則

- 第 1 条 この会は、札幌市学校図書館協議会という。
- 第 2 条 この会は、札幌市立の学校・幼稚園、並びにこの会の趣旨に賛同する札幌及び近郊の学校・幼稚園で構成する。
- 第 3 条 この会の事務局は、事務局長の学校内に置く。

第2章 目的および事業

- 第 4 条 この会は学校図書館の運営について協議研究し、学校図書館による教育の充実とその発展を図ることを目的とする。
- 第 5 条 この会は、次の事業を行う。
1. 研究会
 2. 実務研修会並びに各種講習会
 3. 優良図書の推薦並びに共同選定
 4. 読書感想文コンクール
 5. 各種図書館視察研修・文学散歩
 6. 学校図書館ネットワーク事業
 7. 各種実態調査
 8. 公費による学校図書館職員配置に関する運動
 9. その他必要な事業

第3章 組 織

- 第 6 条 この会の目的を達成するために、研究部・事業部を置き、公務を遂行する。
- 第 7 条 この会は、次の役員と幹事を置く。
会長1名、副会長3名、監査3名、事務局長1名、事務局員若干名、幹事若干名、参事若干名、顧問若干名
- 第 8 条 第7条における任務を次の通りとする。
1. 会長は、会を代表する。
 2. 副会長は、会長を助け、または代理する。
 3. 監査は、会の運営を監査する。
 4. 事務局長、事務局員及び幹事は、会務を処理する。
 5. 参事・顧問は、会長の相談に応ずる。
- 第 9 条 第7条における選出方法を次の通りとする。
1. 会長、副会長及び監査は、役員選考委員会において人選し、総会において承認を得る。
 2. 事務局長、事務局員、幹事及び参事・顧問は、会長が委嘱する。
- 第 10 条 役員の内任期は1年とし、補欠により役員となった者の任期は、前任の残りの任期とする。ただし、再任を妨げない。

第4章 会 議

- 第 11 条 この会の会議は、総会と役員会の二つを持つ。
- 第 12 条 総会は、年1回の定期総会において、予算の承認、予算の審議、役員を選出、その他重要事項を審議する。また、必要に応じて臨時総会を開催することができる。
- 第 13 条 役員会は、会長、副会長、事務局及び参事をもって構成し、会長がこれを招集する。

第5章 会 計

- 第 14 条 この会の経費は、札幌市立の学校・幼稚園にあつては、札幌市教育委員会の補助金、並びに札幌及び近郊の学校・幼稚園の会費、及び協賛金等でまかなう。
- ※なお、会費は下記の通りとする。
- ・小、中、高等学校は、2,000円
 - ・幼稚園は、1,000円

第6章 付 則

- 第 15 条 この会の細則は別に定める。
- 第 16 条 この改正会則は、平成7年5月25日より実施する。

選定図書リスト

2014年度

1月の選定図書

選定

北海道学校図書館協会

札幌市学校図書館協議

協力

株式会社トーハン

(2014年12月に選定された本です)

図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

- 絵「にがいおくすりのめるかな」 深見春夫 岩崎書店 1300(税別)
絵「スケートにいこうよ」 リン・ベリー・文/なかたひろえ・絵 ほるぷ出版 1400

< 小学校低学年 >

- 絵「わたしのひみつ」 石津ちひろ・作/きくちちき・絵 童心社 1400
知「しもばしら」 細島雅代・写真/伊地知英信・文 岩崎書店 1500
絵「いわんこっちゃない」 スギヤマカナヨ 少年写真新聞社 1400
絵「そうだ、おてがみかこう」 なりゆきわかこ・文/いりやまさとし・絵 ポプラ社 1000
絵「らくだのおばけがやってきた。」 やまだともこ・作/いとうみき・絵 金の星社 1100
絵「よるです」 ザ・キャビンカンパニー 偕成社 1400 絵
「みんなでつくっちゃった」 長 新太 大日本図書 1500

< 小学校中学年 >

- ◎「ないしょにかんぱい!」 宮川ひろ・作/小泉るみ子・絵 童心社 1100
絵「十二支のどうぶつ小噺」 川端 誠 BL出版 1400
◎「被災犬「じゃがいも」の挑戦」 山口常夫 岩崎書店 1300
◎「開運えほん」 かんべあやこ あかね書房 1300
◎「ボクはじっとできない」 バーバラ・エシヤム文/マイク&カール・ゴードン絵 岩崎書店 1600
◎「コケンちゃん」 佐藤まどか・作/木村いこ・絵 フレーベル館 1200
◎「あかり」 林木林・文/岡田千晶・絵 光村教育図書 1300
絵「バルト」 モニカ・カルネシ・作/絵/中井貴恵・訳 徳間書店 1500
◎「カエルになったお姫さま」 アニー・M・G・シュミット・作/たちもとみちこ・絵 徳間書店 1400
◎「かぐやのかご」 塩野米松・作/はまのゆか・絵 佼成出版社 1300

< 小学校高学年 >

- ◎「パオズになっておひなさま」 佐和みずえ くもん出版 1200
◎「消えた犬と野原の魔法」 フィリパ・ピアス・作/ヘレン・クレイグ・絵 徳間書店 1800

< 中学校 >

- ◎「はじめての聖書」 橋爪大三郎 河出書房新社 1300◎
「東京駅をつくった男」 大塚菜生 くもん出版 1400
知「家庭でマスター!中学生のスマホ免許」 遠藤美季 誠文堂新光社 1200
◎「リアル折り紙 空を飛ぶ生きものの編」 福井久男 河出書房新社 1600
◎「恋の終わりは、いつも同じだけれど…」 ライナー・マリア・リルケほか くもん出版 1400
◎「ポテト・ブック」 マーナ・デイヴィス・著/伊丹十三・訳 河出書房新社 2100
絵「しばわんこの和の行事えほん」 川浦良枝 白泉社 1300
絵「鳥よめ」 あまんきみこ・作/山内ふじ江・絵 ポプラ社 1300

< 高等学校 >

- ◎「三浦雄一郎の肉体と心」 大城和恵 講談社 840

◎「フタバから遠く離れて(2)」	船橋 淳	岩波書店	1600
◎「現代秀歌」	永田和宏	岩波書店	840
◎「オペラ座のお仕事」	三沢洋史	早川書房	1600
◎「非除染地帯—ルポ3・11後の森と川と海」	平田剛士	緑風出版	1800
◎「邸宅美術館の誘惑」	朽木ゆり子	集英社	1900
◎「野蛮な読書」	平松洋子	集英社	600
◎「オウリィと呼ばれたころ」	佐藤さとる	理論社	1600

<その他>

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel726～2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本、詩は詩の本、写は写真の本、知は知識の本です。

2015年1月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

<幼児>

絵「にがいおくすりのめるかな」 深見春夫 岩崎書店 1300(税別)

P/25cm

病気になった、こぶたのプータは、苦いおくすりが嫌いです。そこへ、かいじゅうのこどもたちが、甘くて飲みやすい魔法のおくすりをもってきて…。「じょうずにおくすりを飲ませる方法」の解説つき。

絵「スケートにいこうよ」 リン・ベリー・文/なかたひろえ・絵 ほるぷ出版 1400

26P/21×26cm

今日は、待ちに待った雪の日。みんなでスケートにでかけよう! 5羽のなかよしアヒルは、急いで近くのお池にむかい…。雪あそびの楽しいひとときを描いた、冬の読みきかせにぴったりの絵本。

<小学校低学年>

絵「わたしのひみつ」 石津ちひろ・作/きくちちき・絵 童心社 1400

32P/21×23cm

わたしのひみつ、おしえてあげる。わたしね、てつぼうはにがてなの。だけど、へいのうえなら、ねこみたいにあるけるー。シンプルな言葉と色彩豊かな絵で、小さな女の子の気持ちをまっすぐにうたった絵本。

知「しもばしら」 細島雅代・写真/伊地知英信・文 岩崎書店 1500

31P/23×27cm

しもばしらは小さな氷の世界。地面にできた氷の粒に、どのようにして水が「ついて」「凍って」「伸びる」のでしょうか? しもばしらの秘密をわかりやすく紹介します。巻末にしもばしらをつくる実験や詳しい解説も収録。

絵「いわんこっちゃんない」 スギヤマカナヨ 少年写真新聞社 1400

P/26cm

ぼくのおじいちゃんは「よげんしゃ」だ。それは冗談。でも、悪いことはほんとによく当たるんだ。たとえば、手を洗うときに…。ページを開けば見えてくる、あるあるワールド! 見返しに4コママンガあり。

絵「そうだ、おてがみかこう」 なりゆきわかこ・文/いりやまさとし・絵 ポプラ社 1000

78P/22cm

小学校に入学したあやは、ともだちがなかなか作れずにクラスのなかで浮いてしまう。亡くなったお父さ

んにどこか似た、担任の小山先生と絵を介して心を通わせるうち…。著者の実体験をもとにした、じんわりしみる話。

絵「らくだのおばけがやってきた。」 やまだともこ・作/いとうみき・絵 金の星社 1100
88P/22cm

見習いおばけのれいたろうは、本物のおばけになるために修行中。さとしは、らくだばかりしているれいたろうの練習相手をする事になり…。引っ込み思案なさとしと、らくだのおばけのれいたろうの心あたたまる友情物語。

絵「よるです」 ザ・キャビンカンパニー 偕成社 1400
32P/23×29cm

すうちゃんは夜、怖くてトイレにいけません。と、とつぜん毛布がばくに変身!「ぼくが一緒だよ」というばくと一緒に、勇気を出してトイレにむかいますが…。ジャケットそでに切り取り式おまもり付き。

絵「みんなでつくっちゃった」 長 新太 大日本図書 1500
33P/28cm

森に新聞がたくさん落ちていました。少したつと、なくなっていました。さあ、だれが拾って、何を作ったのでしょうか? 1974年発行の絵本を、当時の趣を生かしながら装丁をしておし復刊。

<小学校中学年>

◎「ないしょにかんぱい!」 宮川ひろ・作/小泉るみ子・絵 童心社 1100
92P/22cm

3年1組の担任になってまもない八木省吾先生。クラスのみんなど手紙で話そうと、「ポスト太郎」を作って、教室の入り口に近い壁にかけました。さて、どんな手紙が舞い込むかな?

絵「十二支のどうぶつ小噺」 川端 誠 BL出版 1400
32P/29cm

食事中、ちよろちよろ出てきたねずみを、手もとのなべをかぶせてつかまえたふたりの若い男。なべの下のねずみの大きさを言い合っていると、ねずみの出した答えは…。十二支のどうぶつをネタにした、楽しい小噺絵本。

◎「被災犬「じゃがいも」の挑戦」 山口常夫 岩崎書店 1300
143P/22cm

東日本大震災直後に福島県飯舘村で生まれた犬の「じゃがいも」は、人を助ける「災害救助犬」を目指し、故郷を離れて特訓中です。その様子を、被災地の復興の実態とともに伝えます。

◎「開運えほん」 かんべあやこ あかね書房 1300
32P/25cm

おせち料理、たこあげ、七草がゆ…。日本のお正月は全てに「開運の願い」がこもっています。縁起の良いことが満載の、読んでいっしょにやってみたくなる絵本。

◎「ボクはじっとできない」 バーバラ・エシヤム文/マイク&カール・ゴードン絵 岩崎書店 1600
28P/23×23cm

ADHD(注意欠如・多動性障害)をもつ少年が、自分の特性に「気づき」、対策を「発見」する物語。自らの課題に気づき、自分で自分を管理する方法を発見するための望ましい考え方を、かわいい絵とわかりやすい文で紹介する。

◎「コケシちゃん」 佐藤まどか・作／木村いこ・絵 フレーベル館 1200
151P／21cm

スイスから来たコケシのような顔をした女の子、京ちゃん。堂々としていて、はっきり物事を言う京ちゃんに、内気なみるみは戸惑い…。みんなと仲良くなれる物語。

◎「あかり」 林木林・文／岡田千晶・絵 光村教育図書 1300
32P／27cm

女の子のところにやさしいあかりがとるようにと、おかあさんが願って作ったろうそく。最初はしあわせなときを照らすあかりだったのが、いつしか、つらいときに寄り添うあかりになっていて…。

絵「バルト」 モニカ・カルネシ・作／絵／中井貴恵・訳 徳間書店 1500
32P／21×24cm

ある寒い、冬の日のこと。子どもたちが、氷の上に何かいるのをみつけました。犬です。どんどん流されていきます。だれか、あの犬を助けてあげて！ ほんとうにあった、心あたまる物語。見返しに地図あり。

◎「カエルになったお姫さま」 アニー・M・G・シュミット・作／たちもとみちこ・絵 徳間書店 1400
214P／22cm

「わたし、カエルの皮でできた、きれいな緑色の帽子がほしいわ」すると、お姫さまは…。国際アンデルセン賞受賞作家による、お姫さまや王さまたちのゆかいな話。表題作ほか、「遊園地に行った王さま」など全12話収録。

◎「かぐやのかご」 塩野米松・作／はまのゆか・絵 佼成出版社 1300
94P／22cm

同じクラスの隼人たちから罪をなすりつけられ、泣きながら下校する清香に、竹のたばを抱えたおばあちゃんが話しかけてきた。おばあちゃんは、ザル作りの名人で…。世代を超えたゆるぎない友情を描く。

< 小学校高学年 >

◎「パオズになっておひなさま」 佐和みずえ くもん出版 1200
111P／21cm

よっちゃんとリンちゃん。日本人と中国人のあいだに、あたたかな友情が芽ばえました。それなのに、戦争で、ふたりは引きはなされることになって…。

◎「消えた犬と野原の魔法」 フィリパ・ピアス・作／ヘレン・クレイグ・絵 徳間書店 1800
142P／22cm

犬と少年、川と野原、仲のいいおばあさんたち、ネコ、モグラ、鳥たち…。物語の名手ピアスが愛したすべてのものがもりこまれた、最後の作品。ピアスと共通の孫を持つ、人気絵本画家クレイグの挿絵入り。

< 中学校 >

◎「はじめての聖書」 橋爪大三郎 河出書房新社 1300
201P／19cm

若い人へ送る、ほんものの聖書を読むための「予告編」。クリスマス、十字架、ノア方舟、愛、最後の審判、黙示録など、聖書の中の、これだけは知っておきたい39のトピックをやさしく教えます。

◎「東京駅をつくった男」 大塚菜生 くもん出版 1400
141P／22cm

駅舎の外まわりは、“赤い”れんがと“白い”石の帯。ドームの内部には、車輪や動植物など、さまざまな飾

り。たくさんのアイデアを盛り込んで、東京駅をデザインした男とは。日本で最初の「建築家」辰野金吾の人生を紹介する。

知「家庭でマスター！中学生のスマホ免許」遠藤美季 誠文堂新光社 1200
94P/26cm

学校現場では、SNSによるいじめや依存などスマホトラブルが急増！中学生が身につけたいトラブル回避術がマンガやクイズで身につく一冊。書き込み式のワークシートあり。

◎「リアル折り紙 空を飛ぶ生きもの編」福井久男 河出書房新社 1600
111P/26cm

ワシ、プテラノドン、カブトムシ、鳳凰、龍…。たった1枚の紙からつくれる驚きのアート。「空を飛ぶ生きものたち」のリアルな姿にこだわった本格派の折り紙の折り方を、イラストでわかりやすく解説する。

◎「恋の終わりは、いつも同じだけれど…。」ライナー・マリア・リルケほか くもん出版 1400
157P/20cm

思いが深いほど、一途であるほど、同じ重さの思いを相手から受け取ることは難しい…。オー・ヘンリー「自動車待たせて」や、イワン・ツルゲーネフ「あいびき」など、「恋」という感情を扱った全6作品を収録する。

◎「ポテト・ブック」 マーナ・デイヴィス・著/伊丹十三・訳 河出書房新社 2100
131P/21×21cm

ポテトにまつわるすべてを詰めこんだ“料理本”を、伊丹十三の洒脱な訳で。「インチキ・フレンチ・フライ」「百万長者のベイクド・ポテト」といった料理のほか、ポテト工芸、ポテト・ゲーム、ポテト美容法などを紹介する。

絵「しばわんこの和の行事えほん」川浦良枝 白泉社 1300
55P/27cm

季節の行事の意味や由来を、しばわんことみけにゃんこと一緒に親子で遊びながら学べる本。各行事にちなんだ折り紙の折り方や、季節の行事早見表、1年の行事食なども掲載。『MOE』等掲載に描きおろしを加えて書籍化。

絵「鳥よめ」 あまんきみこ・作/山内ふじ江・絵 ポプラ社 1300
31P/23×23cm

小さな灯台であかりを一人で守っていた若者のもとにやってきた鳥よめ。ふたりは夫婦となり仲良く暮らし始めるが、戦争の影が忍び寄り…。あまんきみこが平和への祈りを込めて描く、美しく悲しい愛の物語。

< 高等学校 >

◎「三浦雄一郎の肉体と心」 大城和恵 講談社 840
206P/18cm

80歳でエベレスト登頂という大きな夢を実現させた三浦雄一郎。エベレストに同行した山岳医の著者が、病気・挑戦・人生・家族・食・セックス・老いというキーワードから、三浦雄一郎の80歳のチャレンジをたどる。

◎「フタバから遠く離れて(2)」 船橋 淳 岩波書店 1600
249P/19cm

震災と原発事故により、町ごとの避難を強いられた福島県双葉町。同名のドキュメンタリー映画で語りきれなかった人々の生の声や撮影の背景を、監督が書きおろす。録りおろしインタビュー・対談も収録。

- ◎「現代秀歌」 永田和宏 岩波書店 840
257P/18cm
佐藤佐太郎、近藤芳美、穂村弘、俵万智…。大きな変化を経た時代に、歌人たちは何を言葉に託してきたか？自ら歌人として活躍する著者ならではの視座から、歌の現在を、そして未来を語る。「近代秀歌」の姉妹篇。
- ◎「オペラ座のお仕事」 三沢洋史 早川書房 1600
225P/19cm
外国人音楽家とのバトル、スター歌手の輝き、公演でのハプニング…。新国立劇場で専属の合唱指揮者として活躍する著者が、知られざる波瀾万丈の舞台裏とその人間模様を明かし、さらにユニークな指揮者論を展開する。
- ◎「非除染地帯—ルポ3・11後の森と川と海」 早田剛士 緑風出版 1800
166P/20cm
東京電力福島第一原発の過酷事故発生から3年半。除染対象から外れた「非除染地帯」の森・川・海では今も大量の放射能が生態系をめぐり続けている。非除染地帯で何が起きているのか、現地のリアルな状況を伝える。
- ◎「邸宅美術館の誘惑」 朽木ゆり子 集英社 1900
159P/21cm
世界有数のアートコレクターの邸宅で往時のままにコレクションが楽しめる“邸宅美術館”。ヨーロッパとアメリカから珠玉の15館を選び、収集の歴史や主な作品を丁寧な解説と美しいカラー写真で紹介する。地図&ガイドも収録。
- ◎「野蛮な読書」 平松洋子 集英社 600
301P/16cm
沢村貞子、山田風太郎、獅子文六、宇能鴻一郎、佐野洋子、川端康成…。食と生活のエッセイストとして活躍する著者が、海を泳ぐようにして読む103冊。読書の魔力をがぶり味わい尽くす。
- ◎「オウリィと呼ばれたころ」 佐藤さとる 理論社 1600
249P/20cm
「コロボックル物語」の作者・佐藤さとるが、オウリィ(ふくろう坊や)と呼ばれたころのことを綴った自伝。会員制の雑誌『鬼ヶ島通信』連載に書き下ろしを加える。短編童話「クリクルの話」「大男と小人」も収録。

<その他>

2014年度	選定	北海道学校図書館協会
2月の選定図書	協力	札幌市学校図書館協議
(2015年1月に選定された本です)		株式会社トーハン
		図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「いきものとかや」 塚本やすし アリス館 1300(税別)

< 小学校低学年 >

絵「ぼくはニコDEM だって、だって、だって」 アニエス・ラロッシュ文/ステファニー・オグソー絵 光村教育図書 1300
 ◎「とおくがみえるね、ムーミントロール」 トーベ&ラルス・ヤンソン 徳間書店 1400

< 小学校中学年 >

知「発見いっぱい！せかいのこっき」 井澤伸吾・編 ひかりのくに 1200
 絵「ロボのジョジョとおひめさま」 マイケル・モーパゴ文/ヘレン・スティーヴンズ絵 徳間書店 1600

< 小学校高学年 >

知「みんなを幸せにする新しい福祉技術①手話を通訳するタブレット」 孫奈美 汐文社 2400
 知「みんなを幸せにする新しい福祉技術②自分の足で行きたい所に行ける車いす」 孫奈美 汐文社 2400
 知「みんなを幸せにする新しい福祉技術③食べる喜びを届けるソフト介護食」 孫奈美 汐文社 2400
 ◎「金色のキャベツ」 堀米 薫 そうえん社 1200
 ◎「お米の魅力を伝えたい！米と話して365日」 谷本雄治 文溪堂 1300
 知「農家になろう⑥バラとともに 花農家 浅見均」 白石ちえこ・写真 農文協 1900
 知「農家になろう⑩ニワトリとともに 自然養鶏家 笹村出」 常見藤代・写真 農文協 1900

< 中学校 >

◎「18歳の著作権入門」 福井健策 ちくまプリマー新書 820◎
 「ラオス 山の村に図書館ができた」 安井清子 福音館書店 1500
 ◎「アラスカの小さな家族バラードクレークのボー」 カークパトリック・ヒル 講談社 1600

< 高等学校 >

◎「サンテグジュペリと星の王子さま～空に幸せをもとめて」 ビンバ・ランドマン 西村書店 1800◎
 「あのこ」 今江祥智・文/宇野亜喜良・絵 B.L.出版 1800
 ◎「ゼツメツ少年」 重松清 新潮社 1600
 ◎「たったひとつの『真実』なんてない」 森達也 筑摩書房 820
 ◎「アイヌの世界を旅する」 北原次郎太 平凡社 1200
 ◎「北海道の動物たち一人と動物の距離」 千嶋洋 ホーム社 1800

2015年2月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

絵「いきものとかや」 塚本やすし アリス館 1300(税別)
 32P/27cm

いろいろないきものが髪を切ってくれる「いきものとかや」。カニさんが切るとカニヘアー、リスさんが切るとリスヘアー…。はげたおじいさんが、ヤマアラシさんをお願いしたら、どんなヘアーになるんでしょう？

< 小学校低学年 >

絵「ぼくはニコDEM だって、だって、だって」 アニエス・ラロッシュ文/ステファニー・オグソー絵 光村教育図書 1300
 33P/27cm

ニコDEMは、パパとママの「どうして」攻撃に、ぴったりのこたえを見つけました。「どうして」って言われるたびに、「だって」って言うのです。するとパパとママが…？

◎「とおくがみえるね、ムーミントロール」トーベ&ラルス・ヤンソン 徳間書店 1400
26P/27cm

ムーミントロールが友だちから借りた望遠鏡がなくなっていました。興味津々で望遠鏡を見ていたトフスランたちを疑いたくはないのですが…。恥ずかしがり屋のトフスランとビフスランが登場する、楽しいムーミン谷の絵本。

<小学校中学年>

知「発見いっぱい!せかいのこつき」井澤伸吾・編 ひかりのくに 1200
64P/21×24cm

おさるのウッキー・コッキと国旗を見ながら世界旅行! 196の国旗を色やデザインが楽しめるように大きく紹介し、国名や首都名にはひらがなを付す。そっくりなものや動物の絵など、発見いっぱいの本。

絵「ロバのジョジョとおひめさま」マイケル・モーパーゴ文/ヘレン・スティーヴンズ絵 徳間書店 1600
40P/30cm

「ロバさんと、おともだちになりたいの!」だれにもやさしくしてもらったことのないロバのジョジョ。ところがある日、やさしいおひめさまと出会い…。ベネチアを舞台にした、胸がほんわかする物語。

<小学校高学年>

知「みんなを幸せにする新しい福祉技術①手話を通訳するタブレット」孫奈美 汐文社 2400
35P/27cm

「困っている人たちを助きたい」という開発者のシンプルなアイデアが出発点になった新しい福祉技術。1は、手話を通訳するタブレットをはじめ、メガネ型コンピューターなどを取り上げ、開発ストーリーとともに紹介する。

知「みんなを幸せにする新しい福祉技術②自分の足で行きたい所に行ける車いす」孫奈美 汐文社 2400
35P/27cm

2は、足こぎ車いすをはじめ、頭部保護帽などを取り上げ、開発ストーリーとともに紹介する。

知「みんなを幸せにする新しい福祉技術③食べる喜びを届けるソフト介護食」孫奈美 汐文社 2400
35P/27cm

3は、ソフト介護食をはじめ、天然由来100%の歯磨きジェルなどを取り上げ、開発ストーリーとともに紹介する。

◎「金色のキャベツ」 堀米 薫 そうえん社 1200
150P/20cm

夏休み、あたしは両親にないしょで、大好きな仁ちゃんのはたらくキャベツ畑へ行った。そして、テストもピアノの発表会もない高原の畑で、「キャベツで生きてる」人たちに出会った。大地に根差した物語。

◎「お米の魅力を伝えたい!米と話して365日」谷本雄治 文溪堂 1300
126P/22cm

高柳さんは、東京で三代続く老舗の米屋さん。出張食育授業、こだわり米の販売、カブトエビ農法の紹介など、日本のお米のよさを知ってもらうために毎日走りまわっている。米を愛し、米と歩んできた江戸っ子米屋さん奮闘記。

知「農家になろう⑥バラとともに 花農家 浅見均」白石ちえこ・写真 農文協 1900
36P/27cm

バラの育種と栽培を手がける花農家の仕事とは? 兵庫県の花農家・浅見均さんに密着し、その仕事を写真とともに紹介。バラの育種や栽培についての解説や、未来の花農家に向けてのメッセージも収録する。

知「農家になろう⑩ニワトリとともに 自然養鶏家 笹村出」常見藤代・写真 農文協 1900
36P/27cm

ニワトリを飼って卵や鶏肉を生産する農家の仕事とは? 神奈川県自然養鶏家・笹村出さんに密着し、

その仕事を写真とともに紹介。養鶏についての解説や、未来の養鶏家に向けてのメッセージも収録する。

< 中学校 >

◎「18歳の著作権入門」 福井健策 ちくまプリマー新書 820

202P/18cm

著作権を考えることは未来を創造すること！著作権の基礎的な知識からデジタル化が揺さぶる創作と著作権の現況までを、わかりやすく解説する。『CNET Japan』連載を改題、加筆・修正して書籍化。

◎「ラオス 山の村に図書館ができた」安井清子 福音館書店 1500

317P/20cm

少数民族モン族の住む東南アジア・ラオスの山間の小さな村に、「子どもが絵本に出会う場」をつくりあげた著者。図書館作りを思い立つきっかけとなった出会いから、建設、実際の活動、そして未来を綴る。

◎「アラスカの小さな家族バラードクレークのボー」カークパトリック・ヒル 講談社 1600

286P/20cm

血のつながらない父さんがふたり。母さんはいない。でも、こんなすてきな生活もあるのです。ゴールドラッシュが終わりを告げたアラスカを舞台に描く、美しい自然と、心でつながるやさしき人々の物語。

< 高等学校 >

◎「サンテグジュペリと星の王子さま～空に幸せをもとめて」ビンバ・ランドマン 西村書店 1800

38P/32cm

ぼくを自由にしてくれるのは、空を飛び、小説を書くことだった。今なお読み継がれる名作「星の王子さま」を書いた作家、サンテグジュペリの生涯を描くアート絵本。

◎「あのこ」 今江祥智・文/宇野亜喜良・絵 BL出版 1800

26P/26cm

疎開してきた少女「あのこ」は、馬と話すことができるという。村の子どもたちは庄屋の馬を連れだして…。日本がいくさに負けた年のはじめごろ、山と山にかこまれた“疎開地”の村での話。

◎「ゼツメツ少年」 重松清 新潮社 1600

397P/19cm

小説家のもとに、少年から謎の手紙が届く。そこには「僕たちはゼツメツしてしまいます」とあった。少年2人、少女1人の生き延びるための旅が始まる。『小説新潮』連載を大幅に加筆修正し単行本化。

◎「たったひとつの『真実』なんてない」森達也 筑摩書房 820

201P/18cm

ニュースや新聞は間違えないという思い込みは捨てよう。でも、嘘ばかりというのも間違い。メディアはすべて、事実と嘘の境界線上にある。私たちに不可欠となっているメディアを正しく使う方法を考える。

◎「アイヌの世界を旅する」 北原次郎太 平凡社 1200

95P/26cm

北海道各所に伝わるアイヌゆかりの地を訪ねるほか、アイヌ民族の「今」を知るためにおさえておきたい基本知識を紹介する。衣食住にまつわるアイヌ文化の18のキーワードも解説。

◎「北海道の動物たち一人と動物の距離」千嶋洋 ホーム社 1800

205P/ cm

鳥は空を海獣は海を、自由に時に何千キロも移動する。人間の環境破壊は動物たちの命を脅かし、弱い生物の絶滅は食物連鎖を破壊する。野生を見つめること

2014年度	選定	北海道学校図書館協会 札幌市学校図書館協議
3月の選定図書 (2015年2月に選定された本です)	協力	株式会社トーハン 図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「じゅんぴはいいかい」	荒井良二	学研マーケティング	1300 (税別)
絵「おおきな3びきゆうえんちへいく」	クリス・ウォーメル	徳間書店	1500
絵「だっこだっこだーいすき」	かみじょうゆみこ・文	100%ORENGE・絵	福音館書店 700絵
「まるてんいろてん」	中辻悦子	福音館書店	700絵
「まっていたてがみ」	セルジオ・ルツツイア	光村教育図書	1200絵「お
「ばあちゃんからライオンをかくすには」	ヘレン・ステイーヴンス	ブロンズ新社	1400
絵「なんのじゅうたい？」	オームラトモコ	ポプラ社	1300

< 小学校低学年 >

絵「なく、おこる」	秋山さと子・文	スズキコージ・絵	復刊ドットコム 2200
絵「ドングリ・ドングラ」	コマヤスカン		くもん出版 1200絵
「マフラーでどうぞ」	小野寺悦子・文	たんじあきこ・絵	絵本塾出版 1300
絵「おなかのなかにいたときはね」	池川明・原案	かしわぎゆたか・文	いしもりなこ・絵 集文社 1200
絵「トヤのひっこし」	イチノロブ・ガンバートル・文	バーサンスレン・ボロルマー・絵	福音館書店 1500
絵「はるのおとがきこえるよ」	マリオン・デー・バウアー・文	ジョン・シェリー・絵	ブロンズ新社 1300
絵「ひみつひみつのひなまつり」	鈴木真実		講談社 1500
絵「きめてよ、おじいちゃん！」	ジャン・ルロワ・文	ジャンリュック・アングルベール・絵	光村教育図書 1200
絵「わすれもの大王」	武田美穂		WAVE出版 1300
絵「おぼけのたまごにいちゃん」	あきやまただし		鈴木出版 1300
絵「おかしなまち」	青山邦彦		フレーベル館 1200
◎「妖怪いじわるひょうしき」	土屋富士夫		PHP研究所 1100
絵「おおはくちょうのそら」	手島圭三郎		絵本塾出版 1700

< 小学校中学年 >

絵「ぼくはフクロウを飼っている」	下田智美		偕成社 1400
知「ダンゴウオの海」	鍵井靖章・写真と文		フレーベル館 1400
◎「ひま人ヒーローズ！」	かみやとしこ・作	木村いこ・絵	ポプラ社 1000
知「光る生きもの陸のいきもの」	大場裕一・著	宮武健仁・写真	くもん出版 1400◎
「アイちゃんのいる教室3年1組」	高倉正樹・文と写真		偕成社 1200
絵「ぼくは建築家ヤング・フランク」	フランク・ビバ		西村書店 1500
◎「育てて、発見『ジャガイモ』」	真木文絵・文	石倉ヒロアキ・写真と絵	福音館書店 1200
◎「それいけ！ぼっこくん」	富安陽子・作	小松良佳・絵	偕成社 1200
絵「ぼくが好きなこと」	中川ひろたか・文	山村浩二・絵	ハッピーオウル社 1300
◎「おーばあちゃんはきらきら」	たかどのほうこ・作	こみねゆら・絵	福音館書店 1400

< 小学校高学年 >

◎「動物感動ノンフィクション 捨て犬その命の行方」	今西乃子	学研	1300写
「大津波のあとの生きものたち」	永幡嘉之	少年写真新聞社	1400
◎「君はどう生きる？夢と努力で世界を変えた17人」	有吉忠行	PHP研究所	1500
◎「戦場カメラマン渡部陽一が見た世界①学校」	渡部陽一	くもん出版	2800
◎「かぐや姫のおとうと」	広瀬寿子	国土社	1300
◎「野馬追の少年、震災をこえて」	井上こみち	PHP研究所	1400

< 中学校 >

◎「きみ江さん ハンセン病を生きて」	片野田斉	偕成社	1600
知「原発事故で生きものたちに何が起こったか。」	永幡嘉之・写真と文	岩崎書店	1600

知「おいしい“つぶつぶ”穀物の知恵 ゲッチョ先生の穀物コレクション」	盛田満	少年写真新聞社	1800
◎「あまねく神竜住まう国」	荻原規子	徳間書店	1600
◎「宮沢賢治『旭川。』より」	あべ弘士	BL出版	1600
◎「地球を初めてめぐった日本人万次郎」	岡崎ひでたか	新日本出版社	1500
◎「シェイクスピア名作劇場十二夜」	ウィリアム・シェイクスピア原作／斉藤洋	あすなろ書房	1300
知「よくわかるLED・発光ダイオードのしくみ」	伊藤尚未	成文堂新光社	2200

< 高等学校 >

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel.726～2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本，詩は詩の本，写は写真の本，知は知識の本です。

2015年3月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

絵「じゅんぴはいいかい」 荒井良二 学研教育出版 1300（税別）
32P／26cm

春の足音が聞こえてくる季節。そろそろ準備はいいかい？「いよいよ！」といってやさしい風がふきました。春の訪れの喜びを鮮やかに描いた、新生活のスタートにふさわしい絵本。

絵「おおきな3びきゆうえんちへいく」 クリス・ウオーメル 徳間書店 1500
32P／27×27cm

ぞうのおばさんと、せいうちのおばさんが、寄り道ばかりするので、早くゆうえんちに行きたいくまのおじさんはイライラ！いつになったら着くのかな？「ちいさなきしゃとおおきなおきやくさん」姉妹編。

絵「だっこだっこだーいすき」かみじょうゆみこ・文／100%ORENGE・絵 福音館書店 700
20P／20×20cm

よちよち歩きのサルの子ちゃん。「だっこだっこ、だーいすき」と、家族みんなにだっこをせがみます。お父さんのだっこ、おねえちゃんのだっこ、おにいちゃんのだっこ…。最後は誰にだっこしてもらおうのでしょうか？

絵「まるてんいろてん」 中辻悦子 福音館書店 700
20P／20×20cm

あか、あお、きいろ、むらさき、みどり…。色とりどりのまるが、ページをめくるごとに大きくなったり、小さくなったりします。色鮮やかな、まるの絵本。

絵「まっていたてがみ」 セルジオ・ルッツィア 光村教育図書 1200
32P／25cm

レオは、小さな村の郵便屋さん。毎日、村のみんなに郵便を届けます。でも、レオはまだ一度も、自分宛ての手紙をもらったことがありませんでした。そんなある日、仲間とはぐれてしまった小さな鳥、ピピと出会って…。

絵「おばあちゃんからライオンをかくすには」 ヘレン・スティーヴンス ブロンズ新社 1400
P／26×29cm

アイリスの秘密は、ライオンと暮らしていること。ある日、おばあちゃんが泊まりに来ることになりました。さあ、大変！ライオンを隠さなくちゃ。でも、なんだか、おばあちゃんにも秘密がありそうで…。

絵「なんのじゅうたい？」 オームラトモコ ポプラ社 1300
35P／23×23cm

三輪車で出かけたなら、道が大渋滞になっていた。クレーン車、ブルドーザー、パトロールカー、消防車、清掃車、タクシー、スクールバス、乗用車…。イライラもふっとぶ、渋滞のゆかいな原因とは？ 観音開きのページあり。

< 小学校低学年 >

絵「なく、おこる」 秋山さと子・文／スズキコージ・絵 復刊ドットコム 2200
40P／29cm

生まれてこのかた、泣いたことも怒ったこともないよしお。町の人や動物や野菜、お天気までもが泣いたり怒ったりするのに、それでもよしおは知らん顔。とうとう動物園の檻の中に入れられてしまい…。五感を感じ、認識する絵本。

絵「ドングリ・ドングラ」 コマヤスカン くもん出版 1200
32P／22×30cm

海の向こうの火の島へ、ドングリたちが旅に出た。小さな体に勇気をつめて、野をこえ山こえ、前へ前へ。長い長い旅の目的は…？ 「新幹線のたび」のコマヤスカンが描く冒険絵本。

絵「マフラーでどうぞ」 小野寺悦子・文／たんじあきこ・絵 絵本塾出版 1300
32P／25cm

おばあさんは、どこへ行くにもねこのムギマと一緒に。ある日、ムギマをレストランに連れて行くと、「ねこおことわり」と言われてしまいました。そこで、おばあさんはマフラーのようにムギマを首に巻いてレストランを訪れ…。

絵「おなかのなかにいたときはね」 池川明・原案／かしわざゆたか・文／いしもりなこ・絵 集文社 1200
32P／25cm

ママのところに来て、本当にうれしいー。お母さんのお腹の中にいる赤ちゃんの様子を描いた不思議なお話。赤ちゃんと生まれる前からコミュニケーションをとるツールとして活用できる絵本。

絵「トヤのひっこし」 イチンノロブ・ガンバートル・文／バーサンスレン・ボロルマー・絵 福音館書店 1500
32P／24×31cm

モンゴルの草原に住んでいる女の子トヤが、家族とともにひっこします。らくだの背中に机やいす、たたんだゲル、服や食べ物を載せて出発です。何日もかけて、広い砂漠と高い山を越えていくと、そこには…。

絵「はるのおとがきこえるよ」 マリオン・デー・パウアー・文／ジョン・シェリー・絵 ブロンズ新社 1300
P／27cm

冬の終わりのある夜。不思議な音を聞いたぼくが外に出てみると、庭にくまくんがいた。ぼくは、「もうすぐくるよお。いっしょにいこう」と言うくまくんと、不思議な音がするほうへ行くことに…。

絵「ひみつひみつのひなまつり」 鈴木真実 講談社 1500
32P／27cm

3月3日はひなまつり。おひなさまたちをひな段に飾って祝う日です。いつものおひなさまに、今年も会えると思っていたえいちゃんでしたが、ある日、押し入れから出てきたのは、太ってしまったおひなさままで…。

絵「きめてよ、おじいちゃん！」 ジャン・ルロワ・文／ジャンリュック・アングルベール・絵 光村教育図書 1200
28P／27cm

おじいちゃんの口癖は、「どっちだっていいよ」。もう、おじいちゃんたら！ それなら、ぼくだって…。ぶきつちよなおじいちゃんが変わったわけは？ 祖父と孫の、心温まるお話。

絵「わすれもの大王」 武田美穂 WAVE出版 1300
40P／21×24cm

教室の後ろの黒板に、わすれものをした子は点数がふえていく棒グラフが貼られました。わすれものが多

いけんたくんの棒グラフはどんどん伸び、「おすれもの大王」として人気者になるのですが…!?

絵「おばけのたまごにいちちゃん」 あきやまただし 鈴木出版 1300
P/27cm

おばけのたまごにいちちゃんは、生まれてからずっとたまごの中に入っています。おばけなのに怖くない、おばけのたまごにいちちゃんは、誰も驚いてくれないのが悲しくてたまごの中から出られないらしく…。

絵「おかしなまち」 青山邦彦 フレーベル館 1200
32P/27cm

ある町のお菓子屋さんに、ブラウニーという手伝いこびとが住みついていた。主人とけんかしたブラウニーたちは、あることをしようとします。大評判になる、あることとは、いったい…?! 人気の月刊絵本を復刊。

◎「妖怪いじわるひょうしき」 土屋富士夫 PHP研究所 1100
76P/22cm

おなかがペコペコで、家に急いでいたひでくんに、ひょうしきが「近道していきなよ」と話しかけてきた。行き止まりのはずの道が、なぜか今日は通れるようになっている。ところが、この近道はただの近道ではなくて…。

絵「おおはくちょうのそら」 手島圭三郎 絵本塾出版 1700
32P/cm

病気で空を飛ぶことのできない子どものために、北の国に帰る時期を遅らせていたおおはくちょうの家族。しかし旅立ちの日は近づいています。そして、おとうさんは子どもをおいていくことに…。1988年、ニューヨークタイムズ紙が選ぶ世界の絵本ベストテンに選出された名作絵本。

<小学校中学年>

絵「ぼくはフクロウを飼っている」 下田智美 偕成社 1400
40P/26cm

フクロウの羽を拾ったことをきっかけに「フクロウを飼ってみたい」と思い始めたコウタ。フクロウがどんな鳥なのかを調べることに…。お話仕立てで、フクロウの知識も身につく。パノラマページあり。

知「ダンゴウオの海」 鍵井靖章・写真と文 フレーベル館 1400
33P/22×27cm

東日本大震災から3週間後にもぐった岩手県の宮古湾。魚がいなくなった海の底に、たった1匹のダンゴウオがしっかりしがみついていた…。だれも見ることのできない、貴重な写真でつづる三陸の海のそれから。

◎「ひま人ヒーローズ!」 かみやとしこ・作/木村いこ・絵 ポプラ社 1000
139P/21cm

習い事なんかで忙しそうなクラスのみんなをよそに、カズマと木暮とコブちゃんは、やることのないひまひま3人組…のつもりだったけど、いつの間にか「ひま人ヒーローズ」に!? 世界でいちばんやさしいヒーローたちのお話。

知「光る生きもの 陸のいきもの」 大場裕一・著/宮武健仁・写真 くもん出版 1400
32P/24cm

ヘイケボタル、ゲンジボタル、ヒメボタル、タカクワカグヤヤスデ、ホタルミミズ…。日本にもたくさんいる“光るいきもの”を、発光生物学者とプロカメラマンが紹介します。

◎「アイちゃんのいる教室3年1組」 高倉正樹・文と写真 偕成社 1200
47P/22cm

3年1組のクラス全員で、「仲間とは何か」という難問について考え続けた1年間。ダウン症のアイちゃ

んと通常学級の子どもたちが過ごす日常を写真とともに紹介する。『読売新聞』宮城県版連載をもとに単行本化。

絵「ぼくは建築家ヤング・フランク」 フランク・ビバ 西村書店 1500
38P/31cm

建築家のおじいさんといっしょに住んでいるヤング・フランクは、まだ子どもだけど、いろいろなものをつくりまわす。ふたりは、有名な建築家の作品を見るために、ニューヨーク近代美術館を訪れるのですが…。

◎「育てて、発見『ジャガイモ』」 真木文絵・文/石倉ヒロアキ・写真と絵 福音館書店 1200
32P/27cm

植物には、育てて初めてわかる「ひみつ」がいっぱい！ぐんぐん育つジャガイモの「ひみつ」を、成長のさまざまな段階の細部がきちんと分かる写真で紹介します。

◎「それいけ！ぼっこくん」 富安陽子・作/小松良佳・絵 偕成社 1200
93P/21cm

たまねぎ頭のぼっこくんは、「家のまもり神」です。ぼっこくんは、くらやみにひそむ小さい妖怪「チミモ」たちを探して退治するのが仕事。そんなぼっこくんがケイタたちのマンションに引っ越してきて…。

絵「ぼくが好きなこと」 中川ひろたか・文/山村浩二・絵 ハッピーオウル社 1300
29P/26cm

紫色に見える瞬間の朝焼け、日なたのほこり、シャボン玉をふくらますとできる虹…。ぼくのまわりには、面白いことがいっぱい！大好きなことがいっぱい！左ページ下に、ねこが動くパラパラ漫画あり。

◎「おーばあちゃんはきらきら」 たかどのほうこ・作/こみねゆら・絵 福音館書店 1400
108P/21cm

チイちゃんは、ひいおばあさんの<おーばあちゃん>のお話をきくのが大好き。だって、おーばあちゃんのお話は、どれもちょっとふしぎで、なんだかきらきらしている気がするんです。今日はどんなお話をしてくれるかな…？

<小学校高学年>

◎「動物感動ノンフィクション 捨て犬その命の行方」今西乃子 学研 1300
137P/22cm

平成18年、徳島県徳島市にあるがけにとりのこされたがけつぷち犬「りんりん」。その救出劇に、「救われてよかった！」と日本中が喜んだ。しかし、それは終わりではなく、始まりだった。りんりんのその後を追う。

写「大津波のあとの生きものたち」 永幡嘉之 少年写真新聞社 1400
47P/19×27cm

3・11東日本大震災から4年。大津波をくぐりぬけた生きものたちは、なぜ消えたのか？未来に残すべき自然の「豊かさ」とは何だろうか？津波のあとの海岸を歩き続けた著者が出会った、生きものたちの数奇な物語。

◎「君はどう生きる？夢と努力で世界を変えた17人」有吉忠行 PHP研究所 1500
239P/22cm

ダーウィン、エジソン、ナイチンゲール、ベートーベン、アンデルセンなど、世界の偉人17人を取り上げ、彼らがいかにして苦しみを乗り越え、夢を実現させたのかを紹介する。

◎「戦場カメラマン渡部陽一が見た世界①学校」渡部陽一 くもん出版 2800
47P/28cm

戦場カメラマンとして約130の国や地域を訪れた渡部陽一が、世界で起きていることを写真とともに伝えるシリーズ。1は、アフガニスタン、イラク、パキスタンなどの子どもたちをとりまく教育や学校の様子を紹介する。

◎「かぐや姫のおとうと」 広瀬寿子 国土社 1300
166P/22cm

想は、竹林でふしぎな少年と出会う。みごとな竹編みのわざを身につけたその少年は、いささ丸と名のり、1200年の前からくり返されてきたという生まれ代わりの話をきかせてくれた…。時を超えて紡ぐ壮大な愛のファンタジー。

◎「野馬追の少年、震災をこえて」 井上こみち PHP研究所 1400
157P/22cm

伝統文化行事「相馬野馬追」で有名な福島県相馬地方を襲った東日本大震災。地震、津波、原発事故…。馬も人も被災した中で、「相馬野馬追」復活にかけた少年と家族の姿を追った感動ノンフィクション。

< 中学校 >

◎「きみ江さん ハンセン病を生きて」片野田斉 偕成社 1600
205P/22cm

ハンセン病患者が受けた「偏見」と「差別」、そして「いじめ」。元ハンセン病患者の山内きみ江さんの生い立ちから現在までを、報道カメラマンである著者がその姿を追って描くノンフィクション。

知「原発事故で生きものたちに何が起こったか。」永幡嘉之・写真と文 岩崎書店 1600
41P/27cm

福島第一原子力発電所の事故によってまきちらされた、たくさんの放射性物質。それは、生きものたちのすみかや体にどんな影響を与えたのか。写真とともに、生きものたちの様子を紹介する。

知「おいしい“つぶつぶ” 穀物の知恵 ゲッチョ先生の穀物コレクション」盛田満 少年写真新聞社 1800
61P/27cm

おいしい“つぶつぶ”とは、毎日食べている穀物のこと。穀物にひそむ、自然の中で生き残るための植物の知恵と、穀物を食べようとする人間の知恵を、詳細なイラストとともに紹介する。見返しに写真あり。

◎「あまねく神竜住まう国」 荻原規子 徳間書店 1600
280P/19cm

伊豆の流刑地に流された源頼朝。生きる希望を失いがちな頼朝のもとへ、かつて頼朝の命をつなぎとめた笛の名手・草十郎が訪れ…。土地神である神竜と対峙し、伊豆の地に根を下ろしていく少年頼朝の姿を描く。歴史ファンタジー。

◎「宮沢賢治『旭川。』より」 あべ弘士 BL出版 1600
P/27cm

大正12年夏、宮沢賢治が降り立った旭川。朝もやの中、街はずでに起きはじめていた一。早朝の旭川の様子を描いた、賢治の詩「旭川。」から生まれた、あべ弘士の新境地。

◎「地球を初めてめぐった日本人万次郎」岡崎ひでたか 新日本出版社 1500
197P/20cm

鎖国の日本で唯一アメリカの文明を見た、ジョン・マンこと中浜万次郎。漂流に始まるその数奇な運命と、幕末に果たした知られざる大仕事を、著者なりの歴史観、人物観をもって描く。見返しに地図あり。

◎「シェイクスピア名作劇場十二夜」ウィリアム・シェイクスピア原作/斉藤洋 あすなろ書房 1300
197P/20cm

双子の兄妹を中心に、からまりあう恋の糸。そこに、いたずらをしかける者が登場し、恋路はさらに大混乱！ ハッピーエンドのシェイクスピア恋愛喜劇「十二夜」を稀代のストーリーテラー、斉藤洋が小説化。

知「よくわかるLED・発光ダイオードのしくみ」伊藤尚未 成文堂新光社 2200
95P/24cm

LED(発光ダイオード)について、どのようなものでどこに使われているか、光るしくみ、工作のポイント・実例などをやさしくまとめる。青色LEDのしくみや開発についても解説する。

2015年度	選定	北海道学校図書館協会 札幌市学校図書館協議
4月の選定図書 (2015年3月に選定された本です)	協力	株式会社トーハン 図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「たんじょうびおめでとう！」	マーガレット・ワイズ・ブラウン・作/レナード・ワイズガード・絵	好学社	1600
絵「ヤマネコ毛布」	山福朱実	復刊ドットコム	2000
◎「たかちゃんのはじめてのどこやさん」	さこももみ	佼成出版社	1300
◎「おひめさまはねむりたくないけれど」	メアリー・ルージュ作/パメラ・ザガレンスキー絵	そうえん社	1400
◎「はるって、どんなもの？」	あさのますみ・作/荒井良二・絵	小学館	1300
◎「えんぴつ太郎のぼうけん」	佐藤さとる・作/岡本順・絵	すずき出版	1200

< 小学校低学年 >

知「たんぼぼ」	荒井真紀	金の星社	1200
◎「マララとイクバル パキスタンの勇敢な子どもたち」	ジャネット・ウインター	岩崎書店	1600
◎「うちゅうへいこう！」	若田光一・著/企画	世界文化社	1300
◎「ハートのはっぱかたばみ」	多田多恵子・文/広田多珂子・絵	福音館書店	900
絵「みずたまのたび」	アンヌ・クロザ	西村書店	1300
◎「つくる」	谷川俊太郎・文/福田岩緒・絵	復刊ドットコム	2200
絵「ぼくのジイちゃん」	くすのきしげのり・作/吉田尚令・絵	佼成出版社	1300
絵「こまっとうしのガイコツまおう」	松山円香	小学館	1500
絵「りすのエドモンつきよのパーティー」	アストリッド・デボルト作/マルク・ブタヴァン絵	ロクリン社	1500
知「光るいきもの キノコ」	大場裕一・著/宮武健仁・写真	くもん出版	1400
知「光るいきもの 海のいきもの」	大場裕一・著/宮武健仁・写真	くもん出版	1400
絵「とうふこぞう」	京極夏彦・作/石黒亜矢子・絵	岩崎書店	1500
絵「ことりぞ」	京極夏彦・作/山科理絵・絵	岩崎書店	1500
絵「あずきとき」	京極夏彦・作/町田尚子・絵	岩崎書店	1500
絵「しまふくろうのみずうみ」	手島圭三郎	絵本塾出版	1700

< 小学校中学年 >

絵「白い池黒い池 イランのおはなし」	リタ・ジャハーン=フォルーズ再話/ヴァリ・ミンツィ絵	光村教育図書	1500
◎「だいじょうぶカバくん」	ダニエル・ネスケンス・作/ルシアーノ・ロサノ・絵	講談社	1300
知「カミツキガメはわるいやつ？」	松沢陽士・写真と文	フレーベル館	1400
◎「ふくろう茶房のライちゃん」	ささきあり・作/つがねちかこ・絵	佼成出版社	1300
絵「ちょこっとできるびっくりあそび②空気のみふしぎあそび」	立花愛子・佐々木伸	偕成社	1600
絵「ちょこっとできるびっくりあそび③重さのみふしぎあそび」	立花愛子・佐々木伸	偕成社	1600
絵「ふしぎびっくり写真えほん 太陽の花」	横塚真己人	フレーベル館	1400
絵「黒部の谷のトロッコ電車」	横溝英一	福音館書店	1300

< 小学校高学年 >

◎「きずなを結ぶ震災学習列車 三陸鉄道、未来へ」	堀米 薫	佼成出版社	1500
◎「農家になろう⑨ジャガイモとともに畑作農家 中藪俊英」	小椋哲也・写真	農文協	1900
知「しぜんのみみつ写真館③ぜんぶわかる！メダカ」	内山りゅう	ポプラ社	2000
◎「こどもあんぜん図鑑 スマホ・パソコン・SNS よく知ってネットを使おう！」	藤川大祐	講談社	2000

< 中学校 >

◎「ぼくと象のものがたり」	リン・ケリー	鈴木出版	1600
知「タバコは全身病 完全版」	浅野牧茂	少年新聞社	2400
知「はじめて学ぶ憲法教室③人間らしく生きるために」	菅間正道	新日本出版社	2500
知「はじめて学ぶ憲法教室④憲法九条と沖縄」	菅間正道	新日本出版社	2500
知「キャリア教育支援ガイドお仕事ナビ④医療に関わる仕事」	お仕事ナビ編集室	理論社	2800

知「ウォーズ・オブ・ジャパン 日本のいくさと戦争」磯田道史・監修／宮永忠将・文	偕成社	4500
◎「原発事故で、生きものたちに何がおこったか。」永幡嘉之・写真と文	岩崎書店	1600
絵「にじいろのみち」葉祥明	自由国民社	1600
知「子供に伝えたい和の技術②和紙」和の技術を知る会	文溪堂	2500
◎「清政 絵師になりたかった少年」茂木ちあき	新日本出版社	1500

< 高等学校 >

◎「サーカスの夜に」小川 糸	新潮社	1400
◎「絵でわかる感染症WITHもやしもん」岩田健太郎	講談社	2200
◎「神さまたちの遊ぶ庭」宮下奈都	光文社	1500
◎「ナショナリズムをとことん考えてみたら」春香クリスティーン	PHP研究所	780
◎『草の花』の成立 福永武彦の履歴 田口耕平	翰林書房	2800
◎「大英博物館展～100のモノが語る世界の歴史～」	筑摩書房	2222
◎「18歳の著作権入門」福井健策	筑摩書房	820

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel726～2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本、詩は詩の本、写は写真の本、知は知識の本です。

2015年4月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

絵「たんじょうびおめでとう！」マーガレット・ワイズ・ブラウン・作／レナード・ワイズガード・絵	好学社	1600
P／29cm		

1歳になった森のどうぶつたち。それぞれ誕生日プレゼントをもらって大喜びします。「おめでとう」と「ありがとう」の気持ちを美しい絵で描いた絵本。

絵「ヤマネコ毛布」山福朱実	復刊ドットコム	2000
P／31cm		

旅に出ることを決めたヤマネコに、森の仲間たちが贈った毛布。それぞれがヤマネコとの思い出を縫いこんで…。美しい木版画で綴る、温もりあふれる一冊。“旅立ちの時”に贈りたい名作絵本！！広松由希子（絵本評論家）が選んだ「ずっと残したい絵本」第2弾。

◎「たかちゃんのはじめてのとこやさん」さこももみ	佼成出版社	1300
31P／21×21cm		

「たかちゃん、お父さんと床屋さんに行くかい？」お父さんから誘われて、たかちゃんは大喜び。でも、床屋さんって、どんなところなのかな？ こわくないのかな？ たかちゃん絵本第3弾。

◎「おひめさまはねむりたくないけれど」メアリー・ルージュ作／パメラ・ザガレンスキー絵	そうえん社	1400
33P／24×29cm		

この地に息づくすべてのいきものは、眠りにおちるのでしょうか。なかなか寝付かないおひめさまは、おきさきさまにたずねます。「ねえ、世界中のみんなが寝るの？」子どもたちを安らかな眠りに誘う絵本。

◎「はるって、どんなもの？」あさのますみ・作／荒井良二・絵	小学館	1300
P／27cm		

みなさん、春ってどんなものか知っていますか？ それは、カーディガンみたいで、ホットケーキに似ていて、足があるもの、なんですか!? 春を知らないボタンの5人きょうだいの、ぼかぼかなお話。

◎「えんぴつ太郎のぼうけん」 佐藤さとる・作／岡本順・絵 すずき出版 1200
60P／22cm

あるところに、とても書きやすいえんぴつがありました。ところが、えんぴつは机のうしろの狭いすきまに、ころがりこんでしまいます。そこにいたのが、あやしい小人で…。しゃべって歩けるえんぴつ「えんぴつ太郎」の大冒険!

< 小学校低学年 >

知「たんぼぼ」 荒井真紀 金の星社 1200
P／25cm

冬の間根をのびし、春に花をさかせ、枯れると綿毛をとばせて、新しい命を運ぶたんぼぼの一生を、美しい細密画でていねいに描いた絵本。たんぼぼの観察に役立つヒントがいっぱい。

◎「マララとイクバル パキスタンの勇敢な子どもたち」 ジャネット・ウインター 岩崎書店 1600
P／29cm

女の子が学校に通う権利を訴え続けたマララ。児童労働に対し声をあげ、銃弾に倒れたイクバル。パキスタンの勇敢な2人の子どもたちを描く。表裏さかさまに製本し、本の両側からそれぞれの人生が読める構成。

◎「うちゅうへいこう！」 若田光一・著／企画 世界文化社 1300
27P／29cm

宇宙飛行士の若田光一さんと一緒に、宇宙へ旅に出かけよう！ ロケット、宇宙食など、子どもたちが知りたい宇宙生活の様子を写真を通してリアルに紹介する。若田さんからの言葉も収録。『ワンダーしぜんランド』掲載を書籍化。

◎「ハートのはっぱかたばみ」 多田多恵子・文／広田多珂子・絵 福音館書店 900
27P／26cm

身近でひっそり生きる植物かたばみ。知らぬ間に葉や花を閉じたり開いたりしています。ハートの葉っぱを目印に探してみましょ。かたばみの仲間も紹介します。『かがくのとも』から生まれた絵本。

絵「みずたまのたび」 アンヌ・クロザ 西村書店 1300
40P／23cm

ネコの水入れに、ひとつぶのこった小さなみずたまが旅にでる。太陽のおかげで空に舞い上がり、雲のり、雨になって…。詩情あふれる文と洗練されたイラストで、水の循環をやさしく伝える。

◎「つくる」 谷川俊太郎・文／福田岩緒・絵 復刊ドットコム 2200
40P／29cm

ヤギで皮をつくり、皮でつくった太鼓はリズムをつくり、リズムは祭りをつくる。「つくる」という動作からその対象が広がっていき…。五感を感じ、認識する絵本。

絵「ぼくのジイちゃん」 くすのきしげのり・作／吉田尚令・絵 佼成出版社 1300
32P／25cm

運動会の応援に、田舎からやってきたジイちゃん。“TEEシャツ”のすそをズボンに入れて、いつもにこにこ笑ってるだけのジイちゃんは、なんだかカッコ悪い。でも、ジイちゃんには、ぼくが知らない、すごい秘密があったんだ…。

絵「こまったうしのガイコツまおう」 松山円香 小学館 1500
P／28cm

うしで、ガイコツで、まおうでもある「うしのガイコツまおう」は、自分が何者なのかはっきりしなくてため息ばかり。しろねこに「どれかひとつに決めたらどうかな」と提案され…。「自分は何者?」という根源的なテーマの絵本。

絵「りすのエドモンつきよのパーティー」 アストリッド・デボルト作／マルク・ブタヴァン絵 ロクリン社 1500
P／27cm

りすのエドモンは引っ込み思案。一日中、家のなかで、ジャムを煮たりしています。ある晩、くまのエドアールがパーティーを開きました。行きたくても行けないエドモンが泣いていると、みみずくジョルジュがやってきて…。

知「光るいきもの キノコ」 大場裕一・著／宮武健仁・写真 くもん出版 1400
32P／24cm

ツキヨタケ、ヤコウタケ、シイノトモシビタケ、ギンガタケ、スズメタケ、エナシラッシタケ…。日本にもたくさんいる“光るいきもの”を、発光生物学者とプロカメラマンが紹介します。

知「光るいきもの 海のいきもの」 大場裕一・著／宮武健仁・写真 くもん出版 1400
32P／24cm

ホタルイカ、ヤコウチュウ、ヨコスジタマキビモドキ、ヒカリウミウシ…。日本にもたくさんいる“光るいきもの”を、発光生物学者とプロカメラマンが紹介します。

絵「とうふこぞう」 京極夏彦・作／石黒亜矢子・絵 岩崎書店 1500
P／29cm

おばけはこわい。どこにでも入ってくる。どこまでもついてくる。部屋にはいつてきたらどうしよう。こわくて眠れない。なにかがふとんの上ののっかった！ふとんの上には…。笑える妖怪と出会う絵本。

絵「ことりぞ」 京極夏彦・作／山科理絵・絵 岩崎書店 1500
P／29cm

仏壇のある部屋。古いお堂。お地蔵さん。大きな木。壊れた家。人のいない夕暮れ。お面をつけた女の子が、黒猫といっしょに遊んでいます。なにかがいる気配がしますが…。妖怪の原点を描いた絵本。

絵「あずきとぎ」 京極夏彦・作／町田尚子・絵 岩崎書店 1500
P／29cm

しょきしょきしょき。川で変な音を聞いたばく。おじいちゃんは、あずきとぎというおばけがあずきを洗う音だと言う。おばけなんかいないさ。次の日も川に行くと、あの音が聞こえ…。怖い妖怪と出会う絵本。

絵「しまふくろうのみずうみ」 手島圭三郎 絵本塾出版 1700
32P／31cm

北海道の山奥の湖。けものたちがねぐらに帰る頃、しまふくろうの親子は現れる。お父さんとお母さんは、子どものために夜明けまで、何度も交代で魚を捕りにいき…。親子のあたたかさが伝わる、しまふくろうの物語。

< 小学校中学年 >

絵「白い池黒い池 イランのおはなし」 リタ・ジャハーン＝フォルーズ再話／ヴァリ・ミンツイ絵 光村教育図書 1500
47P／27cm

亡くなった母さんが遺した毛糸玉が、風によって飛んで行ってしまった。毛糸玉を追って不気味な家を訪ねたシラーズは、その家の老婆に、頼み事をやれば毛糸玉を返すとされ…。美しい心のあり方を問うイランのお話。

◎「だいじょうぶカバくん」 ダニエル・ネスケンス・作／ルシアーノ・ロサノ・絵 講談社 1300
63P／20cm

「おーい、名前はわからないけど、そこの女の子!ばくをここから出してくれませんか」 動物園から出たいと願う、カバの“カバくん”のちょっぴり不思議な冒険がはじまります。ユーモアにみちたスペインの創作童話。

知「カミツキガメはわるいやつ？」 松沢陽士・写真と文 フレーベル館 1400
34P／22×27cm

千葉県にある印旛沼。この沼とその周辺の水辺には、外来生物・カミツキガメが住みついている。テレビ

などでは「わるもの」のように取り上げられるカミツキガメの本当の姿を通して、人と自然の問題を考える。

◎「ふくろう茶房のライちゃん」 ささきあり・作／つがねちかこ・絵 佼成出版社 1300
96 P / 22 cm

ワシミミズクのライちゃんを飼いはじめた、ひかるの一家。フクロウの生態におどろきながらも、しだいに愛情を深めていきます。そして、あることをきっかけに、ライちゃんには人々をいやす力があることを知った一家は、多くの人が気軽にフクロウとふれあえるカフェを開くことにしますが...

絵「ちょこっとできるびっくりあそび②空気のふしぎあそび」立花愛子・佐々木伸 偕成社 1600
31 P / 26 cm

目には見えないけれど、まわりにいっぱいある「空気」。ポリ袋空気ほう、紙皿カーリング、ムクムクおぼけ、ブーブーメガホンなど、空気の力や動きを利用してできる遊びを写真やイラストで紹介합니다。

絵「ちょこっとできるびっくりあそび③重さのふしぎあそび」立花愛子・佐々木伸 偕成社 1600
31 P / 26 cm

ふだんは意識しない「重さ」だけど、注目してみるととても不思議！ ぞろぞろモンスター、紙皿エレベーター、ビー玉ルーレット、ロボットおとしなど、「重さ」の力を使ってできる遊びを写真やイラストで紹介합니다。

絵「ふしぎびっくり写真えほん 太陽の花」横塚眞己人 フレーベル館 1400
34 P / 22 × 27 cm

日本の南にある西表島。この島には不思議な秘密をもった花、オオハマボウが咲いています。その生態とすがたを追いかけると、見えてきたのは自然の中のつながりでした。驚きに満ちた自然の世界を、美しい写真で紹介합니다。

絵「黒部の谷のトロッコ電車」 横溝英一 福音館書店 1300
39 P / 26 cm

切り立った絶壁と激流の黒部峡谷を、トロッコ電車が走っていく。この電車は、なぜこんな険しい場所を走っているのか。周囲の風景とともに、黒部峡谷鉄道を紹介する。小学生向き月刊誌『たぐさんのふしぎ』から生まれた本。

< 小学校高学年 >

◎「きずなを結ぶ震災学習列車 三陸鉄道、未来へ」堀米 薫 佼成出版社 1500
127 P / 22 cm

東日本大震災の記憶を風化させまいと、三陸鉄道が運行している「震災学習列車」。震災当日の様子や被災した人たちの思いが語られている「震災学習列車」を、写真とともに紹介する。

◎「農家になろう⑨ジャガイモとともに畑作農家 中藪俊英」小椋哲也・写真 農文協 1900
36 P / 27 cm

広大な大地を耕す畑作農家の仕事とは？ 北海道の十勝地方の畑作農家・中藪俊秀さんに密着し、その仕事を写真とともに紹介。ジャガイモの品種や輪作についての解説や、未来の畑作農家に向けてのメッセージも収録する。

知「しぜんのひみつ写真館③ぜんぶわかる！メダカ」内山りゅう ポプラ社 2000
68 P / 27 cm

田んぼや小川に、昔からすんでいる身近な魚、メダカ。日本のメダカのルーツとは？ なぜ減ってしまったのか？ 自然のひみつを写真で解き明かす。ジャケットそでにメダカクイズ、見返しに奥付などあり。

◎「こどもあんぜん図鑑 スマホ・パソコン・SNS よく知ってネットを使おう！」藤川大祐 講談社 2000
55 P / 27 cm

ネットのしくみをわかりやすく説明した、こどもがスマホを持つ前に読んでおきたい一冊。SNS のトラ

ブルなど、どんなことに気が付いたらよいかがわかる。書き込み欄あり。ワークシートがダウンロードできるQRコード付き。

＜ 中学校 ＞

- ◎「ぼくと象のものがたり」 リン・ケリー 鈴木出版 1600
317P/20cm
熱病にかかった妹の治療費を稼ぐため、砂漠の家を離れ、ジャングルのサーカスで働くことになったぼくは、そこで、違法に捕らえられた子象のナンディタと出会った…。象と少年のあいだに結ばれた、家族の絆のものがたり。
- 知「タバコは全身病 完全版」 浅野牧茂 少年新聞社 2400
119P/27cm
喫煙がもたらす健康被害について、医学的情報とともに、症例や実験例の写真、表などを用いてビジュアルに解説。能動喫煙、受動喫煙、女性特有の喫煙の害、未成年者の喫煙などを取り上げる。
- 知「はじめて学ぶ憲法教室③人間らしく生きるために」 菅間正道 新日本出版社 2500
27P/27cm
日本国憲法の基本的な考え方をわかりやすく紹介。第3巻では、「生活困窮」の問題や労働をめぐる問題などに直面した、ある少年の家族の実態を例に、憲法の社会権について考える。巻末に日本国憲法全文を収録。
- 知「はじめて学ぶ憲法教室④憲法九条と沖縄」 菅間正道 新日本出版社 2500
27P/27cm
日本国憲法の基本的な考え方をわかりやすく紹介。第4巻では、米軍基地と沖縄の実態を見つめながら、憲法の平和主義、とりわけ憲法9条との関係について考える。巻末に日本国憲法全文を収録。
- 知「キャリア教育支援ガイドお仕事ナビ④医療に関わる仕事」 お仕事ナビ編集室 理論社 2800
55P/30cm
第一線で活躍する職業人の1日に密着し、どんな仕事場で、どのような作業をしているのか、どんな資格や免許が必要なのかを解説する。4は、看護師、外科医、義肢装具士、薬剤師など、医療に関わる仕事をとり上げる。
- 知「ウォーズ・オブ・ジャパン 日本のいくさと戦争」 磯田道史・監修/宮永忠将・文 偕成社 4500
190P/27cm
旧石器時代から太平洋戦争まで、日本を変えた「戦い」を絵と地図で解説し、刀や鉄砲、機関銃、核兵器など、社会をも一変させてしまった武器もくわしく紹介。各時代の庶民の暮らしもわかる。見返しに地図・年表あり。
- ◎「原発事故で、生きものたちに何がおこったか。」 永幡嘉之・写真と文 岩崎書店 1600
41P/27cm
福島第一原子力発電所の事故によってまきちらされた、たくさんの放射性物質。それは、生きものたちのすみかや体にどんな影響を与えたのか。写真とともに、生きものたちの様子を紹介する。
- 絵「にじいろのみち」 葉祥明 自由国民社 1600
31P/23×29cm
空と大地と海と…。いつまでも残しておきたい、ふるさと熊本原風景を描く。KAB熊本朝日放送特別番組とのコラボレーション絵本。2016年2月21日まで有効の、動画が観られるAR機能付き。
- 知「子供に伝えたい和の技術②和紙」 和の技術を知る会 文溪堂 2500
32P/30cm
古来より続き、新しく未来へ受け継がれていく、日本のさまざまな「技術」を紹介。2は、「和紙」をテ

一マに、和紙の魅力、和紙の種類、和紙の技、和紙の歴史などを、写真満載で解説する。

- ◎「清政 絵師になりたかった少年」 茂木ちあき 新日本出版社 1500
157P/20cm

地本問屋・白子屋の跡取り息子、政之介は、美しい「錦絵」に憧れ、絵師になる夢をあきらめきれずにいた。江戸を舞台に、時代の流れに巻き込まれつつも、ささやかな灯火を見つけていく少年の葛藤を描く。

< 高等学校 >

- ◎「サーカスの夜に」 小川 糸 新潮社 1400
238P/20cm

離ればなれになった両親とかつて一緒に見たサーカス。忘れられないその不思議な世界の一員になることを目指して入団した少年の前に自由で個性の強い人々が現れ…。心躍る物語。『小説新潮』連載を単行本化。

- ◎「絵でわかる感染症WITHもやしもん」 岩田健太郎 講談社 2200
227P/21cm

感染症とは何か？ 抗菌薬ってなんだろう？ 院内感染にはどのようなものがある？ 感染症界のエースがわかりやすく解説する感染症学の入門書。菌漫画「もやしもん」のイラストも満載。

- ◎「神さまたちの遊ぶ庭」 宮下奈都 光文社 1500
281P/20cm

小中学生3人を連れて、「神々の遊ぶ庭」と呼ばれる、北海道のトムラウシに移り住んだ宮下家。小さなコミュニティの中で、家族それぞれが大切なことを感じた1年の記録。『小説宝石』連載を単行本化。

- ◎「ナショナリズムをとことん考えてみたら」 春香クリスティーン PHP研究所 780
197P/18cm

ネット住民の葛藤、移民に揺れる欧州、「イスラム国」の核心まで、いまを読み解くための視点とは？ テレビ番組の発言で「ネトウヨ」からバッシングされ、「炎上」を経験した春香クリスティーンさん。そのあとには原発再稼働を容認する企画に登場し、左派から「失望した」といわれたことも。そもそも自分は「右」なの「左」なの？ その対立軸を理解し、ナショナリズムについて真摯に考えたい、という一心から本書は生まれた。取材を重ね、「左」「右」のねじれに戸惑いながらもたどり着いたキーワードは「グローバル化」。それは、自身の出自にも深く関わるものだった。「右」でも「左」でもなく「前」。バランスと聡明さが存分に発揮された前向き社会論。

- ◎『「草の花」の成立 福永武彦の履歴』 田口耕平 翰林書房 2800
P/×cm

エッセイや小説にわずかなヒントを残しながら、自分の家庭生活を正面から書くことをしなかった福永武彦。彼の作家としての基盤を築いた帯広時代の作品を私小説的に読むことによって、作家の生成をたどる。

- ◎「大英博物館展～100のモノが語る世界の歴史～」 筑摩書房 2222
223P/28cm

人類黎明期に作られた最初期の石器から、有名な「ウルのスタンダード」や「ルイス島のチェス駒」、現代が生んだクレジットカードまで、人間が作り出した様々なモノを掲載。人類の遺産100点で世界200万年の歩みをたどる。

- ◎「18歳の著作権入門」 福井健策 筑摩書房 820
202P/18cm

著作権を考えることは未来を創造すること！ 著作権の基礎的な知識からデジタル化が揺さぶる創作と著作権の現況までを、わかりやすく解説する。『CNET Japan』連載を改題、加筆・修正して書籍化。

2015年度

選定

北海道学校図書館協会

札幌市学校図書館協議

5月の選定図書

協力

株式会社トーハン

(2015年4月に選定された本です)

図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「わたしのかさはそらのいろ」	あまんきみこ・作/垂石眞子・絵	福音館書店	800(税別)
絵「アントンせんせいおでかけです」	西村敏雄	講談社	1200
絵「まてまてタクシー」	西村敏雄	福音館書店	800
絵「うしのもーさん」	風木一人・作/西村敏雄・絵	福音館書店	1000

< 小学校低学年 >

◎「だいすきのみかたパンツちゃん」	薫くみこ・作/うちだのぶこ・絵	ポプラ社	1000
絵「ちっちゃなサリーはみていたよ	ひとりでゆうきをだせたなら」		
	ジャスティン・ロバーツ・文/クリスチャン・ロビンソン・絵	岩崎書店	1400
絵「三つのまほうのおくりもの」	ジェイムズ・リオダン・文/エロール・ル・カイン・絵	ほるぷ出版	1600
絵「アフリカの民話 しんぞうとひげ」	しまおかゆみこ・再話/モハメッド・チャリンダ・絵	ポプラ社	1400
知「アサガオ」	赤木かん子・作/藤井英美・写真	新潮社	1400
知「ヒマワリ」	赤木かん子・作/藤井英美・写真	新潮社	1400
知「タンポポ」	赤木かん子・作/藤井英美・写真	新潮社	1400
絵「ごはん」	平野恵理子	福音館書店	1400
絵「おばあさんのひっこし」	エドナ・ベッカー・作/白根美代子・絵	福音館書店	800
絵「ニニ、まいごになる」	アニタ・ローベル	評論社	1300
絵「はらぺこたらたとふしぎなクレヨン」	あまんきみこ・作/広瀬弦・絵	PHP研究所	1300
絵「まいごになったねこのタビー」	C・ロジャー・メイダー	徳間書店	1600
絵「だれかさん」	内田麟太郎/今森光彦・切り絵	アリス館	1300
絵「きたきつねのゆめ」	手島圭三郎	絵本塾出版	1700
絵「まんてんべんとう」	くすのきしげのり・作/伊藤秀男・絵	フレーベル館	1300
絵「おねがいパンダさん」	スティーブ・アントニー	評論社	1400
絵「ぼくたちねこなのゆかいな8ぴき」	どいかわ	アリス館	1300
絵「おんみょうじ 鬼のおっぺけぼー」	夢枕獺・作/大島妙子・絵	講談社	1400
知「アリとくらすむし」	島田たく	ポプラ社	1200
◎「セイルといっしょ 星空ぎゅいーん」	長崎夏海・作/小倉まさみ・絵	新日本出版社	1300

< 小学校中学年 >

◎「世界一のパティシエになる！」	輔老心	岩崎書店	1300
絵「庭をつくろう！」	ゲルダ・ミュラー・作/ふしみみさを・訳	あすなろ書房	1500
◎「ねっけつ!怪談部」	林家彦いち・作/加藤休ミ・絵	あかね書房	1500
◎「戦争と平和のものがたり」	西本鶏介・編/狩野富貴子・絵	ポプラ社	1200
絵「ばけねこぞろぞろ」	石黒亜矢子	あかね書房	1400
◎「いもむし・ようちゅう図鑑 これはなんのようちゅうかな？」		学研教育出版	1500
◎「おうだんほどうのムッシュトマーレ」	香坂直・作/フィリケえつこ・絵	小学館	1300
◎「ねこの風つくり工場」	みずのよしえ・作/いづのかじ・絵	偕成社	1200
◎「たびいえさん」	北川チハル・作/青山邦彦・絵	くもん出版	1200

< 小学校高学年 >

◎「医者になりたい 夢をかなえた四人の女性」	島田和子	新日本出版社	1500
◎「おじいちゃんが孫に語る戦争」	田原総一郎	講談社	1300
絵「宮沢賢治 やまなし」	宮沢賢治	小学館	1500
絵「リンドバーク 空飛ぶネズミの大冒険」	トーベン・クールマン	ブロンズ新社	2200

< 中学校 >

- ◎「ABC!曙第二中学校放送部」 市川朔久子 講談社 1500
◎「いのちのパレード」 八束澄子 講談社 1300
知「語りつごうヒロシマ・ナガサキ③歴史を未来にいかす」安斎育郎・監修/文 新日本出版社2500
知「語りつごうヒロシマ・ナガサキ⑤平和について考える」安斎育郎・監修/文 新日本出版社2500

< 高等学校 >

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel726~2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本、詩は詩の本、写は写真の本、知は知識の本です。

2015年5月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

- 絵「わたしのかさはそらのいろ」 あまんきみこ・作/垂石眞子・絵 福音館書店 800(税別)
31P/27cm

青い傘をさして歩いていると、まるで青空の下にいるみたい。「わたしのかさはそらのいろ」と歌っていたら、動物たちが「いーれて」と、傘の中へとびこんできて…。雨の日の楽しいお話。

- 絵「アントンせんせいおでかけです」 西村敏雄 講談社 1200
32P/27cm

いつもやさしい動物のお医者さん、アントン先生は、動物たちの人気者。ある日、ヤギから手紙がきました。アントン先生は、ヤギが心配になって、家に行こうとしますが…。ユーモラスな画風とおはなしが人気の、西村敏雄の絵本。

- 絵「まてまてタクシー」 西村敏雄 福音館書店 800
23P/22cm

タクシーに忘れものをしてしまったハットさん。「まてまてタクシー」と汗だくになって追いかけてますが…!? 思わず笑みがこぼれるユーモラスな絵本。

- 絵「うしのもーさん」 風木一人・作/西村敏雄・絵 福音館書店 1000
24P/21×21cm

大きなうしのもーさんは、みんなを乗せてのんびりお散歩。気持ち良さそうなみんなの様子を見て、「ぼくも…のってみたいな」と、もーさんがつぶやいた。もーさんは大きくてとっても重いけれど、みんなで力を合わせると…。

< 小学校低学年 >

- ◎「だいすきのみかたパンツちゃん」 薫くみこ・作/うちだのぶこ・絵 ポプラ社 1000
70P/22cm

なかなか眠れないさあちゃん。そこへ、なかよしの「パンツちゃん」が登場。パンツちゃんを描いたがんちゃんの夢に遊びにいこうというのです。ふたりは、おふとんにもぐりこみ…。

- 絵「ちっちゃなサリーはみていたよ ひとりでゆうきをだせたなら」
ジャスティン・ロバーツ・文/クリスチャン・ロビンソン・絵 岩崎書店 1400
P/28cm

クラスでいちばんちっちゃいサリーはある日、校庭で友だちがいじめられているところを見かけた。でも、誰もいじめを止めようとしなくて…。本当にそれでいいのかな？ たったひとりで勇気を出した女の子のお話。

絵「三つのまほうのおくりもの」 ジェイムズ・リオードン・文/エロール・ル・カイン・絵 ほるぷ出版 1600
32P/31cm

イギリス児童文学作家リオードンがロシア民話をベースに再話し、「イメージの魔術師」とよばれた絵本作家エロール・ル・カインが色彩豊かに描きだした、ふたりの兄弟のものがたり。

絵「アフリカの民話 しんぞうとひげ」 しまおかゆみこ・再話/モハメッド・チャリンダ・絵 ポプラ社 1400
43P/27×27cm

何も食べられず、はらぺこで死にそうな「ひげ」に食われそうになった「しんぞう」。逃げたしんぞうは、人間の男に「わたしをのみこんで、あなたのからだのなかでかくまってください」と頼んで…。奇想天外なタンザニアの民話。

知「アサガオ」 赤木かん子・作/藤井英美・写真 新潮社 1400
32P/31cm

アサガオが、種から根を出し、芽をのばして、生長する姿を大きな写真で紹介。専門用語は漢字で表記し、小学校1年生でもひとりで読めるようルビを振る。さくいん、用語解説付き。

知「ヒマワリ」 赤木かん子・作/藤井英美・写真 新潮社 1400
32P/31cm

ヒマワリが、種から根を出し、芽をのばして、生長する姿を大きな写真で紹介。専門用語は漢字で表記し、小学校1年生でもひとりで読めるようルビを振る。さくいん、用語解説付き。

知「タンポポ」 赤木かん子・作/藤井英美・写真 新潮社 1400
32P/31cm

タンポポが、種から根を出し、芽をのばして、生長する姿を大きな写真で紹介。専門用語は漢字で表記し、小学校1年生でもひとりで読めるようルビを振る。さくいん、用語解説付き。

絵「ごはん」 平野恵理子 福音館書店 1400
36P/26×27cm

具をごはんと一緒に炊き込んだ「たきこみごはん」、豪快に食べられる「どんぶりもの」、体が弱ったときにぴったりな「おかゆ」…。おいしそうなごはんがいっぱいの絵本。

絵「おばあさんのひっこし」 エドナ・ベッカー・作/白根美代子・絵 福音館書店 800
31P/20×27cm

クローバー畑の真ん中の赤い小さなおうちにすんでいるおばあさん。おうちが古くなったので、かわいがっている猫とめ牛とろばを連れ、引っ越すことにしますが…!?

絵「ニニ、まいごになる」 アニタ・ローベル 評論社 1300
32P/29cm

ネコのニニは庭に出て、どんどんおうちから離れていきます。楽しくさんぼしているうちに、いつのまにか日が暮れて…。どうしよう?! まわりはこわいものだらけ。おうちに帰りたい! ニニの小さな冒険を描いた絵本。

絵「はらぺこたらたとふしぎなクレヨン」 あまんきみこ・作/広瀬弦・絵 PHP研究所 1300
32P/24cm

おなかをすかせた猫のたらたは、チイばあちゃんがクレヨンで描いた赤いタイの絵をぱくん。すると、たらたの体が赤くなってしまいました。チイばあちゃんは、たらたを心配して、林の中へと追いかけていき…。

絵「まいごになったねこのタビー」 C・ロジャー・メイダー 徳間書店 1600
32P/26×26cm

引っ越しで置いていかれてしまった猫のタビー。あわてておいかけたけれど、気がつくとも森のなかでまい

ごになっていて…。スーパーリアリズム絵画で活躍するタブロー画家の絵本デビュー作。

絵「だれかさん」 内田麟太郎／今森光彦・切り絵 アリス館 1300
32P／25cm

眠っていたねこが目をさますと、そばでねずみが眠っていたので驚いた。でも、かわいいなあ。ねこは、ねずみが起きるのを首を長くして待った。ねずみは目がさめて驚いたけど…。ねことねずみの愉快的友情を切り絵で描く。

絵「きたきつねのゆめ」 手島圭三郎 絵本塾出版 1700
32P／31cm

凍てつく寒さのなか、獲物を求めてさまよっていた、きたきつね。ゆきうさぎを見つけ追いかけていると、目の前に、月の光に輝くふしぎな森が。そこで、きたきつねが見たものは…？ 北海道を舞台に描く名作絵本。

絵「まんてんべんとう」 くすのきしげのり・作／伊藤秀男・絵 フレーベル館 1300
32P／27cm

あしたは遠足。お母さんが作ってくれるお弁当はいつも自慢で、楽しみにするなおくんですが、お母さんが熱を出してしまいます。お母さんに無理をさせたくない一心で、なおくんが取った行動とは…。

絵「おねがいパンダさん」 スティーブ・アントニー 評論社 1400
32P／28cm

おいしそうなドーナツをいっぱい持ってきたパンダさん。みんなが欲しがるけど、パンダさんは何かが気に入らなくて、だれにもドーナツをあげない。ドーナツがもらえる“まほうのこぼり”って？

絵「ぼくたちねこなのゆかいな8ぴき」 どいかや アリス館 1300
64P／16×22cm

かわいいねこ、いたずらなねこ、ちっちゃいねこ…いろいろなねこがたーくん！ 著者の家の8匹のねこたちの日常を描いた絵本。

絵「おんみょうじ 鬼のおっぺけぼー」 夢枕獏・作／大島妙子・絵 講談社 1400
32P／27cm

羅城門へむかう牛車の前を歩くのは、まだ子どもの陰陽師、安倍晴明。そこへ、もやもや、雲のなかから鬼のむれがやってきた。このままではみんな食われてしまう…！ 夢枕獏の「陰陽師」シリーズ初の絵本化。

知「アリとくらすむし」 島田たく ポプラ社 1200
36P／21×26cm

アリは、じつはたくさんの虫たちと一緒にくらすしています。アリからえさをもらう虫。アリを食べる虫。アリにかくれる虫。そして、アリと助けあう虫。アリと一緒に生きる虫たちを、迫力ある写真で紹介。見返しに写真あり。

◎「セイルといっしょ星空ぎゅいーん」 長崎夏海・作／小倉まさみ・絵 新日本出版社 1300
68P／22cm

もうすぐ入学式です。桜の花びらが舞う日、あさひはいいことを思いつきました。「セイル」と名付けたランドセルといっしょなら、どんなところにも行けそうです…。新一年生のドキドキわくわくを描いたお話。

< 小学校中学年 >

◎「世界一のパティシエになる！」 輔老心 岩崎書店 1300
173P／22cm

8歳ではじめてスイーツを食べて、パティスリーで修業し、世界一のパティシエになった辻口博啓の半生。どうやって世界一になったのか。どうしたら世界一になれるのか。スーパーパティシエならではの、夢のつかみかたを綴る。

絵「庭をつくろう！」 ゲルダ・ミューラー・作／ふしみみさを・訳 あすなろ書房 1500
36P／31cm

春、バンジャマンの引っ越してきた家には、広い庭がありました。でも、長いこと空き家だったので、庭は荒れ放題。すてきな庭をつくるには、どうしたらいいのかな…？ ちいさな園芸家の1年間を描いた庭づくり絵本。

◎「ねっけつ！怪談部」 林家彦いち・作／加藤休ミ・絵 あかね書房 1500
32P／30cm

ある小学校に熱い先生が現れた。怪談部の顧問だという。だらしのない部員をしごくうち…。林家彦いちの新作落語をクレヨン画家・加藤休ミが絵本化。人気落語家と実力派画家の豪華競演シリーズ。

◎「戦争と平和のものがたり(全5巻)」 西本鶏介・編／狩野富貴子・絵 ポプラ社 各1200
各125P／21cm

戦争をテーマにした童話や、戦時下に生きた人たちの姿を描いた作品を収めたシリーズ。戦争のおろかさといのちの尊さを伝える。1は、「ちいちゃんのかげおくり」「戦争にでかけたおしらさま」など全6編を収録。

2は、「一つの花」「村いちばんのさくらの木」「お母さん、ひらけゴマ！」など全7編を収録。

3は、「おはじきの木」「ピアノとわたし」「野ばら」など全5編を収録。4は、「ヒロシマの歌」「あしたの風」「ともしび」など全5編を収録。5は、「やわらかい手」と「ねんどの神さま」を収録。

絵「ばけねこぞろぞろ」 石黒亜矢子 あかね書房 1400
32P／27cm

ねこをいじめていた俺は、母さんに「ばけねこに仕返しされるよ」と怒られた。そんなのこわくないよーって思っていたら、家ねこのトンも、近所ののらねこも、みーんなばけねこだった…!? 迫力満点の大見開きページあり。

◎「いもむし・ようちゅう図鑑 これはなんのようちゅうかな？」 学研教育出版 1500
88P／27cm

身近なところで見つけた、いもむしや毛むし、ようちゅうがわかる本。大きさ、住んでいるところ、見られる時期、食べるものなどを解説します。クイズや、ようちゅうの育て方も掲載。折り込みページあり。見返しに記事あり。

◎「おうだんほどうのムッシュトマーレ」 香坂直・作／フィリケえつこ・絵 小学館 1300
159P／21cm

どこからともなくあらわれる謎の男ムッシュ・トマーレ。心の赤信号を無視してつき進む人を止めるための、横断歩道の見張り番です。その信号、わたっても大丈夫ですか？ 心がぽっかりする物語集。

◎「ねこの風づくり工場」 みずのよしえ・作／いつのかじ・絵 偕成社 1200
84P／21cm

町の大通りからすこし離れた小高い場所に、一日中忙しそうなお音を立てている工場があります。工場の大きな丸いタンクから出てくるのは、この町をふきわたる風。そして、そこで働いているのは、町に暮らすねこたちで…。

◎「たびいえさん」 北川チハル・作／青山邦彦・絵 くもん出版 1200
94P／22cm

あなたのいえは、どんないえですか？ おかあさんがねむるまえのケンタにはなしてくれたのは…。たびをしている「たびいえ」さんと、かくれるところをさがしているうさぎのサロの勇気のものがたり。

< 小学校高学年 >

◎「医者になりたい 夢をかなえた四人の女性」 島田和子 新日本出版社 1500
157P／20cm

日本初の公許女医第一号・荻野吟子、東京女子医科大学の創業者・吉岡弥生…。「女に学問はいらない」

と言われた時代、強い意思とバイタリティで夢をかなえた女性たちの生きかたを描く。『ゆうゆう糖尿病』連載を単行本化。

◎「おじいちゃんが孫に語る戦争」 田原総一郎 講談社 1300
173P/21cm

自分自身が体験した戦争のことを伝えておきたい。日本を代表するジャーナリスト・田原総一郎が、小5のふたりの孫に語った話をまとめた一冊。日本はなぜ戦争をはじめ、どうして負けたのかがわかる。

絵「宮沢賢治 やまなし」 宮沢賢治 小学館 1500
39P/27cm

二ひきの蟹の子供らが青じろい水の底で話していました。「クラムボンはわらったよ」「クラムボンのかぶかぶわらったよ」。美しい幻想世界を描き出した宮沢賢治「やまなし」の絵本。

絵「リンドバーグ 空飛ぶネズミの大冒険」 トーベン・クールマン ブロンズ新社 2200
P/29cm

1912年のドイツ・ハンブルク。ネズミとりがこわくて逃げ出した仲間を追って、本好きの小ネズミがアメリカへ行くことを決意。設計図をかくて、飛行機をつくって、空を飛んだ! 22カ国で翻訳出版された、美しい絵本。

< 中学校 >

◎「ABC! 曙第二中学校放送部」 市川朔久子 講談社 1500
270P/20cm

みさとが所属するのは、機材オタク・古場とたった2人の放送部。廃部の危機に加え、学校一厳しい先生からも目をつけられ、イマイチな毎日がつづく。さらに美少女の転校生・葉月が関わりはじめてから、状況は複雑化し…。

◎「いのちのパレード」 八束澄子 講談社 1300
207P/20cm

福里中学2年の万里は、同じ2年のセナから「妊娠した」と告白を受ける。万里にほのかな思いを寄せるクラスメイトの勇馬、仕事で忙殺される中で妊娠した勇馬の姉…。思春期の心情によりそう青春小説。

知「語りつごうヒロシマ・ナガサキ③歴史を未来にいかす」 安斎育郎・監修/文 新日本出版社 2500
39P/27cm

1945年8月6日と9日、広島と長崎に投下された原爆は、アメリカが自分たちの力で日本を屈伏させたことを見せつけるためのものでした。日本の戦争の歴史と、原爆投下への世界の人の意見を紹介します。

知「語りつごうヒロシマ・ナガサキ⑤平和について考える」 安斎育郎・監修/文 新日本出版社 2500
39P/27cm

1945年8月6日と9日、広島と長崎に投下された核兵器によって、街、そして、たくさんの命が一瞬で消えました。核兵器をなくし、世界を平和にするためにできることを、広島・長崎の平和教育などから考えます。

2015年度

選定

北海道学校図書館協会

札幌市学校図書館協議

6月の選定図書

協力

株式会社トーハン

(2014年5月に選定された本です)

図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「セイウチくんをさがせ!!」	スティーブンスバッジ	評論社	1400(税別)
絵「そよそよとかぜがふいている」	長新太	復刊ドットコム	1800
絵「やさいぺたぺたかくれんぼ」	松田奈那子	アリス館	1100
絵「いしゃがよい」	さくらせかい	福音館書店	800
絵「えいっ」	三木卓・作/高島純・絵	理論社	1200
絵「いもうとガイドブック」	ポーラ・メトカーフ・文/スザンヌ・バートン・絵	少年写真新聞社	1500
絵「りんこちゃんのへんしん」	はやまめぐみ	絵本塾出版	1300

< 小学校低学年 >

絵「やぎのしずかのしんみりしたいちにち」	田島征三	偕成社	1300
絵「はなす」	竹内敏晴・文/長谷川集平・絵と文	復刊ドットコム	2200
絵「ともだちになろう」	ミース・ファン・ハウト	西村書店	1200
絵「ぴよんぴよんむし ちいさなまゆのだいぼうけん」	谷本雄治・作/近藤薫美子	岩崎書店	1600
絵「あーとってよあー」	小野寺悦子・文/堀川理万子・絵	福音館書店	800
絵「おでかけすいぞくかん」	阿部浩志・文/北村尚子・絵	学研教育出版	1400
絵「ま、いっか!」	サトシン・作/ドーリー・絵	えほんの社	1400
絵「ねこのそら」	きくちちき	講談社	1500
絵「名古屋うみやあものうた」	長谷川義史	佼成出版社	1300
絵「あなたこそたからもの けんぼうのえほん」	いとうまこと・文/たるいしまこ・絵	大月書店	1300

< 小学校中学年 >

◎「かき氷 天然水をつくる」	細島雅代・写真/伊知地英信・文	岩崎書店	1600
◎「ぞうのなみだ ひとのなみだ」	藤原幸一	アリス館	1400
◎「ジス イズ ニューヨーク」		スペースシャワーネットワーク	1800
◎「ジス イズ パリ」		スペースシャワーネットワーク	1800
◎「おどる12人のおひめさま」	グリム童話/エロール・ル・カイン	ほるぷ出版	1200
◎「いばらひめ」	グリム童話/エロール・ル・カイン	ほるぷ出版	1200
◎「魔法のレシピで スイーツ・フェアリー」	堀直子・作/木村いこ・絵	あかね書房	1100
◎「ケロニャンヌ」	安田夏菜・作/しんやゆうこ・絵	講談社	1300
◎「トルネード!」	ベッツィ・バイヤーズ・作/降矢なな・絵	学研教育出版	1300

< 小学校高学年 >

◎「命を救われた捨て犬 夢之丞 災害救助 泥まみれの一步」	今西乃子	金の星社	1300
◎「さくらいろの季節」	蒼沼洋人	ポプラ社	1400
◎「おひさまへんにブルー」	花形みつる	国土社	1400
絵「月夜とめがね」	小川未明	あすなろ書房	1500
知「ガリレオ工房の水のひみつ—変化するすがた—」	伊知地国夫・写真/土井美香子・文	さえら書房	2200
知「じゃんけん学」	稲葉茂勝	今人舎	1800
知「学研の図鑑LIVE 植物」	樋口正信・監修	学研	2200
知「ビジュアル地球案内 日本列島 水をとったら?③」	長嶋俊介・監修	徳間書店	1800
知「『もしも?』の図鑑 身近な危険生物対応マニュアル」	今泉忠明	実業之日本社	1000
◎「12歳5か月の戦没者 ヒロシマ8月6日、少年の見た空」	井上こみち・文/すがわらけいこ・絵	学研	1300
絵「わたしが外人だったころ」	鶴見俊輔	福音館書店	1300

< 中学校 >

◎「渋谷ギャル店員 ひとりではじめてのアフリカボランティア」	栗山さやか	金の星社	1300◎
--------------------------------	-------	------	-------

「風のホテルタイム ぼくらの自転車ロードレース」加部鈴子	岩崎書店	1300
◎「世界を平和にするためのささやかな提案」池澤春菜ほか	河出書房新社	1200
絵・写「アンネのバラ 40年間つないできた平和のバトン」國森康弘	講談社	1500
知「『もしも?』の図鑑 絶滅危惧種救出裁判ファイル」今泉忠明	実業之日本社	1000
◎「夏目漱石、読んじゃえば?」奥泉光	河出書房新社	1300
◎「むのたけじ 100歳のジャーナリストからきみへ [学ぶ]」むのたけじ	菅聖子・汐文社	1500
◎「ケーキ屋さん・カフェで働く人たち」篠智優子	ぺりかん社	1900
◎「希望の木」新井満・文/山本二三・絵	東京法令	2130

< 高等学校 >

◎「利休の闇」加藤 廣	文藝春秋	1500
◎「放浪の聖画家 ピロスマニ」はらだたけひで	集英社	1200
◎「愛之助が案内 永楽館ものがたり」片岡愛之助・清水まり	集英社	1400
◎「トットひとり」黒柳徹子	新潮社	1500
◎「牛と土 福島3.11 とその後」眞並恭介	集英社	1500
◎「火花」又吉直樹	文藝春秋	1200
◎「赤いペン」澤井美穂	フレーベル館	1400

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel726~2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本、詩は詩の本、写は写真の本、知は知識の本です。

2015年6月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

絵「セイウチくんをさがせ!!」	スティーブンサベッジ	評論社	1400(税別)
	32P/26×26cm		

動物園から逃げだしたセイウチくん。飼育員さんが探しますが、なかなか見つけれません。噴水、ショーウインドー、消防隊…。水泳の飛びこみ競技の会場でやっと見つけたけど…?! 文字のない、絵で楽しむ絵本。

絵「そよそよとかぜがふいている」	長新太	復刊ドットコム	1800
	32P/27cm		

ネコなのにペタン、ペタン歩きます。なんでかなあ、なんでかなあ…。力強い色づかいと奇想天外なストーリー。究極のナンセンス絵本。絵本評論家・広松由希子が選んだ「ずっと残したい絵本」第3弾。

絵「やさいぺたぺたかくれんぼ」	松田奈那子	アリス館	1100
	24P/20×20cm		

やさいを切って、絵の具をつけてぺたぺたする、やさいスタンプが、どこかにかくれんぼ。なんのやさいが隠れているかあてっこすることで、やさいへの興味がふくらむ絵本。やさいスタンプの遊び方も紹介。

絵「いしゃがよい」	さくらせかい	福音館書店	800
	23P/22cm		

山で迷子のパンダを見つけたエンさん。「ファファ」となくパンダをファンファンと名付けて、育てることにしました。エンさんは、体が弱いファンファンを自転車に乗せて医者通いすることに…。

絵「えいっ」 三木卓・作／高島純・絵 理論社 1200
24P／24cm

くまの子とおとうさんが町へおでかけ。おとうさんが「えいっ」ととなえると、信号が変わったり、夜空に星が出たりと不思議なことが起こって…。いつもの道がトクベツな道になる、豊かな時間を切り取ったチャームングな絵本。

絵「いもうとガイドブック」ポーラ・メトカーフ・文／スザンヌ・バートン・絵 少年写真新聞社1500
P／29cm

小さい妹がいると、お姉ちゃんは大変です。どこへでもついてくるし、なんでもまねするし…。でも、いいこともたくさんあります！ 妹のことがよくわかるガイドブック。

絵「りんこちゃんのへんしん」 はやまめぐみ 絵本塾出版 1300
P／×cm

「ぼくはトラだぞガオー」「じゃあぼくライオン」「わたしネコちゃん」「かいじゅうだつよいぞ」みんなおもいおもいにへんしんしていきます。はたしてりんこちゃんはなににへんしんしたのでしょうか。

< 小学校低学年 >

絵「やぎのしずかのしんみりしたいいちにち」 田島征三 偕成社 1300
32P／25cm

死んでうたわなくなったセミ、きれいなのに誰にも気づかれないあさつゆ…。悲しさや、美しさがむねにしみて、しんみりしてしまったやぎのしずか。はげましてくれたのは、いつもの友だちと、やさしい風でした。

絵「はなす」 竹内敏晴・文／長谷川集平・絵と文 復刊ドットコム 2200
P／29cm

きょうはいいひだ。よしくんとともだちになれたし、それに、たんぽぽとおはなしできたー。演出家・竹内敏晴と、様々な分野で独自の表現方法を試み続け、多くの人を魅了する作家・長谷川集平による、五感を感じ、認識する絵本。

絵「ともだちになろう」 ミース・ファン・ハウト 西村書店 1200
32P／31cm

かいじゅうたちが、ともだちといっしょに、あそんで、けんかして、なかなおり…。たくさんともだちをつくらう！ ともだちができたときの、子どものドキドキした気持ちに寄りそうこころ絵本。

絵「ぴよんぴよんむし ちいさなまゆのだいぼうけん」 谷本雄治・作／近藤薫美子 岩崎書店 1600
24P／27cm

あっちで、こっちで、いくつもいくつも「ぴよんぴよんむし」が落ちてきて、森のむしたちは大騒ぎ！ 葉っぱの中で葉っぱをたべて、葉っぱをつづってまゆをつくる、小さなゾウムシのおはなし。

絵「あーといつてよあー」 小野寺悦子・文／堀川理万子・絵 福音館書店 800
23P／21×24cm

いろんな「あー」の声をしてみよう！ 上を向いて「あー」、声も口もくすぐったい「あわわわわ」、ぶるぶるふるえる不思議な声「あ～あ～」。どんな「あー」があなたのいい声？

絵「おでかけすいぞくかん」 阿部浩志・文／北村尚子・絵 学研教育出版 1400
39P／26cm

イソギンチャクの触手のあいだで暮らすカクレマノミ、時速80キロの速さで泳ぐことができるクロマダロ…。水族館にいる生きものたちと、水族館の飼育係の仕事を紹介します。ワイドページあり。

絵「ま、いっか！」 サトシン・作／ドーリー・絵 えほんの社 1400
32P／31cm

「ま、いっか！」は魔法のコトバ？ 寝坊したテキトーさんは、「遅刻するのは仕方ないとして、会社にはちゃんと行かないとな」といってベッドを出ましたが…。終わりよければすべてよし！ テキトーさんが今日も行く！

絵「ねこのそら」 きくちちき 講談社 1500
32P/31cm

ちいさなねこがおおきな木を見て、「ぼく、いちばん上までのぼりたい」と言いました。木のとっぺんまでのぼれたときに、ねこが見たものは？ 成長の喜びが日々つむがれる、「父と息子の対話」のような物語。

絵「名古屋うみやあものうた」 長谷川義史 佼成出版社 1300
31P/25cm

名古屋にやうみやあもんがどえりやああるんだわ。手羽先、えびフリヤー、あんかけスパゲティ、いろいろ…。「ゆかいな牧場」のメロディにのって、名古屋の名物が次々登場する歌遊び絵本。巻末に楽譜も掲載。

絵「あなたこそたからもの けんぼうのえほん」 いたうまこと・文/たるいしまこ・絵 大月書店 1300
36P/22cm

みんなおなじで、みんなちがう。だれもが、ひとりのひととして、たいせつにされる。このことを、「こじんのそんちょう」というよ。子どもたちに憲法の大変な精神を伝える絵本。

<小学校中学年>

◎「かき氷 天然水をつくる」 細島雅代・写真/伊知地英信・文 岩崎書店 1600
36P/29cm

なぜ、天然氷のかき氷はおいしいのか？ 真冬の冷たさを真夏までとじこめる貴重な技術の秘密とは？ 埼玉県長瀬の、明治時代からある天然氷の氷屋さん一家の、氷づくりを追ったフォトドキュメント。

◎「ぞうのなみだ ひとのなみだ」 藤原幸一 アリス館 1400
37P/30cm

ぞうの親子が森の奥へいくと、そこは田んぼになっていた。稲を食べたおかあさんぞうは、人間に銃で撃たれて…。大切な家族を守ろうとする心は、動物も人間も同じであることを描く。

◎「ジス イズ ニューヨーク」 スペースシャワーネットワーク 1800
60P/31cm

いろんな人や車が行き交うタイムズ・スクエアから、セントラルパークに暮らす大きなしっぽのリス、野球ファンでにぎわうヤンキース・スタジアムまで。旅する絵本作家サセックがニューヨークの様子を描いた絵本。

◎「ジス イズ パリ」 スペースシャワーネットワーク 1800
60P/31cm

街にとけこむネコたちから、「新しい橋」という意味のポン・ヌフ、活気あふれるパリ中央市場「レ・アール」、世界に名高いルーブル美術館まで。旅する絵本作家サセックが、おしゃれなパリの様子を描いた絵本。

◎「おどる12人のおひめさま」 グリム童話/エロール・ル・カイン ほるぷ出版 1200
32P/20×25cm

イメージの魔術師と呼ばれた絵本作家、エロール・ル・カインの描くグリム童話「おどる12人のおひめさま」の新版。読み継がれてきたお話はそのままに、イラストをデジタル化し、原書の美しい色味を再現した絵本。

◎「いばらひめ」 グリム童話/エロール・ル・カイン ほるぷ出版 1200
32P/20×25cm

イメージの魔術師と呼ばれた絵本作家、エロール・ル・カインの描くグリム童話「いばらひめ」の新版。

読み継がれてきたお話はそのままに、イラストをデジタル化し、原書の美しい色味を再現した絵本。

◎「魔法のレシピで スイーツ・フェアリー」堀直子・作／木村いこ・絵 あかね書房 1100
156P／21cm

空想するのが大好きなみわは、「調理同好会」の危機に思わず「スイーツで、妖精の国を作ります!」と言ってしまいます。4人で力をあわせ、おいしいスイーツでみんなを幸せにできるのでしょうか…!?

◎「ケロニャンヌ」 安田夏菜・作／しんやゆうこ・絵 講談社 1300
125P／20cm

ケロポンも、マリニャンヌも、ジュミョウになって、カイトくんの前からいなくなってしまった。悲しくて、悲しくて、学校をお休みしたその日、カイト君のベッドのあし元に、へんな動物が「ふせ」をしていて…。

◎「トルネード!」 ベッツィ・バイヤーズ・作／降矢なな・絵 学研教育出版 1300
78P／22cm

すさまじい竜巻が村に近づいてきて、ぼくたちは地下室に避難した。不安な気持ちでおびえるぼくたちに、毎日農場にきているピートがふしぎな話を聞かせてくれて…。竜巻とともにやってきた、「トルネード」という名の犬の物語。

<小学校高学年>

◎「命を救われた捨て犬 夢之丞 災害救助 泥まみれの一步」今西乃子 金の星社 1300
157P／22cm

泥にまみれて広島で救助活動を行った1匹の災害救助犬。「夢之丞」という名のその犬は、殺処分寸前で救われた犬だった。過酷な現場で活躍する災害救助犬と、一度は人間に見捨てられた「命の可能性」を探るノンフィクション。

◎「さくらいろの季節」 蒼沼洋人 ポプラ社 1400
292P／20cm

12歳。教室は、ときに戦場になる。痛くて切れそうで、ヒリヒリで、意味不明。でも-これがいまの、そのままの、わたしたちだ。教室のなかで、もがくように生きる少女たちのむきだしの日々を描く。

◎「おひさまへんにブルー」 花形みつる 国土社 1400
199P／20cm

究極のいじめられっ子、拓実。クラスが変わっても転校しても、ずっと暴力の標的になってきた拓実を救ったのは、汗のしみこんだ古い麦わら帽子みたいな匂いがする少年だった…。

絵「月夜とめがね」 小川未明 あすなろ書房 1500
39P／21×24cm

月のきれいな春の夜のこと。おばあさんが、いつものように、ひとり、針仕事をしていると…。「日本のアンデルセン」と呼ばれた小川未明の、美しい夜の物語。

知「ガリレオ工房の水のひみつ—変化するすがた—」伊知地国夫・写真／土井美香子・文 さえら書房 2200
63P／27cm

水には形があるのか? 空気の中にも水はある? ふだんは目にすることのない水のいろいろなすがたをクローズアップ写真やハイスピードカメラの写真で紹介し、水のひみつを探究する。デジカメでの写真の撮り方も解説。

知「じゃんけん学」 稲葉茂勝 今人舎 1800
54P／27cm

じゃんけんのルーツを、歴史的な資料を用いて紹介するとともに、なぜ「最初はグー」というのかなど、じゃんけんの秘密に迫る。世界中のじゃんけんのかけ声や手の形の意味、遊び方も解説する。

知「学研の図鑑LIVE 植物」 樋口正信・監修 学研 2200
255P/29cm

植物やキノコ約1300種を実物大を含む臨場感ある写真でわかりやすく解説。スマートフォンをかざすと動画が見られるマーク付き。付属DVDには受粉するためのくふうなどを収録。見返しに生物の進化表あり。

知「ビジュアル地球案内 日本列島 水をとったら?③」長嶋俊介・監修 徳間書店 1800
63P/31cm

「水のある場所」に注目して、世界最大規模の地図データを駆使し、ビジュアルにわかりやすく日本の地形や自然を解説。シリーズ第3弾では、島の基礎知識や、日本の各地域の島の特徴、代表的な島々の地形などを紹介する。

知「『もしも?』の図鑑 身近な危険生物対応マニュアル」今泉忠明 実業之日本社 1000
111P/21cm

ペットのからだにネコノミが隠れていたら? ニホンマムシに、にらまれたら? 身近な危険生物に襲われたときに役立つ対処法を紹介。身近な危険生物の精密なイラストで生態がわかる。漫画「ぼくたちの危険な夏休み」も掲載。

◎「12歳5か月の戦没者 ヒロシマ8月6日、少年の見た空」井上こみち・文/すがわらけいこ・絵 学研 1300
P/×cm

8月6日の朝、「行ってまいります」と小さく右手をふって出かけた杜夫は、原子爆弾によって12歳5か月の命を落とした…。杜夫とその家族のかけがえのない日々と、愛しい者をうばわれた悲しみの記録。見返しに地図等あり。[「せんそうってなんだったの? 第2期9 8月6日、モリオの見た空」(2014年刊)の加筆、再編]

絵「わたしが外人だったころ」 鶴見俊輔 福音館書店 1300
40P/26cm

わたしは、アメリカにいた時、外人でした。戦争中の日本にもどると、日本人を外人と感じて毎日すごしました。16歳から19歳までをアメリカで過ごし、日本で敗戦を迎えた著者が当時を振り返る。

< 中学校 >

◎「渋谷ギャル店員 ひとりではじめたアフリカボランティア」栗山さやか 金の星社 1300
213P/20cm

渋谷109の元ギャル店員が世界を旅し、アフリカでNPOを立ち上げた! アフリカで目をそむけたくないような現実に直面し、女性や子どもを支援する協会「アシャンテママ」をたったひとりで設立した著者の奮闘記。

◎「風のヒルクライム ぼくらの自転車ロードレース」加部鈴子 岩崎書店 1300
175P/20cm

13歳の誕生日に父からロードバイクを贈られた涼太は、勢いでレースに出ることに。スタートに集う選手たちは、それぞれの人生模様も乗せてゴール目がけて山を駆け上がる。自転車疾走小説。

◎「世界を平和にするためのささやかな提案」池澤春菜ほか 河出書房新社 1200
155P/19cm

世界を平和にするために、わたしたちができることは。黒柳徹子(女優・ユニセフ親善大使)、木村草太(憲法学者)、春香クリスティーン(タレント)など22人が、今日からできる平和のためのアイデアを提案する。

絵・写「アンネのバラ 40年間つないできた平和のバトン」國森康弘 講談社 1500
47P/20×22cm

1976年、当時の生徒たちが平和のシンボルとして植えたアンネのバラ。その思いを受けついで、バラを育てる東京都杉並区立高井戸中学校の生徒たちの姿を写真で紹介する。戦争と平和を考える本。

知『もしも?』の図鑑 絶滅危惧種救出裁判ファイル 今泉忠明 実業之日本社 1000
111P/21cm

絶滅の危機に瀕している動物たちを原告、人間を被告にした裁判形式で、絶滅危惧種の生態、原因、現状をわかりやすく解説した空想科学図鑑。知識のすきまを埋めるコラムや、漫画「動物からの訴え」も掲載。

◎「夏目漱石、読んじゃえば?」 奥泉 光 河出書房新社 1300
233P/19cm

「坊っちゃん」は中二病の物語? 「こころ」って傑作じゃない? 「それから」に潜むミステリーとは? 奥泉光が漱石の全く新しい読み方を伝授する。香日ゆらによる漱石案内漫画付き。

◎「むのたけじ 100歳のジャーナリストからきみへ [学ぶ]」 むのたけじ・菅聖子 汐文社 1500
71P/22cm

「人間のいるところはどこでも教室である」「読書は第四の食事である」…。戦前、戦中、戦後を生きてきた現役ジャーナリストのむのたけじが贈る「学ぶ」をテーマにしたメッセージに、解説を加えて収録。

◎「ケーキ屋さん・カフェで働く人たち」 篠智優子 ぺりかん社 1900
151P/21cm

ケーキ屋さんのオーナー、パティシエ、製粉会社営業、カフェの店長、店舗運営、商品開発、青果卸会社営業など、ケーキ屋さん・カフェで働くいろいろな職種を紹介。現場としくみ、実際に働く人たちのインタビューも掲載する。

◎「希望の木」 新井満・文/山本二三・絵 東京法令 2130
50P/22×31cm

高田松原7万本の松の木たちは、ひとりのこらずスクラムを組み、レイラを津波から守ろうとしてくれたのです。「レイラを守れー!」「レイラだけは、津波から守れー!」(帯のことば)
読み聞かせのためのDVD付。

< 高等学校 >

◎「利休の闇」 加藤 廣 文藝春秋 1500
332P/20cm

秀吉が利休に切腹を命じた理由は信長時代まで遡るものだった…。秀吉と利休はどのように知己を得たか。秀吉が北野大茶会を実現させた理由とは。膨大な資料をもとに描く歴史ミステリー。『オール讀物』掲載を単行本化。

◎「放浪の聖画家 ピロスマニ」 はらだたけひで 集英社 1200
254P/18cm

ピカソが認めた孤高の画家ニコ・ピロスマニ。故郷グルジアの人々や風土への深い愛に満ちた代表作をオールカラーで完全収録し、漂泊する天才の魅力を余すことなく伝える。

◎「愛之助が案内 永楽館ものがたり」 片岡愛之助・清水まり 集英社 1400
198P/18cm

片岡愛之助が力を入れる「永楽館歌舞伎」。地域の人々に愛され続け、44年の歳月を経て奇跡の復活を遂げた近畿最古の芝居小屋「出石永楽館」での公演の様子と歴史、出石の地域情報を紹介する。

◎「トットひとり」 黒柳徹子 新潮社 1500
301P/20cm

黒柳徹子が、向田邦子、森繁久彌、渥美清、沢村貞子たちとの友情、「ザ・ベストテン」の日々、結婚未遂事件などを綴る。長年にわたって『小説新潮』等に発表してきたエッセイを改稿し、大幅な加筆を施した

ものを中心に収録。

◎「牛と土 福島 3.11 とその後」 眞並恭介 集英社 1500
269P/20cm

東日本大震災で被曝地となった福島で、殺処分を受け入れず被曝した牛を生かそうとする牛飼いたちと、帰還のため土壌の調査に奮闘する研究者たち。両者への丹念な取材を重ね、失ったものは何かを問いかけるノンフィクション。

◎「火花」 又吉直樹 文藝春秋 1200
148P/20cm

奇想の天才である一方で人間味溢れる神谷、彼を師と慕う後輩徳永。芸人の2人が運命のように出会ってから劇は始まった。笑いとは何か、人間が生きるとは何なのか。『文學界』掲載を書籍化。

◎「赤いペン」 澤井美穂 フレーベル館 1400
197P/20cm

心に秘めた想いを引きだし、人から人へと物語をつむいで旅する「赤いペン」。夏野はペンの残した足跡を追って、一つひとつ、物語のかけらを拾い集めていく。はたして、赤いペンにたどりつくことができるのか？

<その他>

2015年度	選定	北海道学校図書館協会 札幌市学校図書館協議
7月の選定図書 (2015年6月に選定された本です)	協力	株式会社トーハン 図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「ぼくのたからもの」	鈴木まもる	アリス館	1400(税別)
絵「わらう」	浜田桂子	福音館書店	900
絵「かとりせんこう」	田島征三	福音館書店	800

< 小学校低学年 >

◎「みんなからみえないブライアン」	トルーディ・ランドウィック・作/パトリス・バートン・絵	くもん出版	1400
知「ぼくは、チューズデー」	ルイス・カルロス・モンタルバン/ブレット・ウィッタ	ほるぷ出版	1400
知「五感のえほん かぞえる」	楠田枝里子・作/飯野和好・画	復刊ドットコム	2200
知「ライフタイムいきものたちの一生と数字」	ローラ・M・シェファー・文/クリストファー・サイラス・ニール・絵	ポプラ社	1500
絵「たなからぼたもち」	くすのきしげのり・作/澤野秋文・絵	廣済堂あかつき	1600
絵「ウホウホあぶないウホウホにげろ」	日隅一雄・原案/一色悦子・文/市居みか・絵	子どもの未来社	1500

< 小学校中学年 >

◎「とびばこバーン」	升井純子・作/おくはらゆめ・絵	講談社	1200
◎「エゾリス」	竹田津実・写真と文	アリス館	1400
絵「よるになると」	松岡達英	福音館書店	900
◎「ウミガメいのちをつなぐ岬」	櫻井季己	少年新聞社	1400
◎「日本人なら知っておきたい!モノの数え方えほん」	町田健・監修	日本図書センター	1500
◎「だいすきスイーツで自由研究」	盛口満・監修	主婦と生活社	1300

< 小学校高学年 >

◎「青い目の人形物語①平和の願い」	アメリカ編 シャリー・バレント	岩崎書店	1600
◎「それぞれの名前」	春間美幸	講談社	1300
◎「さくら猫と生きる 殺処分をなくすためにできること」	今西乃子	ポプラ社	1200
◎「広島の木に会いに行く」	石田優子	偕成社	1800
◎「幽霊魚」	福田隆浩	講談社	1500
◎「シノダ! 夏休みの秘密の友だち」	富安陽子	偕成社	1300
写「ガザ 戦争しか知らない子どもたち」	清田明宏	ポプラ社	1500
知「柳田理科雄の1日1科学 春の空想科学」	柳田理科雄	汐文社	2400
知「しぜんのひみつ写真館④ぜんぶわかるアサガオ」	渡邊弘晴	ポプラ社	2000
写「北極・いのちの物語」	寺沢考毅	偕成社	1300

< 中学校 >

◎「美雨13歳のしあわせレシピ」	しめのゆき	ポプラ社	1400
◎「たまたまザイル、またコンゴ」	田中真智	偕成社	1300
◎「平和をかんがえる 子ども俳句絵本」		小学館	1400
◎「狐物語」	レオポルド・ショヴォー・編・画	福音館書店	2300

< 高等学校 >

◎「うたうとは小さいのちひろいあげ」	村上しいこ	講談社	1500
◎「私の息子はサルだった」	佐野洋子	新潮社	1200
◎「芸人と俳人」	又吉直樹・坂本裕樹	集英社	1300
◎「国境のない生き方」	ヤマザキマリ	小学館	740
◎「ヴォルテール、ただいま参上!」	ハンス=ヨアヒム・シェートリヒ	新潮社	1600
◎「少女は本を読んで大人になる」	クラブヒルサイド・編	現代企画室	1500

＜ 幼児 ＞

絵「ぼくのたからもの」 鈴木まもる アリス館 1400(税別)
32P/26cm

小学1年生のジュンの家に、メジロが巣を作った。鳥の巣も丸いし、かあさんのおなかも丸い。中に赤ちゃんが入っているのもおんなじだ。おどろかさないように、毎日観察していると、やがてヒナが生まれ、ジュンにも妹が…。

絵「わらう」 浜田桂子 福音館書店 900
27P/26cm

わらわないおまじないをしたけんちゃん。その顔は、悲しそうで、つまらなそうで、怒っているみたいで…。人と人が関わり合う中で「わらい」が消えてしまったら？ わらうことの大切さを気づかせてくれる絵本。

絵「かとりせんこう」 田島征三 福音館書店 800
27P/20×27cm

蚊取線香の煙がもんもんと漂うと…蚊がぼとん、お花がぼとん、おじさんのお髭がぼとん。煙がもんもんと窓から出ていくと…洗濯物がぼとん、看板がぼとん、幽霊がぼとん。どんどん落ちて、さてその威力は？

＜ 小学校低学年 ＞

◎「みんなからみえないブライアン」 トルーディ・ランドウィック・作/パトリス・バートン・絵 くもん出版 1400
31P/27cm

ブライアンは目立たない。キックベースのメンバーには選ばれないし、お昼休みの話の輪にも入れない。そんなある朝、クラスに転校生のジャスティンがやって来て…。親子で、クラスで読みたい絵本。

知「ぼくは、チューズデー」 ルイス・カルロス・モンタルバン/ブレット・ウィッタ ほるぷ出版 1400
40P/24×24cm

けがをして、今までと同じ暮らしができなくなった元軍人のルイス。そんな彼を救ったのが、介助犬チューズデーでした。朝、ルイスを起こしたり、一緒にいろいろな場所へ行ったり…。介助犬の仕事とふたりの生活を描く写真絵本。

知「五感のえほん かぞえる」 楠田枝里子・作/飯野和好・画 復刊ドットコム 2200
38P/29cm

かずの多いほうが勝ち？ かぞえられない大切なものも、あるんだよー。幅広い創作活動で活躍する楠田枝里子と、人気の絵本作家として第一線で活躍する飯野和好による、“かぞえる”ことの本質を捉えた絵本。シリーズ第4弾。

知「ライフタイムいきものたちの一生と数字」 ローラ・M・シェファー・文/クリストファー・サイラス・ニール・絵 ポプラ社 1500
32P/25×31cm

一生の間に、トナカイの角は10回生えかわります。一生の間に、カンガルーのメスは50匹の赤ちゃんを産みます…。生きものたちの一生に隠された数字の不思議を、グラフィカルなイラストで紹介する科学絵本。

絵「たなからぼたもち」 くすのきしげのり・作/澤野秋文・絵 廣済堂あかつき 1600
32P/26cm

あまたらうは、「あんこや」というおかしやのひとり息子。働かないで毎日ぶらぶらしていたら、とうとうおとつあんに叱られて…。よく知られたことわざから生まれた、ゆかいなおはなし絵本。

絵「ウハウホあぶないウハウホにげろ」 日隅一雄・原案/一色悦子・文/市居みか・絵 子どもの未来社 1500
32P/27cm

おとなは、だれもが、こどものいのちの見はりやく。こどもたちと一緒に大きな森へ行ったサルのジュリ先生は、ヒョウがこどもたちを狙っているのに気づき…。弁護士・日隅一雄が、病の痛みで眠れない夜につづった童話を絵本化。

< 小学校中学年 >

- ◎「とびばこバーン」 升井純子・作／おくはらゆめ・絵 講談社 1200
91P／22cm
今日は学校にいきたくない。ぷちん、ぷちん、もひとつぷちん。学校へむかう一本道で、野花がシロツメクサを摘んでいたら…。とびばこが苦手な女の子のものがたり。
- ◎「エゾリス」 竹田津実・写真と文 アリス館 1400
38P／26cm
北海道に住むエゾリスのアカキチは、獣医である著者の家に通ってきた。著者が4年間見守りつづけたのちに…。北国からの動物記。
- 絵「よるになると」 松岡達英 福音館書店 900
27P／26cm
昼の公園には、花の蜜をもとめて虫たちが集まる。夜の公園では、湿った枯れ葉をダンゴムシが食べる。昼の草原、夜の草原、昼の川、夜の川…。生き物たちがくらす昼と夜の世界を、対比させて丁寧に描いた絵本。
- ◎「ウミガメいのちをつなぐ岬」 櫻井季己 少年新聞社 1400
P／×cm
アカウミガメは、夏の夜に日本各地の海岸にやって来て、砂浜の中に卵を産み落とします。やがてかえった子ガメは、砂の中からはい出て大海原に旅立ちます。静岡県・御前崎を舞台に、太古から続くいのちをつなぐ不思議ないとみと、それを見守り続ける海辺の人びとを、写真物語で伝えます。
- ◎「日本人なら知っておきたい！モノの数え方えほん」 町田健・監修 日本図書センター 1500
79P／21cm
「モノの数え方」には、驚きと不思議がいっぱい！数のすけたちといっしょに、「モノの数え方」修行の旅に出よう。日本人なら知っておきたい、生きもの、人、食べもの、身近なものなどの数え方のルールを紹介します。
- ◎「だいすきスイーツで自由研究」 盛口満・監修 主婦と生活社 1300
111P／28cm
「はじける！お鍋ポップコーン」「色が変わるハーブティー」など、お家でできる23の料理実験を写真で紹介し、実験にまつわる疑問をイラストとともに解説する。自由研究のまとめ方、取り組み方も掲載。

< 小学校高学年 >

- ◎「青い目の人形物語①平和の願い アメリカ編」 シャリー・バレントー 岩崎書店 1600
350P／20cm
1920年代、アメリカと日本の子どもたちのあいだで「友情の人形」が交換されました。歴史上の事実をもとに、日本へ人形を送った当時の子どもたちのことをいきいきとえがいた創作物語。
- ◎「それぞれの名前」 春間美幸 講談社 1300
213P／20cm
チカとユカはそっくりな双子。最近、チカは千代田君には、自分がチカだっで見分けてもらいたいと思っている。そんな千代田君は、自分の下の名前が気に入っていないみたいで…。自分の名前のことを考えたくなる物語。
- ◎「さくら猫と生きる 殺処分をなくすためにできること」 今西乃子 ポプラ社 1200
157P／20cm
街の猫たちがその一生を終えてこの街からいなくなるまで、彼らを見まもり、ともに生きていきたい。殺処分をなくすために立ちあがった猫ボランティアの奮闘を描いたノンフィクション。

- ◎「広島の木に会いに行く」 石田優子 偕成社 1800
239P/22cm
原爆を生きぬいた被爆樹木。ドキュメンタリー映像作家が、木の声をきくために、樹木医と広島を歩き、原爆の体験をきいて、木の専門家に会いに行く。巻末に被爆樹木マップを掲載。
- ◎「幽霊魚」 福田隆浩 講談社 1500
221P/20cm
「見とけよ。おれが幽霊魚ば釣り上げて見せるけん」 離島に引っ越してきた小6の知希は、「釣り上げれば大事なものを取り返せる」と、幻の「幽霊魚」にこだわる仲間の英治を不思議に思うが…。
- ◎「シノダ! 夏休みの秘密の友だち」 富安陽子 偕成社 1300
285P/20cm
キツネ一族から不思議な力を受け継いだユイとタクミ。パパの故郷で夏休みを楽しんでいたふたりは、キツネのお面をかぶった男の子から、山で開かれる不思議なお祭りのことを知らされて…。
- 写「ガザ 戦争しか知らない子どもたち」 清田明宏 ポプラ社 1500
55P/27cm
21世紀だけでもすでに4回も戦争が起きているガザ。収容所のようなこの都市では、多くの人の命が奪われ、建物が破壊された。こどもたちを中心に、ガザの様子を紹介する。
- 知「柳田理科雄の1日1科学 春の空想科学」 柳田理科雄 汐文社 2400
P/×cm
「どんなことでも科学で楽しめる」を合言葉に、子どもに身近なテーマを設定し、科学的に解説。すぐにできる実験も紹介。すごい ふしぎ と驚き、感動し、想像する「科学のこころ」を育む1冊。
- 知「しぜんのひみつ写真館④ぜんぶわかる!アサガオ」 渡邊弘晴 ポプラ社 2000
68P/27cm
1200年前に日本にやってきたアサガオは、それからさまざまに変化していきました。アサガオの暮らし、種類を写真とともに紹介し、アサガオの調べ方等も解説します。
- 写「北極・いのちの物語」 寺沢考毅 偕成社 1300
40P/26cm
ホッキョクグマが3000頭もすむという、ノルウェーのスバルバル諸島。そこで目にしたのは、ホッキョクグマの意外な姿だった…。寒さがつくる、いのちのつながりを追う探検記。
- ＜ 中学校 ＞
- ◎「美雨13歳のしあわせレシピ」 しめのゆき ポプラ社 1400
263P/20cm
ある雨の日、学校から帰ると家の中にはお料理のいい匂いが立ちこめていた。家事などしたこともないお父さんが超本格的な料理をしていて、お母さんは家出していた…。家族のドラマは波瀾万丈。でも心に美味しい、幸福な物語。
- ◎「たまたまザイール、またコンゴ」 田中真智 偕成社 1300
303P/20cm
丸木舟で下り、輸送船でもみくちやになりながら、過酷な日々の中で見たものとは一。アフリカ中央部のジャングルを流れるコンゴ河(ザイール河)を、1991年と2012年の2度、船で下った道中記。見返しにイラストあり。
- ◎「平和をかながえる 子ども俳句絵本」 小学館 1400
P/×cm
戦時下のこどもの写真と、いまのこどもが作った俳句でみちかな「幸せ」を感じる心を育む一冊。くわしい

解説と年表つき。

- ◎「狐物語」 レオポルド・ショヴォー・編・画 福音館書店 2300
437P/21cm

フランス中世の森から、赤毛のあいつがやってきた！ 世界一有名な狐ルナールの物語。20世紀の寓話語りとして名高い異色の作家・画家レオポルド・ショヴォーが、みずから編みなおした動物叙事詩の代表作。

< 高等学校 >

- ◎「うたうとは小さいのちひろいあげ」 村上しいこ 講談社 1500
317P/20cm

高校1年生になった桃子は、短歌を詠む「うた部」に入部する。でも、不登校になったままの親友の綾美に対して部活のことを言い出せない。そんなある日の放課後、うた部で短歌甲子園に出場しようという話が持ち上がって。

- ◎「私の息子はサルだった」 佐野洋子 新潮社 1200
125P/20cm

私は疑いもなく子供を愛しているが、その愛が充分で、適切であるかどうか、うろたえる。「100万回生きたねこ」の著者が自らの子供を見つめて描く心あたたまる物語エッセイ。没後新発見、未発表作品を書籍化。

- ◎「芸人と俳人」 又吉直樹・坂本裕樹 集英社 1300
349P/19cm

作家としても注目を集める芸人・又吉直樹が、気鋭の俳人・堀本裕樹に弟子入り。ひそやかな2年の学びをまとめる。書き下ろしエッセイや実作俳句20句も収録。『すばる』連載「ササる俳句 笑う俳句」を単行本化。

- ◎「国境のない生き方」 ヤマザキマリ 小学館 740
253P/18cm

地球のあちこちで生きてきた漫画家をつくったのは、たくさんの本と、人との出会いだっただけ！ 古今東西の名著から知られざる傑作小説まで、著者が人生を共に歩んできた本を縦糸に綴る体験的人生論。

- ◎「ヴォルテール、ただいま参上！」 ハンス＝ヨアヒム・シェートリヒ 新潮社 1600
154P/20cm

思想家ヴォルテールと、プロイセン王フリードリヒ二世。2人の間には、恋にも似た友情と壮絶な駆け引きがあった！ 思想家と名君の知られざる素顔を描く、笑いと驚きに満ちた歴史小説。

- ◎「少女は本を読んで大人になる」 クラブヒルサイド・編 現代企画室 1500
269P/19cm

人は本を読んで未知の世界を知る。少女が大人になる過程で読んでほしい10冊の古典的名作を、さまざまに人生を切りひらいてきた10人の女性たちと共に読んだ読書会の記録。読書会から生まれたサンドウィッチ・レシピ付き。

2015年度

選定

北海道学校図書館協会

札幌市学校図書館協議

8月の選定図書

協力

株式会社トーハン

(2015年7月に選定された本です)

図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「どどどーん ぱっ！」	とよたかずひこ	鈴木出版	1200(税別)
絵「こちょこちょがいっぱい！」	トマス・テイラー・文/ペニー・ダン・絵	ほるぷ出版	1400
絵「ねんねのおとがきこえるよ」	きたやまようこ	白泉社	880
絵「やさいだワッシュョイ!おもしろさとどけ隊」	サトシン・作/ドーリー・絵	文溪堂	1300
絵「うんこちゃん」	のぶみ	ひかりのくに	1280
絵「どんどんくるくる」	中尾昌稔・文/岩田明子・絵	大日本出版	1300

< 小学校低学年 >

◎「スプーン王子のぼうけん」	竹下文字	すずき出版	1300
絵「あひる」	石川えりこ	くもん出版	1500
知「なぜ?の図鑑 動物」	今泉忠明・監修	学研	1900
絵「ゆきおくんの初恋」	安田未知子・作/日隈みさき・絵	WAVE出版	1300
◎「きょうりゅうだいはいけんずかん」	真鍋真・監修	世界文化社	1300
絵「まんじゅうじいさん」	あらいゆきこ	絵本塾出版	1300

< 小学校中学年 >

絵「ど根性ひまわりのき〜ぼうちゃん」	漆原智良・作/さくらせかり・絵	第三文明社	1500
絵「Zeroゼロ」	キャサリン・オートシ/乙武洋匡・訳	講談社	1600
絵「Oneワン」	キャサリン・オートシ/乙武洋匡・訳	講談社	1600
知「タンチョウのきずな:「日本の鶴」の一年」	久保敬親・写真と文	小学館	1300
◎「目の見えない子ねこ、どろっふ」	沢田俊子・文/田中六代・絵	講談社	1300
絵「そらいろ男爵」	ジル・ボム・文/テイエリー・デデュー・絵	主婦の友社	1300
◎「ペンギンは、ぼくのネコ」	ホリー・ウェップ・作/大野八生・絵	徳間書店	1400
知「ノグチゲラの親子」	渡久地豊・写真と文	小学館	1300
知「ぜんぶわかる!カイコ」	新開 孝	ポプラ社	2000
知「世界の子どもの遊び」	寒川恒夫・監修	PHP研究所	3000
絵「江戸の妖怪一座」	青山邦彦	フレーベル館	1300
知「大迫力!世界の妖怪大百科」	山口敏太郎	西東社	1300
絵「おかあさんのいのり」	武鹿悦子・作/江頭路子・絵	岩崎書店	1400
◎「新版なぞとき恐竜大行進②アロサウルス」	たかしよいち・文/中山けいしょう・絵	理論社	1500

< 小学校高学年 >

絵「イーダ 美しい石になった小さなカメの物語」	ヨルン・フルムトル、シュタイン・ヘレヴェ	創元社	1500
◎「生きる 劉連仁の物語」	森越智子	童心社	1600
◎「すし食いねえ」	吉橋通夫	講談社	1400
◎「ものだま探偵団③ルークとふしぎな歌」	ほしおさなえ	徳間書店	1500
◎「あきらめないことにしたの」	堀米 薫	新日本出版社	1400
◎「北国からの動物記 エゾリス」	竹田津実	アリス館	1400
◎「あんずの木の下で 体の不自由な子どもたちの太平洋戦争」	小手鞠るい	原書房	1300
知「キッチンでおやつマジック大百科」	村上祥子・監修	学研	1980
◎「スモーキー山脈からの手紙」	バーバラ・オコーナー	評論社	1500
絵「杉原千畝と命のビザ 自由への道」	ケン・モチヅキ	汐文社	1600

< 中学校 >

◎「コービーの海」	ベン・マイケルセン/代田亜香子・訳	すずき出版	1600
◎「君たちには話そうかくされた戦争の歴史」	いしいゆみ	くもん出版	1400

詩「第二楽章 ヒロシマの風・長崎から」吉永小百合・編	徳間書店(スタジオジブリ)	2500
◎「夢へ翔けて 戦争孤児から世界的バレリーナへ」ミケラ・デカリス エレン・デカリス共著	ポプラ社	1600
知「農業の発明発見物語(1)米の物語」小泉光久・著/堀江篤史・絵	大月書店	2500
◎「波のそこにも」末吉暁子	偕成社	1600

< 高等学校 >

◎『和食』って何?」阿古真理	筑摩書房	820
◎「ロック・オブ・モーゼス」花村萬月	角川書店	1700
◎「自閉症の僕の七転び八起き」東田直樹	角川書店	1300
◎「14歳≪フォーティーン≫ 満州開拓村からの帰還」澤地久枝	集英社	700◎
「北海道の古代・中世がわかる本」関口明ほか著	亜細亜社	1500◎「マ
ングおはなし物理学史」小山慶太・原作/佐々木ケン・漫画	講談社	1160

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel726～2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本、詩は詩の本、写は写真の本、知は知識の本です。

2015年8月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

絵「どどどーん ぱっ!」とよたかずひこ 鈴木出版 1200(税別)
P/23cm

北極の夏。しろくま一家とアザラシー家は、らいおんさんを招待しました。そり遊びや花火をして、楽しく遊んだあとは、しろくまさんが作ったかまくらにお泊まりして…。

絵「こちょこちょがいっぱい!」トマス・テイラー・文/ペニー・ダン・絵 ほるぷ出版 1400
24P/26×26cm

うちには、「こちょこちょ」がいっぱい。ママも、パパも、おばあちゃんも、おじいちゃんも、わたしたちを見つけるとくすぐってくる。だからわたしたちは、誰も見ていないときにそーっと、ママたちに忍びよって…。

絵「ねんねのおとがきこえるよ」きたやまようこ 白泉社 880
P/18×18cm

ねんねの時間。エゾリスのみんなとちゃんがベッドに入ると、どこかから不思議な声が…。夜の静けさが待ち遠しくなる寝かしつけ絵本。

絵「やさいだワッショイ!おいしさとどけ隊」サトシン・作/ドーリー・絵 文溪堂 1300
32P/27cm

おいしさとどけ隊が、はらぺこ村にとうちゃーく! 村の広場に車をとめて、おじさんが準備していると、ねずみさんがやって来て…。おいしい野菜をたくさん食べたら、心もからだも、げんき! げんき! たのしい食育絵本。

絵「うんこちゃん」のぶみ ひかりのくに 1280
32P/27cm

「トイレに流さないで…」と、うんこが突然しゃべりだした! 「くさいよ!」と鼻をつまみながらも、かんたろうは少しずつうんこちゃんに心を開いていきますが…。見返しにイラストを描き込めるスペースあり。

絵「どんどんくるくる」 中尾昌稔・文／岩田明子・絵 大日本出版 1300
32P／25cm
横から、どんどんくるくる。なーにかな？ 上から、どんどんくるくる。なーにかな？ お次は、ごはんをくるくる。なーにかな？ どんどんくるくるするもの、さあ、わかるかな？

<小学校低学年>

◎「スプーン王子のぼうけん」 竹下文子 すずき出版 1300
92P／22cm
ある国に、食いしん坊で知りたがりやの王子様がいました。ある日王子様は、歴史の本で見た悪い竜を退治するために、なかよしの馬に乗って冒険に出かけますが…。

絵「あひる」 石川えりこ くもん出版 1500
32P／26cm
女の子の家に、隣町のおじさんがあひるを持ってきてくれました。弱っていたあひるを川で泳がせると、あひるは少し元気になりましたが…。家畜を食べた話を通じて、食といのちの関係を、しずかに、力強く伝える絵本。

知「なぜ？の図鑑 動物」 今泉忠明・監修 学研 1900
126P／27cm
ライオンのたてがみは何のためにあるの？ パンダはなぜ竹ばかり食べているの？ アイアイはどんな動物なの？ 動物の「なぜ？」を迫力の写真とイラストで解説する図鑑。見返しに本文あり。

絵「ゆきおくんの初恋」 安田未知子・作／日隈みさき・絵 WAVE出版 1300
P／×cm
貧しい中でも、たくましく生きる少年、ゆきお。きびしくも、あたたかく見守る、みち子先生。—親から子へ、孫へ伝えたい—戦争が産み落とした悲劇の中でやさしく咲いた生徒への「無償の愛」と、恩師への「かわらぬ思い」とは？ 6歳から大人まで。

◎「きょうりゅうだいはいっけんずかん」 真鍋真・監修 世界文化社 1300
27P／29cm
人気恐竜の特徴を化石写真とリアルイラストで大解剖！ 入門書にして恐竜学の基礎が学べる図鑑絵本。『ワンダーしぜんランド』掲載を書籍化。見返しに写真等あり。ジャケット裏面にポスター付き。

絵「まんじゅうじいさん」 あらいゆきこ 絵本塾出版 1300
32P／25cm
戸棚の中に忘れられて、ひからびてしまったまんじゅうじいさん。「わしを食べるものはいないのか」と怒って飛び出した。お腹をすかせたねこが「ぼくが食べます」といって、大きな口でまんじゅうじいさんを食べようとする…。

<小学校中学年>

絵「ど根性ひまわりのき～ぼうちゃん」 漆原智良・作／さくらせかり・絵 第三文明社 1500
39P／31cm
東日本大震災のあと、がれきの下から咲いたひまわり。その種をもらったかなえちゃんは、「き～ぼうちゃん」と名前をつけて、育て始めました。実話をもとにした感動の物語。

絵「Zeroゼロ」 キャサリン・オートシ／乙武洋匡・訳 講談社 1600
34P／24×26cm
自分も数えられる数字になれたらなあ。そう思っていた0ですが、7に「ダメな数字なんてないんだよ」と言われて…。みんな違って、みんないい！ からっぽの数字「0」が、自分のいいところを見つけるお話を、乙武洋匡が翻訳。

- 絵「One ワン」 キヤサリン・オートシ／乙武洋匡・訳 講談社 1600
35P／24×26cm
ブルーはおとなしい子。レッドはいつもブルーをいじめていました。そこに、みんなとはまるで違う「1」が現れて…。数字と色を楽しみながら大切なこと、発見！ 全米で15の賞を受賞した名作絵本を、乙武洋匡が翻訳。
- 知「タンチョウのきずな：「日本の鶴」の一年」久保敬親・写真と文 小学館 1300
39P／21×24cm
冬の北海道でくらす美しいツル、タンチョウ。そのつがいは、春になると繁殖地へ移動し、子育てをします。そして、飛べるようになったひなとともに、冬を越す場所へ戻ってくるのです。タンチョウの子育てを写真と文で伝えます。
- ◎「目の見えない子ねこ、どろっぷ」沢田俊子・文／田中六代・絵 講談社 1300
111P／22cm
つぐみの家に迷い込んできた子ねこは、病気で、目がつぶれかかっていました。子ねこを助けるためには、手術で目玉をとらなければならなくて…。実話をもとに描く、目が見えない子ねこと、女の子の物語。
- 絵「そらいろ男爵」 ジル・ボム・文／ティエリー・デデュー・絵 主婦の友社 1300
40P／28cm
鳥が飛ぶ青い空と、読書をこよなく愛した男が、爆弾のかわりに投げたものは…。二頭身でちょびひげという、とぼけた風貌のそらいろ男爵が、ユニークな方法で国と国との戦いをやめさせたお話。
- ◎「ペンギンは、ぼくのネコ」 ホリー・ウェブ・作／大野八生・絵 徳間書店 1400
179P／22cm
「ペンギン」という名前のペンギンもよのネコを飼っているアルフィー。ふたりはいつも、隣のおばあさんの家の庭でこっそり遊んでいた。ところが、おばあさんの孫のグレースが越してきて…。ほのぼのとあたたかい物語。
- 知「ノグチゲラの親子」 渡久地豊・写真と文 小学館 1300
39P／21×24cm
沖縄やんばるの森だけに住むキツツキ、ノグチゲラ。ひなが飛べるようになるまでの間、木にほった巣穴で子育てをします。ところが、台風の強風で木が倒れてしまい…。ノグチゲラの子育てを写真と文で伝えます。
- 知「ぜんぶわかる！カイコ」 新開 孝 ポプラ社 2000
68P／27cm
まゆの色はクワの葉からカイコがつくった色。人と生きてきたカイコとまゆの秘密を、200点以上の写真と図版で紹介。カイコの飼い方も掲載。ジャケットそでにカイコクイズ、見返しに奥付などあり。
- 知「世界の子どもの遊び」 寒川恒夫・監修 PHP研究所 3000
63P／29cm
遊びは世界共通！でもちょっとちがう！「じゃんけん」「おにごっこ」「かくれんぼ」など、似ているけど国によってちがう遊びや、世界各国のユニークな遊びをイラストで紹介する。
- 絵「江戸の妖怪一座」 青山邦彦 フレーベル館 1300
32P／31cm
江戸時代のさびれた芝居小屋の一座。役者がどンドンやめて、ひとり残った座長の前に、子どもの妖怪が！精緻なイラストで定評ある青山邦彦が描く、江戸の妖怪たちの世界。巻末には妖怪のリスト付き。
- 知「大迫力！世界の妖怪大百科」 山口敏太郎 西東社 1300

255 P / 21 cm

グレムリン、フェニックス、オーク、ヴァンパイア…。世界の妖怪を「精」「獣」「魔」「異」という4つのテーマにわけて紹介。妖怪の代表的なすがたの絵、その特徴や伝説、豆知識、妖怪データを掲載する。

絵「おかあさんのいのり」 武鹿悦子・作／江頭路子・絵 岩崎書店 1400
P / 24 cm

このかわいいでもいつかかあさんのてをつつみこむほどつよくおおきくなるでしょう。そのてがどうか銃などにぎりませんように戦後70年、平和へのねがいをこめておくる絵本。

◎「新版なぞとき恐竜大行進②アロサウルス」たかしよいち・文／中山けーしょう・絵 理論社1500
102 P / 21 cm

ジュラ紀では最大の肉食恐竜だったアロサウルスのものがたりと解説を収録。恐竜なんでも博士・たかしよいち先生が、新発見のデータをもとに恐竜のなぞをとくシリーズ。裏表紙にめいろあり。

< 小学校高学年 >

絵「イーダ 美しい化石になった小さなサルのものがたり」ヨルン・フルムトル、シュタイン・ヘレヴェ 創元社 1500
62 P / 31 cm

美しい状態で発見された4700万年前のサルの化石「イーダ」。小さなサル「イーダ」のものがたりとともに、研究者たちの研究の様子をイラストで紹介。イーダの描き方やクイズも掲載する。

◎「生きる 劉連仁の物語」 森越智子 童心社 1600
238 P / 20 cm

1944年9月、日本軍により中国から連れ去られた劉連仁は、苛酷な炭鉱労働から逃亡し、北海道の山中でひとり、13年間生き抜いた。奪われた、人としての尊厳をとり戻すための孤独な闘いの物語。

◎「すし食いねえ」 吉橋通夫 講談社 1400
223 P / 20 cm

豆吉が店番をしていると、店先で若侍とふたりの追っ手が立ち回りを始めた。するとそこに現れたもみじ色の小そでの娘が…!? 小学生から読める、痛快グルメ時代小説。

◎「ものだま探偵団③ルークとふしぎな歌」ほしおさなえ 徳間書店 1500
251 P / 19 cm

七子のクラスメイトの鳥羽は「ものだま」が引き起こす事件を解決する「ものだま探偵」。七子が気づくと聞き覚えのない歌をくりかえし口ずさんでいるのは、ものだまのせいかも、と2人は捜査を開始するが…。シリーズ第3弾。

◎「あきらめないことにしたの」 堀米 薫 新日本出版社 1400
141 P / 20 cm

福島県飯舘村で農業をしていた渡邊とみ子さん。皆で、新しいいもとかぼちゃを世に出そうと頑張っていたとき、東日本大震災が発生しました。とみさんが震災の混乱の中をどう生き、震災にどう向き合っていたかを伝えます。

◎「北国からの動物記 エゾリス」 竹田津実 アリス館 1400
38 P / 26 cm

北海道に住むエゾリスのアカキチは、獣医である著者の家に通ってきた。著者が4年間見守りつづけたのちに…。北国からの動物記。見返しに写真あり。

◎「あんずの木の下で 体の不自由な子どもたちの太平洋戦争」小手鞠るい 原書房 1300
174 P / 20 cm

昭和7年、日本で初めて設立された、手足の不自由な子どもたちのための「光明学校」。戦時中、学童疎開の対象外にされた生徒たちを自力で疎開させた校長先生の苦労や、生徒たちの長く辛い疎開生活を描いた

ノンフィクション。

知「キッチンでおやつマジック大百科」村上祥子・監修 学研 1980
287P/26cm

コーヒーゼリーをチンすると、どうなる？ カブに切りこみを入れて、塩水につけると、どうなる？ 作ってびっくり、食べておいしい、マジックのようなおやつ実験をクイズ形式で紹介します。自由研究のまとめ方の例も掲載。

◎「スモーキー山脈からの手紙」 バーバラ・オコーナー 評論社 1500
278P/20cm

ノースカロライナ州スモーキー山脈にある古ぼけたホテル「スリーピータイム・モーテル」。ここに4つの家族があつまって、思いもしなかったつながりが生まれます。やさしい気持ちがいっぱい詰まった、奇跡みたいな物語。

絵「杉原千畝と命のビザ 自由への道」ケン・モチヅキ 汐文社 1600
34P/21×26cm

リトアニアで家族と暮らしていた外交官・杉原千畝は、ナチス・ドイツに占領されたポーランドから避難してきたユダヤ人に対し、日本政府に背いて、ビザを発給し続けた。杉原千畝の物語を、息子の視点から描く。

< 中学校 >

◎「コービーの海」 ベン・マイケルセン/代田亜香子・訳 すずき出版 1600
334P/20cm

フロリダの壮大な自然のなか、座礁したクジラの親子を助けた義足の少女コービー。事故で右脚の一部をなくし、長いあいだ自分の殻にとじこもっていた少女が、クジラとの交流を通じて家族や自然との関わりを見つめ直す物語。

◎「君たちには話そうかくされた戦争の歴史」いしいゆみ くもん出版 1400
127P/20cm

太平洋戦争中に秘密の研究をしていた陸軍登戸研究所。詳しく調べようとするが、資料が見つからない。研究所で働いていた人たちも口をかたく閉ざし…。かくされた戦争の歴史のとびらを開いた高校生たちの物語。

詩「第二楽章 ヒロシマの風・長崎から」吉永小百合・編 徳間書店(スタジオジブリ) 2500
123P/19×23cm

生きのこったひとはどうすればいい 生きのこったひとはなにがわかればいい(「慟哭」より) 第二楽章シリーズの「ヒロシマの風」「長崎から」の詩と英訳を収録。平和の尊さを伝える画文集。

◎「夢へ翔けて 戦争孤児から世界的バレリーナへ」ミケラ・デカンス エレン・デカンス共著 ポプラ社 1600
314P/20cm

シエラレオネで戦争孤児だったミケラ。アメリカ人夫婦の養子になり、念願のバレエレッスンを受けられるようになるが…。どんな時でも前向きに努力する黒人の少女が、アメリカでバレリーナになるまでを綴った感動の自伝。

知「農業の発明発見物語(1)米の物語」小泉光久・著/堀江篤史・絵 大月書店 2500
62P/21×22cm

米や野菜、果物、牛肉など、身近な食料はどのようにして、よりおいしく、より効率的な作物となっていたのか。人間の手による「進化の歴史」をたどるシリーズ。1は、日本人の主食=米の改良の過程を日本史と並行して描く。

◎「波のそこにも」 末吉暁子 偕成社 1600

257P/20cm

はるか海の深くにあるという、水底の国。少女タマオは、ある朝、天海から落ちてきた少年を見つける。それが失われた宝剣をさがす旅のはじまりだった。「平家物語」をモチーフに描く、わだつみの冒険ファンタジー。

< 高等学校 >

◎ 『和食』って何?』 阿古真理 筑摩書房 820
206P/18cm

食をたどれば、社会の変化が見えてくる。すし、天ぷら、ラーメン、カレー…。江戸時代から現代まで、和食の歴史をたどるとともに、和食が現状で抱える問題点や、秘めている可能性について探る。

◎ 「ロック・オブ・モーゼス」 花村萬月 角川書店 1700
372P/19cm

高2の桜は、同級生で天才ギタリストのモーゼに勧められ、ギターを始めることに。すぐにギターの虜になった桜は高校を中退し、ミュージシャンになることを決意するが…。『デジタル野性時代』『文芸カドカワ』掲載を単行本化。

◎ 「自閉症の僕の七転び八起き」 東田直樹 角川書店 1300
219P/19cm

重度の自閉症者ながら文字盤やパソコンを使って言葉を発し続けてきた著者が、「自閉症」という障害への思い、会話ができないからこそ見えてくる日常の様々な気づきについて綴る。オフィシャルブログを再編集。

◎ 「14歳<フォーティーン> 満州開拓村からの帰還」澤地久枝 集英社 700
189P/18cm

昭和を見つめ、一貫して戦争や国家を問うてきた著者の原点となったのは、十四歳での敗戦体験だった。満州でむかえた敗戦、難民生活と壮絶な引き揚げ体験。自身がかぐり抜けてきた「戦争」のすべてを、いま、赤裸々に綴る。

◎ 「北海道の古代・中世がわかる本」 関口明ほか著 亜細亜社 1500
P/×cm

大好評『北海道の歴史がわかる本』に続く、歴史読本シリーズ第2弾。謎とロマンに満ちた2万5千年におよぶ古代・中世期の北海道を、32のトピックスでイッキ読み！ 旧石器・縄文文化から、アイヌ文化の形成、松前藩成立までを、豊富な図版とさまざまな特集ページで親しみやすく解説。考古学&文献史学の専門家がコラボした、初の古代・中世期入門書の誕生です。

◎ 「マンガおはなし物理学史」 小山慶太・原作/佐々木ケン・漫画 講談社 1160
318P/18cm

物理学者たちはいかに新しい理論を生み出したのか？ 高校生3人組が歴史上の科学者たちを直撃しながら、物理学発展の舞台裏を臨場感豊かにレポート。物理学の400年の歴史をマンガでわかりやすく紹介する。

< その他 >

2015年度	選定	北海道学校図書館協会 札幌市学校図書館協議
9月の選定図書 (2015年8月に選定された本です)	協力	株式会社トーハン 図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「どうぶつうんどうかい」	さえぐさひろこ・文/さとうあきら・写真	アリス館	1300 (税別)
絵「みんな」	きくちちき	WAVE出版	1500
絵「だるまだ!」	高島邦生	好学社	1500

< 小学校低学年 >

絵「せんそうしない」	谷川俊太郎・文/江頭路子・絵	講談社	1300
絵「海の小学校」	あまんきみこ・文/いとうえみ・絵	本願寺出版社	1200
絵「さあ、しゃしんをとりますよ」	ナンシー・ウィラード・文/トミー・デ・パオラ・絵	光村教育図書	1300
絵「シルヴィーとどうぶつえんへいく」	ジーン・バーニンガム	BL出版	1500
絵「そらとぶじゅうたんでせかいいっしゅう」	ステラ・ブラックストーン文/クリストファー・コーン絵	ほるぷ出版	1500
絵「シロクマゆうびんきょく」	木島誠悟	ポプラ社	1300
絵「だいすきなパンパへ」	ジェシカ・バグソー/なかがわちひろ・訳	あすなろ書房	1400

< 小学校中学年 >

◎「ノックノックみらいをひらくドア」	ダニエル・ビューティ文/ブライアン・コリアー絵	光村教育図書	1400
◎「彼岸花はきつねのかんざし」	朽木祥・作/ささめやゆき・絵	学研マーケティング	1500
◎「アリのくらしに大接近」	丸山宗利・文/嶋田拓・小松貴・写真	あかね書房	1500
◎「アリの巣のお客さん」	丸山宗利・文/嶋田拓・小松貴・写真	あかね書房	1500
◎「コロッケ先生の情熱! 古紙リサイクル授業」	中村文人	佼成出版社	1300
◎「くまのアーネストおじさんとセレスティース」	ガブリエル・バンサン・原作	BL出版	1400
◎「いそあそびしようよ!」	はたこうしろう・奥山英治	ほるぷ出版	1300
◎「おばけ道ただいま工事中!」	草野あきこ・作/平澤朋子・絵	岩崎書店	1200
◎「魔女バジルとなぞのほうき星」	茂市久美子・作/よしざわけいこ・絵	講談社	1300

< 小学校高学年 >

写「続・被爆者—70年目の出会い」	会田法行・写真と文	ポプラ社	1500
絵「タケノコごはん」	大島 渚	ポプラ社	1300
◎「グッドジョブガールズ」	草野たき	ポプラ社	1400
絵「キング牧師とローザ・パークス	黒人の平等な権利を求めて」 スラファエル・フリエル・作/ザウ・絵	汐文社	2500
絵「空にさく戦争の花火」	高橋秀雄	今人社	1400
絵「太一さんの戦争」	丘 修三	今人社	1400
◎「浮き橋のそばのタンムー」	彭学軍	ポプラ社	1400
絵「壁 ベルリンひきさかれた家族」	トム・クロージー・コール	汐文社	1600
絵「パパ・ヴァイト ナチスに立ち向かった盲目の人」	インゲ・ドイチュクロン	汐文社	1600
◎「学研の図鑑LIVE 危険生物」	川田夏子	学研	2200

< 中学校 >

◎「子どもたちへ、今こそ伝える戦争	子どもの本の作家たち19人の真実」長新太ほか・著	講談社	1800
◎「わたしが子どものころ戦争があった—児童文学者が語る現代史—」	野上暁・編	理論社	1400
◎「14歳からの戦争のリアル」	雨宮 凜	河出書房新社	1300
◎「川床にえくぼが三つ」	にしがきようこ	小学館	1400
◎「月にハミング」	マイケル・モーパング	小学館	1600
◎「兵士になったクマ ヴォイテク」	ビビ・デュモン・タック	汐文社	1500
◎「世界名作ショートストーリー モーパッサン 首飾り」	モーパッサン	理論社	1100
知「世界の航空機大図鑑」	フィリップ・ホワイトマン・総監修	河出書房新社	6800

◎「新版 流れる星は生きている」	藤原てい	偕成社文庫	800
知「本のことわかる本①調べよう文字のはじまりと本の歴史」	稲葉茂勝	ミネルヴァ書房	2500
知「世界遺産になった和紙③和紙の徹底研究(特徴・比較)」	こどもくらぶ	新日本出版社	2500
知「世界遺産になった和紙④手づくり和紙・和紙アート」	こどもくらぶ	新日本出版社	2500

< 高等学校 >

◎「ギンカムロ」	美奈川護	集英社	600
◎「忘れられた巨人」	カズオ・イシグロ	早川書房	1900
◎「水曜日の凱歌」	乃南アサ	新潮社	1800
◎「100万分の1回のねこ」	江國香織ほか	講談社	1500
◎「空が、赤く、焼けて～原爆で死にゆく子どもたちとの8日間～」	奥田貞子	小学館	1100

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel726～2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本、詩は詩の本、写は写真の本、知は知識の本です。

2015年9月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

絵「どうぶつうんどうかい」 さえぐさひろこ・文/さとうあきら・写真 アリス館 1300 (税別)
32P/27cm

今日は動物たちの運動会。どんなこと、するのかな？ ジャンプがとくいなサルくんは、遠くまで、とおっ！ シロクマくんだって、それっ！ ザップーン！ 次のかけっこでは…。素敵な動物たちに会える写真絵本。

絵「みんな」 きくちちき WAVE出版 1500
P/×cm

「おかあさん、おにわであそんでくるね」男の子は車のおもちゃでぶーぶーぶー。すると、いつのまにかお庭から不思議な生き物達のいる世界へ…。男の子は、不思議な生き物達と一緒にどろんこになってあそびます。子どもにしか見えない、行けない世界をブラティスラバ世界絵本原画展「金のりんご賞」受賞作家、きくちちきが描き出します。

絵「だるまだ！」 高島邦生 好学社 1500
P/×cm

あまり役に立たないであろうものが大量に流れ着く。バカバカしくて面白い絵本です。文字が少ない分、絵から色々な事を想像することができます。そして衝撃のラストシーン。何度読んでも吹き出します。チャーター大セールに続き、だるまだ！ にもはまった私と子供たちは暫く高島ワールドから抜け出せそうもありません。(じゅん*ベリーさん 30代・東京都 女の子6歳、男の子4歳)

< 小学校低学年 >

絵「せんそうしない」 谷川俊太郎・文/江頭路子・絵 講談社 1300
P/×cm

ちきゅうにいきるいきもののなかで、せんそうをはじめるのはにんげんだけ。それもおとなだけ。戦後70年、戦争と平和を考える本。

絵「海の小学校」 あまんきみこ・文/いとうえみ・絵 本願寺出版社 1200

32P/25cm

ひとりぼっちでお留守番をしていたヒロシは、ピアノの調律をする「ピアノ医者」のタミオおじさんの助手に誘われました。行先は「海の小学校」です。おじさんの車に乗って、秘密のトンネルを抜けると…。

絵「さあ、しゃしんをとりますよ」ナンシー・ウィラード・文/トミー・デ・パオラ・絵 光村教育図書 1300
30P/21×26cm

今日は結婚記念日。靴屋さん夫婦は、古い靴を足にはいて、新しい靴を耳にかけて、赤い帽子をかぶって、青い帽子をかぶって…？ さて、どんな写真が撮れるでしょうか？ 見返しに奥付あり。

絵「シルヴィーとどうぶつえんへいく」ジーン・バーニンガム BL出版 1500
40P/21×29cm

ある晩、寝室の壁にあるドアに気づいたシルヴィー。その先はたくさんの動物たちがいる動物園だった。シルヴィーはそれから、毎晩違う動物を部屋に連れてきて、いっしょに寝ることに。でもある日、ドアを閉め忘れてしまって…。

絵「そらとぶじゅうたんでせかいいっしゅう」ステラ・ブラックストーン文/クリスファー・コー絵 ほるぷ出版1500
24P/26×26cm

トルコでじゅうたんを1枚、タイでネコを2匹、メキシコでおめんを3枚…。空飛ぶじゅうたんに乗って、世界中でお買物！ 世界中を旅したイラストレーターが鮮やかに描く、さまざまな土地のようす。

絵「シロクマゆうびんきょく」 木島誠悟 ポプラ社 1300
32P/27cm

シロクマ郵便局、ミルクさま。たすけてください！ ある日、こんなハガキが「シロクマ郵便局」に届きました。ミルクはあわてて郵便局をとびだして…。釧路市動物園で大人気のシロクマ「ミルク」をモデルにした絵本。

絵「だいすきなパパへ」 ジェシカ・バグソー/なががわちひろ・訳 あすなる書房 1400
32P/21×26cm

ビーバーのバークリーは、ママとふたりで海辺で暮らしています。ある日、バークリーは、浜辺でひろった木でふねをつくと…。ささやかだけれど、大切なことを教えてくれる絵本。

<小学校中学年>

◎「ノックノックみらいをひらくドア」ダニエル・ビューティ文/ブライアン・コリアー絵 光村教育図書1400
40P/29cm

毎朝ぼくはパパとゲームをした。それは、ぼくたちおきまりのノックノック・ゲーム。でもあるときから、パパはゲームをしにきてくれなくなって…。父を愛する息子の思いと、愛する息子に向けて書かれた父の手紙が心に響く絵本。

◎「彼岸花はきつねのかんざし」 朽木祥・作/ささめやゆき・絵 学研マーケティング1500
55P/27cm

也子の前にあらわれた、まあるい目をしたかわいい子ぎつね。「あんた、あたしに化かされたい？」と聞いて、竹やぶの中へ消えていった。そして、あの夏の日、一発の大きな爆弾が街に落とされ…。同名の物語を絵本化。

◎「アリのくらしに大接近」 丸山宗利・文/嶋田拓・小松貴・写真 あかね書房 1500
40P/22×28cm

社会があって、農業をし、牧場をつくり、狩りもする…。まるで人間のようなアリのふしぎな生態を美しい写真で紹介する。観察のポイントや飼育方法なども掲載。

◎「アリの巣のお客さん」 丸山宗利・文/嶋田拓・小松貴・写真 あかね書房 1500
40P/22×28cm

エサをもらったり、卵や子どもを育てさせたり、アリの体に寄生したり…。アリを利用して生きる“アリの巣のお客さん”のふしぎな生態を美しい写真で紹介する。観察のポイントや飼育方法なども掲載。

◎「コロッケ先生の情熱！古紙リサイクル授業」中村文人 佼成出版社 1300
96P/22cm

リサイクルの大切さを伝え続けるコロッケ先生の願いは、1枚でも多く、すてられる紙を救うこと。岡山県にある明和製紙原料株式会社の社長である、コロッケ先生こと小六信和氏の人物像と、古紙リサイクル授業の様子を紹介する。

◎「くまのアーネストおじさんとセレスティーン」ガブリエル・バンサン・原作 BL出版 1400
40P/22×25cm

地上にすむくまたちと、地下にすむねずみたちは敵対していた。そんななか、アーネストとセレスティーンは出会い…。人気シリーズ「くまのアーネストおじさん」のはじまりの物語。同名アニメ映画の絵本。

◎「いそあそびしようよ！」 はたこうしろう・奥山英治 ほるぷ出版 1300
32P/25cm

お兄ちゃんとぼくは、大きなしおだまりを静かにゆっくりとみた。だんだんいろいろないきものが見えてきた。隠れていた魚たちも出て来たぞ！いそあそびの楽しさをつたえる絵本。

◎「おばけ道ただいま工事中!？」 草野あきこ・作/平澤朋子・絵 岩崎書店 1200
95P/22cm

ある日突然、ぼくの部屋に「おばけ道」があらわれた。あの世とこの世をつなぐ道で、一週間限定らしい。猫のマロンが飛びこんでしまったから、さあ大変！

◎「魔女バジルとなぞのほうき星」 茂市久美子・作/よしざわけいこ・絵 講談社 1300
133P/22cm

あるとき、バジルに大役が。コウモリ男にとり上げられて、星にされてしまった大魔女のほうきをとりもどしてほしいというのですが…。「魔女バジル」シリーズ第2弾。『毎日新聞』大阪本社発行版連載を加筆・訂正。

< 小学校高学年 >

写「続・被爆者—70年目の出会い」 会田法行・写真と文 ポプラ社 1500
40P/27cm

広島と長崎に原子爆弾が落とされてから70年目の夏が訪れようとしている。ふたたび、長崎と広島、そして原発事故で苦しむ福島を訪ねることにした。被爆者の高齢化が進む今、継承していくことの大切さを描いた写真絵本。

絵「タケノコごはん」 大島 渚 ポプラ社 1300
42P/25×25cm

パパが小学校にいていたころ、日本は戦争をしていた。さかいくんのお父さんが戦死し、担任の先生も戦争で死んだ。そして、かわりにきた先生も戦争に行くことに…。映画監督の大島渚が、世界中の子どもたちへ贈るメッセージ。

◎「グッドジョブガールズ」 草野たき ポプラ社 1400
298P/20cm

フツーじゃない。お互いに干渉しない、ドライで気軽な関係。だから、私たちは、「悪友」。そういつて、本音を隠してきたけど…。12歳のほろ苦い友情を描いた物語。

絵「キング牧師とローザ・パークス 黒人の平等な権利を求めて」
スラファエル・フリエル・作/ザウ・絵 汐文社 2500
47P/27cm

人種差別のひどいアメリカ南部の町で、キング牧師やローザ・パークスをはじめとする黒人たちが、バスのボイコット運動を始めた。黒人差別の歴史を変えるために…。

絵「空にさく戦争の花火」 高橋秀雄 今人社 1400
P/×cm

「悲惨な戦争の記憶が遠のくいま、子どもたちの五感にうたえる作品をつくりたい」「大人には、戦争を語り継いでいく義務がある」そんな思いから生まれた、戦争を語り継ぐための絵本シリーズです。テーマは「おと・におい・ひかり」。3巻目の本書で描くのは、ひ孫から見た戦争。激戦地で戦い、生き残った人がかかえる苦しみを、子どもたちはどうとらえるのでしょうか？

絵「太一さんの戦争」 丘 修三 今人社 1400
P/×cm

「悲惨な戦争の記憶が遠のくいま、子どもたちの五感にうたえる作品をつくりたい」「大人には、戦争を語り継いでいく義務がある」そんな思いから生まれた、戦争を語り継ぐための絵本です。テーマは「おと・におい・ひかり」。2作目となる本書の舞台は横須賀海兵団。水兵たちは何を思い、何に耐えたのか。障害児教育に長年たずさわった著者が描く衝撃のラストは…。

◎「浮き橋のそばのタンムー」 彭学軍 ポプラ社 1400
206P/20cm

好奇心旺盛な10歳の男の子タンムーは、家の窓から外へとびだし、これまで見たことのない多くの景色を目のあたりにする。そして悪人たちがタンムーを殺す相談をしているのを耳にして…。ユーモラスな中国の児童文学。

絵「壁 ベルリンひきさかれた家族」 トム・クローギー・コール 汐文社 1600
P/27cm

一夜にしてつくられた巨大な壁が、ベルリンのまちをまっふたつにした。壁の向こうから戻れなくなった父親に会うために、少年は壁の向こうに行く方法をひたすら考え続けた…。危険をおかして壁を越えようとした人々を描く。

絵「パパ・ヴァイト ナチスに立ち向かった盲目の人」 インゲ・ドイチュクローン 汐文社 1600
29P/28cm

第二次世界大戦中のドイツでは、ユダヤ人がユダヤ人というだけで、地獄の苦しみをあたえられていた。目が見えないけれどナチスに立ち向かい、闘い続けたオットー・ヴァイトの功績を伝える絵本。

◎「学研の図鑑LIVE 危険生物」 川田夏子 学研 2200
203P/29cm

世界の危険な生き物を臨場感ある写真でわかりやすく解説。スマートフォンをかざすと動画が見られるマーク付き。付属DVDにはサメの生態を紹介した映像やCGを収録。見返しに生物の進化表あり。

< 中学校 >

◎「子どもたちへ、今こそ伝える戦争 子どもの本の作家たち19人の真実」 長新太ほか・著 講談社 1800
175P/22cm

戦後70周年の今年、子どもの本の作家19人が描き下ろしの文と絵で子どもたちに戦争を伝える渾身のドキュメンタリーアンソロジー。イラスト解説、地図、年表等も掲載。

◎「わたしが子どものころ戦争があった—児童文学者が語る現代史—」 野上暁・編 理論社 1400
255P/19cm

神沢利子、森山京、あまんきみこ、三木卓といった児童文学者8名が語る、戦中戦後の子どもの暮らし。子どもの目を通して見つめた戦争のすがたと、敗戦から復興する時代の日本のようすが浮かび上がる。

◎「14歳からの戦争のリアル」 雨宮処凛 河出書房新社 1300
243P/19cm

集団的自衛権ってなに？ 戦争の民間化ってなに？ 「戦争ができる国」って、どういうこと？ イラク、アフガン、太平洋戦争…。 “戦場”を経験した人たちがリアルな戦争の姿を伝える。

◎ 「川床にえくぼが三つ」 にしがきようこ 小学館 1400
239P/19cm

中学二年の夏休み、文音と華は、昔の地層をテーマに研究している研究者・楓子といっしょに、インドネシアへ。初めての飛行機、初めての海外、初めての研究調査…。期待と不安がいっぱいの海外で、二人は友情を深めていく。

◎ 「月にハミング」 マイケル・モーパールゴ 小学館 1600
399P/19cm

無人島で発見された少女ルーシーは、ひと言も話せず、記憶もなかった。村で暮らすうちに少しずつ回復していくのだが…。第一次世界大戦中、豪華客船ルシタニア号が撃沈されたという史実をベースにした戦争の悲劇と感動の秘話。

◎ 「兵士になったクマ ヴォイテク」 ビビ・デュモン・タック 汐文社 1500
287P/20cm

昔むかし、あるところに一頭のクマがいました。クマは兵士になって戦場に行きました…。第二次世界大戦中、ポーランド軍の兵士と行動を共にしたクマ「ヴォイテク」の、実話をもとにした物語。

◎ 「世界名作ショートストーリー モーパッサン 首飾り」 モーパッサン 理論社 1100
180P/19cm

この結末は、悲劇？それとも、喜劇？—最後の1行に評価が割れた『首飾り』はじめ、フランス自然主義の巨星がのこした屈指の傑作選。

知 「世界の航空機大図鑑」 フィリップ・ホワイトマン・総監修 河出書房新社 6800
320P/31cm

飛行機とその歴史をすべて網羅した完全図鑑。民間・軍用の機体写真コレクション全832機種を収録し、時代別、種類別の構成を軸に、名機、詳細なエンジン構造やコックピットの進化、航空機メーカーの実話などを満載。

◎ 「新版 流れる星は生きている」 藤原てい 偕成社文庫 800
279P/19cm

1945年、終戦。そのときを満州(現中国東北部)でむかえた著者は、3人の子をかかえ、日本までのはるかな道を歩みだす…。かつて100万人が体験した満州引き揚げをひとりの女性の目から描いたノンフィクション。

知 「本のがわかる本①調べよう文字のはじまりと本の歴史」 稲葉茂勝 ミネルヴァ書房 2500
31P/27cm

読めば本がよくわかる！本ができる前の時代の文字の歴史、文字が記された書写材料の変遷やヨーロッパや日本の印刷技術、本の定義などを、豊富な写真でわかりやすく解説する。

知 「世界遺産になった和紙③和紙の徹底研究(特徴・比較)」 こどもくらぶ 新日本出版社 2500
31P/27cm

2014年に世界遺産に登録された「和紙:日本の手漉和紙技術」。その魅力や活用方法など、和紙をさまざまな角度から紹介する。3は、和紙の特徴や長所・短所を徹底研究する。

知 「世界遺産になった和紙④手づくり和紙・和紙アート」 こどもくらぶ 新日本出版社 2500
31P/29cm

2014年に世界遺産に登録された「和紙:日本の手漉和紙技術」。その魅力や活用方法など、和紙をさまざまな角度から紹介する。4は、手漉き和紙のつくり方、牛乳パックなどをつかった和紙の作り方などを取り上げる。

< 高等学校 >

- ◎「ギンカムロ」 美奈川護 集英社 600
P/×cm
花火には、二つしかない。一瞬で消えるか、永遠に残るか。幼い頃、花火工場の爆発事故で両親を亡くした昇一は、高校を卒業後、一人東京で暮らしていた。ある日、祖父から電話があり、四年ぶりに帰郷する。そこには花火職人として修業中の風間絢がいた。十二年前に不幸な出来事が重なった。それぞれが様々な思いを抱え、苦しみ、悩み、葛藤していく。花火に託された思いとは―。希望と再生の物語。
- ◎「忘れられた巨人」 カズオ・イングロ 早川書房 1900
415P/20cm
老夫婦は息子との再会を信じて、長年暮らした村を後にする。さまざまな人々に出会いながら荒れ野を渡り、森を抜け、謎の霧に満ちた大地を旅するふたりを待つものとは…。失われた記憶や愛、戦いと復讐のこだまを静謐に描く。
- ◎「水曜日の凱歌」 乃南アサ 新潮社 1800
525P/20cm
昭和20年8月15日、男たちは負け、今度は女たちの戦争が始まった。<慰安婦>として進駐軍へ差し出された彼女たちの苛烈な運命を、14歳の少女・鈴子は間近で見つめていく。『小説新潮』連載を単行本化。
- ◎「100万分の1回のねこ」 江國香織ほか 講談社 1500
244P/20cm
佐野洋子の名作絵本「100万回生きたねこ」に谷川俊太郎、江國香織、川上弘美ら人気作家13人が捧げる、トリビュート短篇集。『小説現代』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。
- ◎「空が、赤く、焼けて～原爆で死にゆく子どもたちとの8日間～」 奥田貞子 小学館 1100
144P/19cm
瀬戸内の島で原爆投下の8月6日を迎えた著者は、その翌日、広島にわたり、兄の子どもたちを探して町中を巡る。そこで出会った子どもたちの死に立ち会い、彼らの最期の言葉を克明に綴った日記。

< その他 >

2015年度	選定	北海道学校図書館協会 札幌市学校図書館協議
10月の選定図書 (2015年9月に選定された本です)	協力	株式会社トーハン 図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

絵「はっきょいどーん」	やまもとななこ	講談社	1400(税別)
絵「たんじょうびおめでとう」	鈴木まもる	ポプラ社	800
絵「さけがよんひき」	最上一平・作/喜湯本のづみ・絵	すずき出版	1300
絵「のげしとおひさま」	甲斐信枝	福音館書店	800
絵「どろだんごとたごとのつきまつり」	飯野和好	BL出版	1300
絵「ゴリラのおとうちゃん」	三浦太郎	こぐま社	1200
絵「カエルくんのたんこぶ」	宮西達也	すずき出版	1300

< 小学校低学年 >

絵「ラプリー・ホールド・ライオン おじいちゃん、わすれないよ」	ジュリア・ジャーマン・作/スーザン・パレイ・絵	フレーベル館	1300
絵「ぼくのともだち」	とねさとえ	Gakken	1400
絵「はしれ、ゴールのむこうまで!」	くすのきしげのり・作/稲葉卓也・絵	講談社	1400
写「さかなだつてねむるんです」	伊藤勝敏・写真/嶋田恭子・文	ポプラ社	1400
絵「まえとうしろ どんなくるま?①どうろこうじのくるま」	こわせもりやす	偕成社	1200
絵「手話ではなそう しゅわしゅわ村のだじゃれ大会」	くせさなえ・作/絵	偕成社	1500
絵「おにつばとうさん」	沼野正子・文と絵	福音館書店	1400
絵「小学生まじよのふしぎなぼうし」	中島和子・作/秋里信子・絵	金の星社	1100
絵「うみやまてつどう ふしぎなえかきさん」	間瀬なおかた・作/絵	ひさかたチャイルド	1200
◎「なかよくなれたね」	森山 京・作/ささめやゆき・絵	文溪堂	1300
◎「テレビのずるやすみ」	村上しいこ・作/長谷川義史・絵	PHP研究所	1100

< 小学校中学年 >

絵「いっぼんの木のそばで」	G・ブライアン・カラス・作/いしづちひろ・訳	BL出版	1700
絵「タケノコごはん」	大島 渚・文/伊藤秀男・絵	ポプラ社	1300
◎「ちゃいろいつつみ紙のはなし」	アリソン・アトリー・作/殿内真帆・絵	福音館書店	1100
絵「わたしの『やめて』戦争と平和を見つめる絵本」	自由と平和のための京大有志の会	朝日新聞出版	1300
知「星と宇宙クイズ図鑑」	藤井旭・監修と写真/西山アユミ・絵	あかね書房	1500
写「ぼくの先生は東京湾」	中村征夫・写真と文	フレーベル館	1400
絵「いっすんこじろう」	内田麟太郎・文/加藤休ミ・絵	WAVE出版	1500
絵「ハロウィーンの星めぐり 夜に飛ぶものたち」	ウォルター・デ・ラ・メア・詩/カロリーナ・ラベイ・絵	岩崎書店	1400
◎「ルイージといじわるなへいたいさん」	ルイス・スロボドキン	徳間書店	1700

< 小学校高学年 >

◎「幸せとまじりさの教室～世界の子どものたちのくらしから～」	石井光太	少年写真新聞社	1600
◎「夢見る犬たち 五番犬舎の軌跡」	クリフ・マクニッシュ	金の星社	1400
◎「岸辺のヤービ」	梨木香歩	福音館書店	1600
◎「アカシア書店営業中!」	濱野京子	あかね書房	1200
◎「イスタンブルで猫さがし」	新藤悦子	ポプラ社	1300
◎「めだかの王様」	岡田 潤	金の星社	1300
知「学研の図鑑LIVE 人体」	阿部和厚・監修	学研	2200
絵「女王さまの影 動物たちの視覚のはなし」	シベール・ヤング	BL出版	1600
絵「稲と日本人」	甲斐信枝	福音館書店	2000
◎「みんなでつくる1本の辞書」	飯田朝子	福音館書店	1300
◎「ゴリラが胸をたたくわけ」	山極寿一・文/阿部知暁・絵	福音館書店	1300
絵「おねえちゃんにあった夜」	シェフ・アールツ・文/マリット・テルンクヴィスト・絵	徳間書店	1700

- 絵「木のすきなケイトさん 砂漠を緑の町にかえたある女のひとのおはなし」
H・ジョゼフ・ホプキンス・文／ジル・マケルマリー・絵 B L出版 1600
◎「世界恐怖図鑑①魔女・黒魔術・呪い」バーバラ・コックススコット／フォーブス 文溪堂 1500

< 中学校 >

- ◎「岬のマヨイガ」 柏葉幸子 講談社 1500
◎「発信力の育てかた」 外岡秀俊 河出書房新社 1300
◎「はじめてのやさしい短歌のつくりかた」 横山未来子 日本文芸社 1200

< 高等学校 >

- ◎「おとなになるってどんなこと」 よしもとばなな 筑摩書房 680
◎「颯風の土」 河崎秋子 KADOKAWA 1600
◎「ヒトリコ」 額賀 滯 小学館 1200
◎「ヨーコさんの“言葉”」 佐野洋子 講談社 1300
◎「陽光桜」 高橋 玄 集英社 1400
◎「みんなの秘密」 畑野智美 新潮社 1500

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel.726～2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本、詩は詩の本、写は写真の本、知は知識の本です。

2015年10月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

- 絵「はっきよいどーん」 やまもとななこ 講談社 1400(税別)
32P／31cm

待ったなし！優勝決める大一番、初めて挑む明の海。迎え撃つのは最強の横綱・武留道山一。土俵上の力士たちの迫力ある取組を描いた相撲絵本。見返しにイラスト「決まり手八十二手」付き。

- 絵「たんじょうびおめでとう」 鈴木まもる ポプラ社 800
32P／15×17cm

一年に一度、必ずやってくる誕生日。お腹のなかから出てくるのがわかって待っていた日。神さまがくれたたかからもの一。あたたかい絵とやさしい文章で「うまれてきてくれてありがとう」を伝える絵本。

- 絵「さけがよんひき」 最上一平・作／喜湯本のづみ・絵 すずき出版 1300
P／21×28cm

カップが畑から野菜をとっていくのを、おばあさんは柿の木のかげから見えています。おばあさんは、心の中で「もっと持ってけ」と言いました。秋が深まり、畑になにもなくなると、もうカップはやってきません。そんなある日…。

- 絵「のげしとおひさま」 甲斐信枝 福音館書店 800
23P／21×24cm

のげしは、自由に好きなところへ行けるかえるや、あり、ちょうちょをうらやましく思っていました。でも、ある春の日、のげしは真っ白な綿毛のたまっこになって…。月刊『ちいさながかくのとも』から生まれた絵本。

- 絵「どろだんごとたごとのつきまつり」 飯野和好 B L出版 1300
32P／22×22cm

たんぼの土を栄養たっぷりにする生きものたち。おじいさんに作ってもらったどろだんごは、そんな生きものたちの仲間になりました。そして、「たごとのつきまつり」をみんなで祝おうとしましたが…。

絵「ゴリラのおとうちゃん」 三浦太郎 こぐま社 1200
32P/25cm

のんびり木陰でお昼寝中のゴリラのおとうちゃん。そこへ、かわいいゴリラのこどもがやってきて、「なあ、おとうちゃん。あそんで～や」と、声をかけ…。読んで楽しい、やって楽しい、からだ遊びの絵本。

絵「カエルくんのたんこぶ」 宮西達也 すずき出版 1300
P/21×28cm

森の中であまがえるくんと、あかがえるくんがケンカをしています。そこへとのさまがえるくんがやってきて、ケンカのわけをききますが、ふたりは相手が悪いというばかり。ケンカの原因はいったい何…？

< 小学校低学年 >

絵「ラプリー・ホールド・ライオン おじいちゃん、わすれないよ」 ジュリア・ジャーマン・作/スザン・パレイ・絵 フレーベル館 1300
28P/24×28cm

動物たちの王様で立派だったおじいちゃんが「わすれんぼう」になってしまい…。孫のレニーがおじいちゃんのためにしたことは？ 認知症になったおじいちゃんを孫のレニーや友だちがあたたかく支える感動の物語。

絵「ぼくのともだち」 とねさとえ Gakken 1400
P/23×23cm

孤独なうさぎのはじめてのともだちは、まいごのたまごでした。ふたりはいつも一緒。こんな毎日がずっと続くといいのに。でも、別れの日がやってきて…。大切な人との出会いと別れ、そして再会の物語。

絵「はしれ、ゴールのむこうまで！ くすのきしげのり・作/稲葉卓也・絵 講談社 1400
32P/27cm

今日は運動会。走るのが遅いそうたは、徒競走が苦手です。そのことに気づいた校長先生は、「ゴールのむこうまで走る」ということを教えてください。そして…。小学1年生の学校行事と生活を描いた絵本。

写「さかなだってねむるんです」 伊藤勝敏・写真/嶋田恭子・文 ポプラ社 1400
40P/21×26cm

からだの色を変えたり、砂にもぐったり、イソギンチャクに隠れたり、すきまにもぐりこんだり…。安心して眠るためには、作戦が大事です。魚たちがどこで、どんな風に眠っているかを、写真で紹介します。

絵「まえとうしろ どんなくるま？①どうろこうじのくるま」 こわせもりやす 偕成社 1200
32P/25cm

車の前と後ろ、ちゃんと見たことある？ これ、どんな車？ ブルドーザー、モーターグレーダー、ロードローラーなど、道路工事で活躍する車を、こまかいところまでばっちり見られる絵本。

絵「手話ではなそう しゅわしゅわ村のだじゃれ大会」 くせさなえ・作/絵 偕成社 1500
39P/24×24cm

しゅわしゅわ村には、おかしなだじゃれがいっぱい！ うしのうしろで、うしししし。かばのかばんに、かばのかお…。だじゃれを楽しみながら、自然に手話ができるようになる手話絵本。見返しに指文字の解説あり。

絵「おにつばとうさん」 沼野正子・文と絵 福音館書店 1400
43P/26cm

毎日、観音様にお線香をお供えしていた父さんは、ある夜、鬼に捕まり、線香くさいと、つばを吐きかけられた。そのせいで、父さんの姿は見えなくなってしまい…。「今昔物語」の「鬼の唾で姿が見えなくなる話」を題材に絵本化。

絵「小学生まじよのふしぎなぼうし」中島和子・作／秋里信子・絵 金の星社 1100
94P／22cm

リリコはまじよの血をうけつぐ少女。リリコは、おばあさんの部屋で黒いぼうしをみつけ、かぶろうとしました。すると、むかし“まじよ”だったおばあさんはそれをとりあげてしまい…。「小学生まじよ」シリーズ第3弾。

絵「うみやまてつどう ふしぎなえかきさん」間瀬なおかた・作／絵 ひさかたチャイルド1200
32P／26cm

毎年、夏が過ぎると、きまって駅にやってくる絵描きのおじいさんがいます。おじいさんが絵を描き始めると、景色はその絵の通りに変化していき…。心あたたまる鉄道ファンタジー。ワイドページあり。

◎「なかよくなれたね」 森山 京・作／ささめやゆき・絵 文溪堂 1300
47P／22cm

ある日、道で出会った見かけない大きなクマのこは、ブタのこの学校にきた転校生でした。大きなからだのクマのこは、みんなの人気者になりましたが…。楽しくて、ほのぼのあたたかいおはなし。

◎「テレビのずるやすみ」 村上しいこ・作／長谷川義史・絵 PHP研究所 1100
78P／22cm

わが家のテレビが、1日だけずるやすみをして、ぼくといっしょにななちゃんの誕生日パーティーに行きたいと言い出した。「なにかひとつ、隠し芸をせなあかんねん」と言うぼくに、テレビは「マジックができます」と答えて…。

<小学校中学年>

絵「いっぼんの木のそばで」G・ブライアン・カラス・作／いしづちひろ・訳 BL出版 1700
32P／30cm

かつて、男の子がどんぐりを土にうめました。どんぐりは芽を出し、やがて大きな木になって…。木のそばで移りかわっていく人々の暮らしを、年代を追って描いた絵本。

絵「タケノコごはん」 大島 渚・文／伊藤秀男・絵 ポプラ社 1300
42P／25×25cm

パパが小学校にいていたころ、日本は戦争をしていた。さかいくんのお父さんが戦死し、担任の先生も戦争で死んだ。そして、かわりにきた先生も戦争に行くことに…。映画監督の大島渚が、世界中の子どもたちへ贈るメッセージ。

◎「ちゃいろいつつみ紙のはなし」アリソン・アトリー・作／殿内真帆・絵 福音館書店 1100
36P／22cm

どこかへ冒険にでかけたくてたまらない、ちゃいろいつつみ紙。クリスマスが近づくと、一軒の家につれていかれました。紙はおくりものの箱をくるんでこづつみになると、郵便局へもっていかれ…。

絵「わたしの『やめて』戦争と平和を見つめる絵本」自由と平和のための京大有志の会 朝日新聞出版1300
32P／24cm

戦争は始めるのは簡単だけど、終わるのは難しい…。「なぜ、戦争をしてはいけないの？」という問いにはっきりと答える本。自由と平和のための京大有志の会「声明書」のこども語訳を絵本化。

知「星と宇宙クイズ図鑑」 藤井旭・監修と写真／西山アユミ・絵 あかね書房 1500
64P／27cm

宇宙には、おもしろいことがたくさんあります。宇宙のはじまり、天体の種類、春夏秋冬の星座、太陽系の惑星、月の満ち欠け、月食や日食などを、イラスト・写真を用いて解説します。クイズも掲載。

写「ぼくの先生は東京湾」 中村征夫・写真と文 フレーベル館 1400
31P／22×27cm

大都会の前に広がる海、東京湾。中をのぞいてみると、そこにはたくさんの生きものがある。しかし、大

都会のそばだからこそその問題もあり…。海と生きものと人のつながりを考える写真絵本。

絵「いっすんこじろう」 内田麟太郎・文／加藤休ミ・絵 WAVE出版 1500
32P／31cm

相棒たまきちにまたがり、武者修行中のいっすんこじろう。立ちはだかるは、恐ろしいと噂の妖怪「キリナシ」。はてさて、こじろうとたまきちの運命やいかに…！

絵「ハロウィーンの星めぐり 夜に飛ぶものたち」
ウォルター・デ・ラ・メア・詩／カロリーナ・ラベイ・絵 岩崎書店 1400
25P／23cm

子どもたちが、トリック・オア・トリートにでかけるころ。夜空には、星がいっぱい…そして、魔女もいっぱい!? 英国の幻想文学作家ウォルター・デ・ラ・メアの詩「夜に飛ぶものたち」の絵本。

◎「ルイージといじわるなへいたいさん」 ルイス・スロボドキン 徳間書店 1700
62P／22cm

毎週土曜日、バスでお隣の国のバイオリンの先生のところへ通うルイージ。国境警備のへいたいさんは「宝石をかくしているのでは」と疑って、ルイージのケーキをつぶしてしまい…。ユーモラスでほのぼのとした幼年童話。

< 小学校高学年 >

◎「幸せとまずしさの教室～世界の子どもたちのくらしから～」 石井光太 少年写真新聞社 1600
141P／22cm

世界にはたくさんの方々のまずしい子どもたちがいます。かれらはどういうくらしをして、何を楽しみにして生きているのでしょうか。路上に生きる子どもたちのリアルなくらし、幸せを、写真を交えて紹介します。

◎「夢見る犬たち 五番犬舎の軌跡」 クリフ・マクニッシュ 金の星社 1400
319P／20cm

動物愛護センター“ハッピー・ポーズ”で新しい飼い主を待つ犬のラルフと仲間たち。ささやかな夢を見ながらそれなりに楽しく過ごしていたが、ある日、殺処分の危機に！ ケージの中の犬たちにおとずれた、小さな奇跡の物語。

◎「岸辺のヤービ」 梨木香歩 福音館書店 1600
223P／21cm

あの晴れた夏の日、わたしが岸辺で出会ったのは、ふわふわの毛につつまれた、二本足で歩くハリネズミのようなふしぎな生きものでした。驚きと喜びに満ちたファンタジー。マッドガイド・ウォーターシリーズ第1弾。

◎「アカシア書店営業中！」 濱野京子 あかね書房 1200
172P／21cm

アカシア書店の、児童書コーナーの危機! 読書好きの大地は、本を守るために行動開始。もともともと、みんなに本の楽しさを知ってもらうには…。智也、真衣、琴音といっしょに、次々にくり広げる作戦の結果は？

◎「イスタンブルで猫さがし」 新藤悦子 ポプラ社 1300
175P／19cm

トルコの美しい猫、ワン猫にあこがれて、父親の赴任先のイスタンブルにやってきた5年生の愛。ある日、日本人学校の図書室で、「ワン猫に会わせてあげる」というメモを見つけ…。迷宮の街を舞台に描く、冒険と感動の物語。

◎「めだかの王様」 岡田 潤 金の星社 1300
236P／20cm

「最初にこれを手にした者こそが勇者」 隣の工藤さんからゆずられ、西野家へやってきたメダカの鉢の

底から、ガラスの小ビンに入ったメッセージが見つかる。小ビンを最初に手にしたのは、結衣の兄、健斗だった一。

知「学研の図鑑LIVE 人体」 阿部和厚・監修 学研 2200
191P/29cm

人の体の中を臨場感ある写真でわかりやすく解説。スマートフォンをかざすと動画が見られるマーク付き。付属DVD煮は人間と脳の秘密を紹介した映像を収録。見返しにコピーして使う3DCGマークあり。

絵「女王さまの影 動物たちの視覚のはなし」 シベール・ヤング BL出版 1600
40P/24×29cm

女王さまの舞踏会の最中、突然停電になりました。そして、周囲が明るくなったとき、なんと女王さまの影が盗まれていたのです。名探偵シャコは、ゲストの動物たちを調べていきますが…。動物たちの視覚を、たのしく学べる絵本。

絵「稲と日本人」 甲斐信枝 福音館書店 2000
63P/25×26cm

稲とわたしたち日本人は、生死をともにして生き抜いてきた、かけがえのない仲間同士という間柄なのです一。二千数百年の昔から培われてきた稲とその文化、稲作にまつわる日本の景色や日本人のこころを伝える絵本。

◎「みんなでつくる1本の辞書」 飯田朝子 福音館書店 1300
47P/26cm

大根1本、電車1本、柔道の勝負1本…。「1本」と数える様々なモノ・コトを集めた本。日本語を話す人が「1本」と数える時に描くイメージや、そうした数え方の歴史を紹介します。月刊『たぐさんのふしぎ』から生まれた本。

◎「ゴリラが胸をたたくわけ」 山極寿一・文/阿部知暁・絵 福音館書店 1300
39P/26cm

ゴリラが胸を叩く「ドラミング」は戦いの宣言ではなく、争いを避けるための行為一。霊長類の研究者が、自身の観察に基づいてアフリカのゴリラの生態を紹介する。月刊『たぐさんのふしぎ』から生まれた本。

絵「おねえちゃんにあった夜」 シェフ・アールツ・文/マリット・テルクヴィスト・絵 徳間書店 1700
48P/26cm

おねえちゃんはぼくが生まれる前に亡くなった。ある日、ぼくは「ねえ、あたしのおとうと!今晚いっしょに、自転車のでかけようよ」という声を聞いた。子どもが「死」を受け入れていく過程を、詩的な文章と叙情的な絵で描く。

絵「木のすきなケイトさん 砂漠を緑の町にかえたある女のひとのおはなし」
H・ジョゼフ・ホプキンス・文/ジル・マケルマリー・絵 BL出版 1600
32P/24×29cm

1883年に教師としてサンディエゴにやってきた、ケイトさんことキャサリン・セッションズ。森で育った彼女は、森にいただけでしあわせでしたが、サンディエゴは砂漠の町で…。砂漠を緑の町にかえたある女性のお話。

◎「世界恐怖図鑑①魔女・黒魔術・呪い」 バーバラ・コックススコット/フォーブス 文溪堂 1500
48P/28cm

東西南北、あらゆる「恐怖」をカテゴリー別にまとめた図鑑。1は、魔女、魔法使い、人狼、黒魔術、呪いについて、その秘密を明らかにし、邪悪な魔法から身を守るすべを紹介する。

< 中学校 >

◎「岬のマヨイガ」 柏葉幸子 講談社 1500
268P/22cm

両親を亡くした小学生の萌花、夫から逃げたゆりえ、老婆のキワ。震災を機に女3人の不思議な共同生活が始まった。『岩手日報』の「日報ジュニアウイークリー」連載を単行本化。柏葉幸子、デビュー40周年記念作品。

◎「発信力の育てかた」 外岡秀俊 河出書房新社 1300
189P/19cm

すべての人が発信者になる時代がきた! 情報収集術・取材術・編集術・発信術…プロのコツさえ学べば、伝える力はぐんぐん伸びる! 元朝日新聞の記者が、世界とつながるためのスキルを伝授する。

◎「はじめてのやさしい短歌のつくりかた」 横山未来子 日本文芸社 1200
143P/21cm

音の数やかぞえかた、表記のしかたといった、短歌づくりの基本のルール、自分らしく短歌を詠むためのコツを紹介。相聞歌、挽歌、自然詠、職業詠などのテーマごとの短歌の名作とつくりかたのポイントも解説する。

< 高等学校 >

◎「おとなになるってどんなこと?」 よしもとばなな 筑摩書房 680
125P/18cm

勉強のこと、友だちとのこと、死、そして生きること…。若者たちが抱える、人生の根幹に関わる8つの問いに、吉本ばなながやさしく答えます。大人も考えさせられる珠玉の言葉が満載。

◎「颯風の土」 河崎秋子 KADOKAWA 1600
P/×cm

力が及ばぬ厳しい自然の中で馬が、人が、懸命に生きている。明治の世。捨造は東北から新天地・北海道へ向かっていた。道中、捨造は童女のように生きる母からもらった紙切れを開く。それはいつもの、幼子を書いたようなものではなかった。雪崩で馬と遭難しながらも、その馬を食べて生き延び、腹の中の捨造の命を守りきった、母の壮絶な人生の記録だった。北海道の大地で羊を飼い、乳牛を育てながら小説を書き続ける、新人・河崎秋子が圧倒的なスケールでおくる三浦綾子文学賞受賞作。

◎「ヒトリコ」 額賀 滯 小学館 1200
277P/19cm

クラスで飼っていた金魚殺しの濡れ衣から壮絶ないじめの対象となった小5の日都子は、「みんな」には属さない「ヒトリコ」として生きる決心をする。高校に進学した彼女たちのもとに、金魚を置いて転校した冬希が戻ってきて…。

◎「ヨーコさんの“言葉”」 佐野洋子 講談社 1300
175P/21cm

自分らしく強くなれる、やさしくなれる。人生を豊かに生きる方法を綴った選りすぐりのエッセイにイラストをそえる。NHK Eテレの番組「ヨーコさんの“言葉”」を書籍化。

◎「陽光桜」 高橋 玄 集英社 1400
P/×cm

「陽光桜を世界平和のシンボルにするんじゃ!」多くの教え子を戦争で死なせた後悔から戦争根絶を誓い、愛媛の山奥で独り、新品種の桜作りに没頭した高岡正明。戦後70年の節目に、その偉業が初めて明かされる!!

◎「みんなの秘密」 畑野智美 新潮社 1500
248P/20cm

中学2年生の女の子は誰だって、親に言えない秘密がある。淡くて、残酷で、拙くて、美しいあの日々。思春期の尊さと愚かさが、すべてつまった青春小説。『yom yom』連載を単行本化。

2015年度	選定	北海道学校図書館協会 札幌市学校図書館協議 株式会社トーハン 図書館ネットワークサービス
11月の選定図書 (2015年10月に選定された本です)	協力	

< 幼児 >

絵「くつやのドラテフカ」ヤニーナ・ポラジスカ・文/ワンダ・オルリンスカ・絵	福音館書店	1500(税別)
絵「だーれもいないだーれもいない」片山 健	復刊ドットコム	1600
絵「オルゴールのくるくるちゃん」こみねゆら	講談社	1400
絵「もうぬげない」ヨシタケシンスケ	ブロンズ新社	980絵
「そっくりさんどこにいるかわかるかな？」ブリッタ・テッケントラップ	ポプラ社	1300
絵「じどうしゃトロット」ユリ・シュルヴィッツ	そうえん社	1400
絵「ぱれーど」山村浩二	講談社	1300

< 小学校低学年 >

絵「カボチャのなかにたねいくつ？」マーガレット・マクナマラ・作/ブライアン・カラス・絵	フレーベル館	1300
写・絵「A WORLD OF FOOD もしもせかいがたべものでできていたら」カール・ワーナー	フレーベル館	1400
絵「ながぐつボッチャ〜ン」軽部武宏	WAVE出版	1500
絵「おならをならしたい」鈴木のりたけ	小学館	1300
絵「ふまんがあります」ヨシタケシンスケ	PHP研究所	1300
絵「なぞかけえほん」入船亭扇里・文/きたがわめぐみ・絵	小学館	1200
絵「絵本アフリカのどうぶつたち はじめてのかり」吉田遠志・絵と文	絵本塾出版	1700
絵「女王さまのぼうし」ステイブ・アントニー/せなあいこ・訳	評論社	1400
絵「クリスマスの森」ルイズ・ファティオ・文/ロジャー・デュボアザン・絵	福音館書店	1300
絵「金のおさら」バーナデット・ワッツ/福本友美子・訳	BL出版	1300

< 小学校中学年 >

◎「お昼の放送の時間です」乗松葉子・作/宮尾和孝・絵	ポプラ社	1200
絵「オオサンショウウオみつけたよ」にししかわかと・文/あおきあさみ・絵	福音館書店	1400
◎「2分の1成人式」井上林子・著/新井陽次郎・絵	講談社	1300
絵「はなちゃんのみそ汁」安武信吾・千恵・はな・原作/魚戸おさむ・文と絵	講談社	1400
絵「うなりやべんべんの紙芝居」NHKEテレ「にほんごであそぼ」制作班・編	金の星社	1800
絵「牙なしゾウのレマ」滝田明日香・文/小林絵里子・絵	NHK出版	1500
◎「勇気の花がひらくとき やなせたかしとアンパンマンの物語」梯久美子	フレーベル館	1200
絵「てっぺんねこ」C・ロジャー・メイダー	ほるぷ出版	1500
◎「子犬のきららと捨て犬未来」今西乃子・著/浜田一男・写真	岩崎書店	1200
◎「スプーンは知っている」新藤悦子・作/平澤朋子・絵	講談社	1300

< 小学校高学年 >

絵「ナイアガラの女王」C・V・オールズバーク・絵と文	河出書房新社	1800
知「お仕事ナビ⑥動物に関する仕事 動物園飼育員・トリマー・獣医師ほか」桑山裕司	理論社	2800
知「火山噴火 何が起こる？ どうそなえる？」高田 亮	PHP研究所	3000
◎「魚屋しめ一物語」柳沢朝子	くもん出版	1400
◎「ニレの木広場のモモモ館」高楼方子	ポプラ社	1400
◎「茶畑のジャヤ」中川なをみ	すずき出版	1500
◎「世界でいちばん貧しい大統領からきみへ」くさばよしみ・編	汐文社	1200
◎「自転車少年(チャリンコボーイ)」横山充男	くもん出版	1500
◎「コルチャック先生 子どもの権利を求めて」フィリップ・メリュ	汐文社	2500

< 中学校 >

◎「ぼくたちに翼があったころ コルチャック先生と107人の子どもたち」タミ・シエム=トヴ	福音館書店	1700
--	-------	------

◎「レッド・フォックス カナダの森のキツネ物語」チャールズ・G・D・ロバーツ 福音館書店 1400
 知「本屋って何？」 秋田喜代美・監修／稲葉茂勝・文 ミネルヴァ書房 1800知
 「木と日本人①材木一丸太と板」ゆのきようこ・文／長谷川哲雄・画 理論社 3400
 詩「続まど・みちお全詩集」 まど・みちお 理論社 6500
 知「リアル折り紙 陸を歩く生き物・編」福井久男 河出書房新社 1600
 知「世界一おもしろい数の本」カーリーナ・ルアール／フロランス・ピノー ポプラ社 1800

< 高等学校 >

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel726～2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本，詩は詩の本，写は写真の本，知は知識の本です。

2015年11月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

絵「くつやのドラテフカ」ヤニーナ・ポラジスカ・文／ワンダ・オルリンスカ・絵 福音館書店 1500(税別)
 35P／28cm

昔、若いくつやのドラテフカがいました。村から村へ旅している間に、ドラテフカは、アリやハチ、カモのことを助けてやりました。ある日、ドラテフカは、お姫さまの魔法をとくために、ふたつの仕事と謎ときをすることになり…。

絵「だーれもいないだーれもいない」片山 健 復刊ドットコム 1600
 23P／22cm

コッコさんがお昼寝から覚めると、家の中はからっぽ。だーれもいません。みんな、どこへ行ってしまったのでしょうか？子どもの不安な気持ちを見事に描いた名作。幻の「コッコさん」絵本を復刊。

絵「オルゴールのくるくるちゃん」こみねゆら 講談社 1400
 32P／27cm

オルゴール人形のくるくるちゃんは、ある日、外へ飛び出しました。カラスにさらわれ、犬に出会い、たどりついたその先には…？オルゴール人形の不思議な運命を描いた絵本。

絵「もうぬげない」 ヨシタケシンスケ ブロンズ新社 980
 P／19×23cm

お風呂に入るために、お母さんに服を脱がされそうになったぼく。自分で脱ぐって言ったのに、お母さんが急いで脱がそうとするから、ひっかかって脱げなくなっちゃった。ひとりで脱ぐから大丈夫って、いろいろやってみただけ…。

絵「そっくりさんどこにいるかわかるかな？」ブリッタ・テッケントラップ ポプラ社 1300
 31P／29cm

色とりどりの、きれいなはねのとりさんたち。あらら、そっくりさん。はねも、くちばしもからだの色も、み～んなそっくりおんなじのとりがいるよ。どこと、どこに、いるのかな？注意力・観察力が身につく絵さがし絵本。

絵「じどうしゃトロット」 ユリ・シュルヴィッツ そうえん社 1400
 32P／24×26cm

サボテン村に着いたトロットは、大きなトラックたちからかわれた。そこでトロットは、トラックたちにレースを申し込み…。小さくたって大きな冒険が大好きな元気な小型車・トロットが大活躍する絵本。

絵「ぱれーど」 山村浩二 講談社 1300

32P / 22cm

とんとんとん、ぼくがたいこをたたいたら、恐竜もアルファベットもビルも、どんどんと進んでいくよ！稀代のアニメーション作家らしい繊細でユーモラスな世界観が画面いっぱい広がる、山村浩二初のオリジナル絵本。

＜小学校低学年＞

絵「カボチャのなかにたねいくつ？」 マーガレット・マクナマラ・作/ブライアン・カラス・絵 フレーベル館 1300

32P / 28cm

クラスでいちばん小さなチャーリーは、背の順に並ぶのが気に入らなかったけど、カボチャのたねを数えて、ある発見をします…。「科学」する心を育てよう！予想・観察・結論にもとづく実践授業のようすを描いた絵本。

写・絵「A WORLD OF FOOD もしもせかいがたべものでできていたら」 カール・ワーナー フレーベル館 1400

32P / 26×29cm

家も、雲も、道も、山も、花も、ぜんぶ食べられる!? 色をテーマに、すべてが食べもので作られた夢のような世界を写真で描く、写真家カール・ワーナーの絵本。絵さがしも楽しめます。

絵「ながぐつボッチャ〜ン」 軽部武宏 WAVE出版 1500

32P / 31cm

気配ざわめき、生命うごめく、淡水大宇宙絵巻。水の中に落ちた、片方だけの赤いながぐつの流れ着く先は…。画家・絵本作家の軽部武宏が、妖しくも生命力あふれる水辺の世界を描く。

絵「おならをならしたい」 鈴木のりたけ 小学館 1300

P / 27cm

「おなら」に興味津々の仲良し3人組。なぜ「おなら」と呼ぶのか？なぜ音が出るのか？おならの謎を、おもしろおかしく徹底解剖。見返しにイラストあり。

絵「ふまんがあります」 ヨシタケシンスケ PHP研究所 1300

32P / 26cm

どうして、子供だけはやく寝なくちゃいけないの？ どうして弟が悪いのにわたしばかり怒られるの？大人にちゃんと文句をいって、ズルいのをやめてもらおう！ヨシタケシンスケのユーモア絵本。ジャケット裏にぬりえあり。

絵「なぞかけえほん」 入船亭扇里・文/きたがわめぐみ・絵 小学館 1200

33P / 24cm

“じ”とかけまして“いびき”とときます。そのころは？落語独特の言い回しで“なぞかけ”を楽しみながら、たぬきの落語家・ぼん太といっしょに言葉遊びに親しむ絵本。

絵「絵本アフリカのどうぶつたち はじめてのかり」 吉田遠志・絵と文 絵本塾出版 1700

32P / 22×31cm

いつもなら、かりにでかける時間ですが、おかあさんライオンたちは、気持ち良さそうに寝ています。そんな中、たいくつな若いライオンの兄弟たちは、はじめてかりに出かけることにしました。だけど、かりはととても難しくて…。

絵「女王さまのぼうし」 スティーブ・アントニー/せなあいこ・訳 評論社 1400

32P / 28cm

女王さまがおでかけです。すると、風が吹いてきて、帽子を吹き飛ばしてしまいます。どこまで飛んでいくのでしょうか…？女王さまといっしょにロンドンの街をめぐる絵本。

絵「クリスマスの森」 ルイーズ・ファティオ・文/ロジャー・デュボアザン・絵 福音館書店 1300

48P / 22cm

クリスマスプレゼントを届ける前に森のはずれでひと休みしたサンタは、おもちゃ作りで疲れていたせいで、うっかり眠ってしまいます。それを見たキツネは、森の動物たちを集め、みんなで手分けしてプレゼントを届けることに…。

絵「金のおさら」 バーナデット・ワッツ／福本友美子・訳 BL出版 1300
25P／27cm

エリーの金のお皿はとてもきれい。うらやましきのあまり、ポケットに入れてしまったイザベルは…。女の子の心の動きをていねいに描く、バーナデット・ワッツの絵本。

<小学校中学年>

◎「お昼の放送の時間です」 乗松葉子・作／宮尾和孝・絵 ポプラ社 1200
143P／21cm

ずっと憧れていた放送委員になった、小学4年生のかえで。一緒に番組を担当することになったこうへいは、ちびで、おしゃべりで、おっちょこちょいで、おまけにジコチュウ。放送を邪魔されて、落ち込むけれど…。

絵「オオサンショウウオみつけたよ」 にしかわかんこ・文／あおきあさみ・絵 福音館書店 1400
40P／31cm

秋に孵化したあかちゃんオオサンショウウオは、春には巣穴から川に出る。長い間謎とされていた世界最大の両生類・オオサンショウウオのおよそ20年にわたるライフサイクルと日々の暮らしを描く。

◎「2分の1成人式」 井上林子・著／新井陽次郎・絵 講談社 1300
183P／20cm

学校で配られた「2分の1成人式 文集ノート」。「将来のゆめ」「二十才の自分へ」なんて、いったい、なにを書いたらいいんだろう？ 2分の1成人式になやむ小学4年生の女の子・ユメの物語。

絵「はなちゃんのみそ汁」 安武信吾・千恵・はな・原作／魚戸おさむ・文と絵 講談社 1400
47P／27cm

がんで、残り少ない命を覚悟した母親が、5歳の娘に伝えたのは、ひとりでも生きていける力だった。自らの死後を考え、闘病中に娘に料理を教えた母の姿を記した手記を絵本化。レシピも収録。

絵「うなりやべんべんの紙芝居」 NHKEテレ「にほんごであそぼ」制作班・編 金の星社 1800
87P／31cm

NHK Eテレ「にほんごであそぼ」の、うなりやべんの紙芝居を絵本で。「一寸法師」「笠地蔵」「北風と太陽」など全7話を、出色の画家たちによる多彩な絵画、味わい深い日本各地の方言とともに収録。読み聞かせに最適。

絵「牙なしゾウのレマ」 滝田明日香・文／小林絵里子・絵 NHK出版 1500
36P／26cm

ここは、東アフリカ、ケニア共和国のマサイマラ国立保護区。アフリカゾウの子どもレマには、いつまでたっても牙が生えてきませんでした。あるとき、レマの家族は人間に殺され、牙を奪われて…。見返しにイラストあり。

◎「勇氣の花がひらくとき やなせたかしとアンパンマンの物語」 梯久美子 フレーベル館 1200
136P／22cm

みんなの笑顔がぼくのしあわせ。「アンパンマン」を生みだした、やなせたかしの伝記。「ぼくが生きる意味はなんだろう？」といつも考え、自分の思いを作品にこめた彼のすがたを描く。見返しにイラストなどあり。

絵「てっぺんねこ」 C・ロジャー・メイダー ほるぷ出版 1500
32P／29cm

猫の「ぼく」は、バルコニーから屋根にのぼって、お気に入りの「世界のてっぺん」へ。でもある日、ハ

トに飛びかかったら、屋根から落っこちてしまい、プライドはずたずた。もう屋根にのぼるのも嫌になってしまい…。

◎「子犬のきららと捨て犬未来」 今西乃子・著／浜田一男・写真 岩崎書店 1200
125P／21cm

動物愛護センターに収容された、もと捨て犬のきららと未来。2匹の出会いから「本当のなかよし」になるまでを、犬同士のコミュニケーション、飼い主との信頼関係をとおして描く。

◎「スプーンは知っている」 新藤悦子・作／平澤朋子・絵 講談社 1300
102P／22cm

どんな料理もおいしくしてくれる、スプーンにのったふしぎな人形タママさん。かなめちゃん、タママさんと大好きな人の笑顔をつくるおかしづくりに挑戦します！ お料理レシピ付き。

< 小学校高学年 >

絵「ナイアガラの女王」 C・V・オールズバーグ・絵と文 河出書房新社 1800
P／30cm

62歳でナイアガラの滝下りという大冒険をしかけた勇敢でお茶目な女性、アニー。彼女のいっぼう変わった生涯を、「絵本の魔術師」オールズバーグが描いた、ちょっぴり切なくてうんと元気が出る絵本。

知「お仕事ナビ⑥動物に関する仕事 動物園飼育員・トリマー・獣医師ほか」 桑山裕司 理論社 2800
55P／30cm

第一線で活躍する職業人の1日に密着し、どんな仕事場で、どのような作業をしているのか、どんな資格や免許が必要なのかを解説する。6は、動物園飼育員、トリマー、獣医師など、動物に関わる仕事を取り上げる。

知「火山噴火 何が起こる？ どうそなえる？」 高田 亮 PHP研究所 3000
63P／29cm

近年、日本の火山ばかりでなく、世界中の火山で活発な活動が見られる。噴火すれば、大きな災害に結びつく火山のおそろしさについて、イラストや写真を使ってわかりやすく説明する。

◎「魚屋しめ一物語」 柳沢朝子 くもん出版 1400
230P／20cm

12歳で家族と離れ、奉公に出たしめ一は、きびしい親方のもとで働きながらも、周りから支えられ、いつしか「りっぱな魚屋になりたい」と思うようになり…。大正、昭和、そして戦争の時代を、一生懸命生きたしめ一の修行物語。

◎「ニレの木広場のモモモ館」 高樓方子 ポプラ社 1400
262P／19cm

ニレの木の下で、ぐうぜん出会ったモモとモカとカンタは、壁新聞<モモモ館>を作ることに…。本物の仲間に出会った瞬間から、かがやき始める子どもたちの時間。高樓方子が贈る、いつまでも読み続けたい物語。

◎「茶畑のジャヤ」 中川なをみ すずき出版 1500
213P／20cm

成績の良さを皮肉られ、クラスで仲間はずれにされていた小5の周は、海外で働く祖父の誘いでスリランカへ。茶畑で出会った少女ジャヤを通して、スリランカの民族対立を知った周は、自分とまわりの関係に置きかえて考え始め…。

◎「世界でいちばん貧しい大統領からきみへ」 くさばよしみ・編 汐文社 1200
68P／20cm

国連会議のスピーチで世界中から注目された、元ウルグアイ大統領ホセ・ムヒカからのメッセージ。これまでのスピーチや取材で語ったことや、大統領の任期を終えた直後に行ったインタビューをもとにまとめる。

◎「自転車少年(チャリンコボーイ)」横山充男 くもん出版 1500

223P/20cm

ムードメーカーの吉平、キャプテンの颯太、情報係の晴美…。自転車のタイム・トライアルレースに参加することになった中小6年生の3人は、断トツ優勝候補の、南小のチームにどう挑む？ はじける、小学校高学年男子！

◎「コルチャック先生 子どもの権利を求めて」フィリップ・メリュ 汐文社 2500

41P/27cm

子どもがひとりの人間として大切にされるよう、子どもの権利を求めて活動しつづけたコルチャック。だが第二次世界大戦中、ユダヤ人だった彼は強制収容所に連行され…。巻末に、豊富な写真を用いた解説も収録。

< 中学校 >

◎「ぼくたちに翼があったころ コルチャック先生と107人の子どもたち」タミ・シエム=トヴ 福音館書店1700

350P/20cm

大人たちに支えられ、自立していく孤児たち。厳しさとやさしさに満ちたいとなみは、いつまでも続くはずだった…。1934～39年のポーランドを舞台に、教育に一生をささげたコルチャック先生と子どもたちの姿を描く。

◎「レッド・フォックス カナダの森のキツネ物語」チャールズ・G・D・ロバーツ 福音館書店1400

309P/20cm

比類なく強く、賢くたくましい「レッド・フォックス」は、次々と訪れる危機を克服し、カナダの未開の荒野を雄々しく生きてゆき…。野生動物の徹底した生態観察をもとに、傑出した一頭のキツネをダイナミックに描く。

知「本屋って何？」 秋田喜代美・監修／稲葉茂勝・文 ミネルヴァ書房 1800

127P/26cm

歴史や流通の仕組み、活用方法、仕事の舞台裏といったあらゆる切り口から、本屋をオールカラーでビジュアルで紹介。豊富な写真にくわえ用語解説も充実。日本はもちろん世界の本屋にもせまる。

知「木と日本人①材木―丸太と板」ゆのきようこ・文／長谷川哲雄・画 理論社 3400

63P/31cm

森の多い国・日本で、木がどのように使われてきたかを、木の部分ごとに紹介するシリーズ。1は、材木をテーマに、わたしたち日本人が丸太や板からつくってきたものを見ていきます。

詩「続まど・みちお全詩集」 まど・みちお 理論社 6500

575P/21cm

2001年刊「まど・みちお全詩集」後に発表された新作に加え、あらたに発見された1990年以前の作品を補遺としてまとめ、発表順に収録。巻末に年譜、著作目録、総合索引も掲載する。

知「リアル折り紙 陸を歩く生き物・編」福井久男 河出書房新社 1600

111P/26cm

ウシ、キリン、ネズミ、ニホンザル、サソリ、トリケラトプス…。たった1枚の紙からつくる驚きのアート。「陸を歩く生きものたち」のリアルな姿にこだわった本格派の折り紙の折り方を、イラストでわかりやすく解説する。

知「世界一おもしろい数の本」カーリーナ・ルアール／フロランス・ピノー ポプラ社 1800

103P/21×21cm

読むと算数・数学が好きになる！ かわいいイラストとともに、美しく奥深い「数の世界」をご案内。単なる知識ではない、数学に関するセンスを磨き、より深く広い「数学脳」を育む本。

< 高等学校 >

< その他 >

2015年度

選定

北海道学校図書館協会

札幌市学校図書館協議

12月の選定図書

協力

株式会社トーハン

(2015年11月に選定された本です)

図書館ネットワークサービス

< 幼児 >

知「おはよう！しゅうしゅうしゃ」竹下文子・作／鈴木まもる・絵	偕成社	1000(税別)
絵「おおきいサンタとちいさいサンタ」谷口智則	文溪堂	1500絵
「3びきのくま」スズキコージ	すずき出版	1300
絵「おしゃべりこんぶ」おかいみほ	フレーベル館	1200
絵「あと、いくつ？」ひろかわさえこ	アリス館	1400
絵「ひな」瀬川康男	復刊ドットコム	1800

< 小学校低学年 >

◎「ボタンちゃん」小川洋子・作／岡田千晶・絵	PHP研究所	1200
◎「ハリーとうたうおとなりさん」ジーン・ジオン／マーガレット・ブロイ・グレアム	大日本図書	1400
◎「ゆき」きくちちき	ほるぷ出版	1400
◎「あなに」長谷川集平	解放出版社	1600
◎「ぼくの天国ポスト」寺井広樹・原案／志茂田景樹・作	絵本塾出版	1300
◎「つんつくせんせいとかさじぞう」たかどのほうこ	フレーベル館	1200
◎「天使がいっぱい」長谷川集平	光村教育図書	1300
◎「おとうふやさん」飯野まき	福音館書店	900
◎「しょうじき50円ぶん」くすのきしげのり・作／長野ヒデ子・絵	廣済堂あかつき	1600
◎「子うさぎジャックとひとりぼっちのかかし」バーナデット・ワッツ	徳間書店	1600
知「せんせい！これなあに？⑤おち葉」有沢重雄	偕成社	1600
◎「ひゃくえんだま」ねじめ正一・作／荒井良治・絵	すずき出版	1200
◎「ひとつもじえほん」近藤良平	福音館書店	900

< 小学校中学年 >

◎「あまのじゃくにかんぱい！」宮川ひろこ・作／小泉るみ子・絵	童心社	1100
◎「つくしちゃんとすぎなさん」まはら三桃・作／陣崎草子・絵	講談社	1400
◎「こんにちは、いたずらっ子エーミル」アストリッド・リンドグリーン／ビョルン・ベリイ・絵	徳間書店	1500
◎「へんしん！へなちょこヒーロー」野泉マヤ・作／下平けいすけ・絵	文研出版	1200
◎「走れ！みらいのエースストライカー」吉野万理子・作／羽尻利門・絵	講談社	1100
◎「風来坊の子守歌」川端 誠	BL出版	1600
絵「クリスマスイヴの木」デリア・ハディ・文／エミリー・サットン・絵	BL出版	1600◎
「あからんくん」松本一起・詩／安部竜一・画	スペースシャワーネットワーク	1667
絵「おじいちゃんのコート」ジム・エイルズワース・文／バーバラ・マクリントック・絵	ほるぷ出版	1600
◎「せかいいちのねこ」ヒグチユウコ・絵と文	白泉社	1400

< 小学校高学年 >

写・絵「ここで土になる」大西暢夫	アリス館	1400
絵「ワンガリ・マータイ『もったいない』を世界へ」フランク・プレヴォ	汐文社	2500
◎「二日月」いとうみく	そうえん社	1300
◎「戦火の三匹ロンドン大脱出」ミーガン・リスク	徳間書店	1600
◎「現代落語おもしろ七席」斉藤 洋	理論社	1400
◎「オンネリとアンネリのおうち」マリヤッタ・クレンニエミ	福音館書店	1600
◎「へなちょこ探偵24じ」齊藤飛鳥	童心社	1600
◎「むのたけじ100歳のジャーナリストからきみへ『育つ』『人類』むのたけじ」菅聖子	汐文社	1500
知「はじめてのだしクッキング 昆布だしで定番和食」宮沢うらら	汐文社	2400
知「現場で働く人たち②災害現場」こどもくらぶ	あすなろ書房	2800

< 中学校 >

◎「すぐそこに、カヤネズミ」	畠佐代子	くもん出版	1400
◎「聞く力、話す力 インタビュー術入門」	松原耕二	河出書房新社	1300
◎「しゆるしゆるぱん」	おおぎやなぎちか	福音館書店	1500
知「14歳からの宇宙論」	佐藤勝彦	河出書房新社	1300
知「農業の発明発見物語③果物の物語」	吉岡博人・監修／小泉光久・著	大月書店	2500

< 高等学校 >

◎「厭世マニュアル」	阿川せんり	KADOKAWA	1400
◎「イカの不思議」	桜井泰憲	北海道新聞社	1500
◎「集団的自衛権はなぜ違憲なのか」	木村草太	晶文社	1300
◎「骨風」	篠原勝之	文藝春秋	1650
◎「ファイマンさん最後の授業」	レナード・ムロディナウ	筑摩書房	1000
◎「Masato」	岩城けい	集英社	1200

< その他 >

選定された図書は、札幌市学校図書館情報センター（札幌市立白楊小学校内Tel.726～2777）に揃えてありますのでご利用下さい。

※ 絵は絵本、詩は詩の本、写は写真の本、知は知識の本です。

2015年12月の選定図書について

札幌市学校図書館協議会

< 幼児 >

知「おはよう！しゅうしゅうしゃ」	竹下文子・作／鈴木まもる・絵	偕成社	1000(税別)
		32P／21×26cm	

朝早く、人も車もまだほとんど通らない道に、ごみが入った袋がたくさん積んであります。そこへ収集車がやってきて、おじさんたちが、てきぱきと袋を収集車へ入れていき…。ごみ収集車のしくみも解説します。

絵「おおきいサンタとちいさいサンタ」	谷口智則	文溪堂	1500
		34P／28cm	

プレゼントを配り終えた、おおきいサンタとちいさいサンタ。ふたりの家に、もう1枚、手紙が届いていました。手紙に書かれていたおねがいは…。「100にんのサンタクロース」のおはなしの前のおはなし。

絵「3びきのくま」	スズキコージ	すずき出版	1300
		P／27cm	

ある深い森に、とうさんぐま、かあさんぐま、くまのぼうやが住む家がありました。3匹が散歩にでかけると、金色の髪の女の子がやってきました。女の子は家に入ると、ぼうやのスープを飲んだり、椅子を壊したりして…。

絵「おしゃべりこんぶ」	おかいみほ	フレーベル館	1200
		32P／27cm	

100人のおじさんと100人のおばあさんが住んでいる静かな町。おしゃべりをする人は誰もいません。そこにひとりの男の子がやってきて、おじさんに「おしゃべりこんぶ」をあげました。すると…。

絵「あと、いくつ？」	ひろかわさえこ	アリス館	1400
		32P／27cm	

おばあちゃんのおうちにいく日を、楽しみにしているくるみちゃん。あと、ななつ寝たら、おばあちゃんのおうちへ行く日です。ひとつ、ふたつ、みっつ、よっつ、いつつ…あれ、指が足りない。

絵「ひな」 瀬川康男 復刊ドットコム 1800
 P / 22cm
 なんにも知らなくて、なんでも知りたい、子犬のひな。出会うもののにじり寄り、においをかいで、かじって、なめて…。好奇心旺盛な子犬の新しい出会いとふれあいを美しい色彩と繊細なタッチで描く、瀬川康男の「最後の絵本」。

＜小学校低学年＞

◎「ボタンちゃん」 小川洋子・作／岡田千晶・絵 PHP研究所 1200
 32P / 26cm
 ボタンちゃんとボタンホールちゃんはふたりでひとつ。いつもなかよしです。ところがある日、ボタンちゃんをとめていた糸が切れてしまいました。転がっていったボタンちゃんは、おもちゃ箱の裏側にたどりつき…。

◎「ハリーとうたうおとなりさん」 ジーン・ジオン／マーガレット・ブロイ・グレアム 大日本図書 1400
 60P / 22cm
 ハリーの家のおとなりさんは歌をうたうのです。その声の高くて大きいこと！ ハリーはなんとかしてやめさせようとはしますが…。絵本「どろんこハリー」で人気のハリーが活躍する物語。はじめてのひとり読みにもぴったりです。

◎「ゆき」 きくちちき ほるぷ出版 1400
 32P / 26×27cm
 しろくて、きれいで、つめたいゆき。ふわふわのわたがしみたいー。生き物にとって、ときに命をはぐくむ助けとなり、ときに命をうばう雪。北海道出身の著者が繊細にして力強く、軽やかで叙情ゆたかな筆致で描く、雪の絵本。

◎「あなたに」 長谷川集平 解放出版社 1600
 32P / 19×27cm
 ひろしと転校生のしろうは、キャッチボールをやめない。ボールは穴に落ちてしまうが、新たなボールでキャッチボールをし続け…。谷川俊太郎「あな」へのオマージュでもある絵本。

◎「ぼくの天国ポスト」 寺井広樹・原案／志茂田景樹・作 絵本塾出版 1300
 32P / 19×22cm
 大地震でおばあちゃんと犬のポロをなくした、たける。「天国ポスト」と書かれたポストにおばあちゃんへの手紙を入れると、数日後家に手紙が届いて…。イメージソング「Memorial Seasons」の歌詞も掲載。

◎「つんつくせんせいとかさじぞう」 たかどのほうこ フレーベル館 1200
 32P / 27cm
 「かさじぞう」のお話をまねして、お地蔵さんたちに笠をつくってあげたつんつく園のみんな。ところが、お礼にきたお地蔵さんたちは、つんつく園を素通りしてしまい…。シリーズ第9弾。

◎「天使がいっぱい」 長谷川集平 光村教育図書 1300
 32P / 23cm
 雪の上に仰向けに寝ころんで天使の跡をつけた、私とマコおばちゃん。天使はいつも子どもを見守ってくれているんだって…。思春期の少女の心に寄り添う絵本。

◎「おとうふやさん」 飯野まき 福音館書店 900
 27P / 26cm
 商店街のお豆腐屋さんで、大豆がいっぱい入った桶を見つけたみっちゃん。翌日、朝早くから、豆腐作りを見学させてもらうことになりました…。大豆から豆腐ができるまでを、丁寧に描いた絵本。

◎「しょうじき50円ぶん」 くすのきしげのり・作／長野ヒデ子・絵 廣済堂あかつき 1600
 32P / 26cm

大切なおこづかい。おつりを間違えたらたいへんや! 足らんかったら言いに行く。でも、多かったら...? 自分の心はごまかせないね。さわやか、にっこり、おはなし絵本。

◎「子うさぎジャックとひとりぼっちのかかし」バーナデット・ワッツ 徳間書店 1600
30P/29cm

吹雪の夜、子うさぎジャックと友だちを助けてくれたのは...。キャベツ畑で起きた、動物たちとかかしのふれあいを、繊細でやわらかなイラストで描いた、心あたたまる物語。見返しに絵あり。

知「せんせい! これなあに? ⑤おち葉」有沢重雄 偕成社 1600
39P/28cm

楕円形で赤色、手のひらのかたち、ハートのかたち、しもぶくれ、ほそ長い...。おもしろい形をした、落ち葉の名前を見た目から調べられます。紹介した樹木の簡単な説明も掲載。

◎「ひやくえんだま」 ねじめ正一・作/荒井良治・絵 すすき出版 1200
P/23cm

百円玉をもらって、うれしくてうれしくて、ぎゅうっと握ったままねむったら、朝めがさめると百円玉が手のひらに、びしっとくっついていて、一生懸命、力一杯、百円玉をはがすと....。

◎「ひとつもじえほん」 近藤良平 福音館書店 900
30P/27cm

からだでひらがなの50音を作った写真に、リズムカルな文章をそえた写真絵本。からだで文字を作りながら、文字の形の不思議さ、体の動きの面白さを味わえる。

<小学校中学年>

◎「あまのじゃくにかんぱい!」 宮川ひろこ・作/小泉るみ子・絵 童心社 1100
95P/22cm

ちょっぴり、あまのじゃくなおばあちゃんは、4人の孫たちのために「いじわる教室」をひらくことにしました。その授業の中味とは...? 「かんぱい!」シリーズ第9弾。

◎「つくしちゃんとすぎなさん」 まはら三桃・作/陣崎草子・絵 講談社 1400
131P/22cm

あのおうちのおばあさんって、もしかして魔女? 小2のつくしちゃんと、ひとり暮らしのすぎなさん。交互の視点から語られる、年の離れたふたりと周囲の人々のふれあいの物語。『毎日新聞』大阪本社版の連載小説を加筆・修正。

◎「こんにちは、いたずらっ子エーミル」 アストリッド・リンドグリーン/ビョルン・ベリイ・絵 徳間書店 1500
33P/26cm

農場で暮らすエーミルは、いたずらばかりしている男の子。なにをやっても大騒ぎを引き起こし...。スウェーデンで読み継がれている児童文学の名作を、作者自身が小さな子どものために絵本としてまとめた作品。

◎「へんしん! へなちょこヒーロー」 野泉マヤ・作/下平けいすけ・絵 文研出版 1200
119P/cm

小さいころ、ぼくは信じていた。いつか自分も変身してヒーローになれる。強くなって、だれかを守るために戦うんだって。そんなことできるわけないって思ってたとき、言われたんだ。「好きなら、できる」ぼくのかたにおかれたその手は、おおぜいの敵をつぎつぎと投げとばし、必殺パンチをくりだした手。あこがれの、超人グレイトの手だった...

◎「走れ! 未来のエースストライカー」 吉野万理子・作/羽尻利門・絵 講談社 1100
64P/22cm

進太は、プロサッカー選手・栗山輝成に会って、裏の姿と強さのヒミツを目撃! プロになる秘訣を学び...

おはなしを楽しみながら、あこがれのお仕事がよくわかる本。職業への理解がさらに深まる「まめちしき」つき。

◎「風来坊の子守歌」 川端 誠 B L出版 1 6 0 0
3 2 P / 2 7 cm

戦火の中、赤ん坊をたすけだした風来坊。親とはぐれたその子を「風(ふう)」と名付け、親さがしの旅をつづける。ふたりは、まるで親子のように心をかよわせるが…。人情味たっぷりの、時代活劇絵本。

絵「クリスマスイヴの木」 デリア・ハディ・文／エミリー・サットン・絵 B L出版 1 6 0 0
3 2 P / 3 0 cm

明日はクリスマス。お店には1本の小さなモミの木が取り残されていました。ひよろひよろで、少しまがったその木を手に入れたのは、貧しいひとりの男の子でした…。クリスマスイヴに起こった素晴らしい奇跡のお話。

◎「あからんくん」 松本一起・詩／安部竜一・画 スペースシャワーネットワーク 1 6 6 7
5 9 P / 3 1 cm

「あからんくん」は好奇心旺盛で、コミュニケーションをとるのが好き!「あいうえお」の一文字一文字をタイトルに取り入れた童謡詩を紹介する。「あ」～「の」の詩を掲載。「あからんくん」テーマ詩も掲載。

絵「おじいちゃんのコート」 ジム・エイズワース・文／バーバラ・マクリントック・絵 ほるぷ出版 1 6 0 0
3 2 P / 2 9 cm

おじいちゃんの人生によりそって、大切にされたコート。最後はかげもかたちもなくなって、残ったのは…。長く愛されてきたイディッシュ語の民謡「ぼくはすてきなコートをもっていた」をもとにしたお話。裏表紙にレシピあり。

◎「せかいいちのねこ」 ヒグチュウコ・絵と文 白泉社 1 4 0 0
1 0 1 P / 2 2 cm

もっと愛されて、せかいいちの猫になって、男の子が大きくなってもしょにいたい…。猫になりたいと願うぬいぐるみのニャンコと、旅先で出会う本物の猫たちとの心あたたまる絵物語。『MOE』掲載をもとに単行本化。

< 小学校高学年 >

写・絵「ここで土になる」 大西暢夫 アリス館 1 4 0 0
3 9 P / 2 6 cm

ダム建設にゆれた村で、変わらず、動かず、そこに暮らし、土を耕し続けた夫婦がいる。村人が全員去った集落に根を張って生きる老夫婦と大イチョウの物語を、写真とともにつづる。見返しにも写真あり。

絵「ワンガリ・マータイ『もったいない』を世界へ」 フランク・プレヴォ 汐文社 2 5 0 0
4 1 P / 2 7 cm

1970年代、ケニアでは過剰な森林伐採のせいで多くの森が失われた。マータイは、木を植える活動をはじめ、同時に森を守るために独裁政府を相手に戦った…。ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイの活動を紹介する。

◎「二日月」 いとうみく そうえん社 1 3 0 0
2 0 7 P / 2 0 cm

ミルクを飲んでもすぐに吐いてしまう妹は、1歳になってもまだ歩けないし、立てないし、ハイハイも、おすわりもできない。医者にも、障がいがあるかもしれないと言われ…。生まれたばかりの妹と共に過ごす、少女の1年を描く。

◎「戦火の三匹ロンドン大脱出」 ミーガン・リスク 徳間書店 1 6 0 0
2 6 1 P / 1 9 cm

戦争が始まった。都会に残されたペットたちは…? 第二次世界大戦開戦初期の英国を舞台に、疎開した

子どもたちの姿、都会に残る人々の暮らし、ペットたちの運命を織り交ぜて綴った、新しい視点から戦争を描く物語。

◎「現代落語おもしろ七席」 齊藤 洋・昨／森田みちよ・絵 理論社 1400
195P／19cm

洒落のなかにも教養あふれる、魔術のような話術! 希代のストーリーテラー西東亭ひろし丸が、古今東西の話題を縦横無尽に語る。「名人」「四字熟語」「運命」など、新作落語七席を収録。

◎「オンネリとアンネリのおうち」 マリヤッタ・クレンニエミ 福音館書店 1600
181P／21cm

オンネリとアンネリは、ふたりで好きなように暮らせる夢のような家を手に入れます…。1966年の誕生以来、女の子らしい興味と興奮と喜びにあふれた児童文学の定番として少女たちが熱中した「オンネリとアンネリ」シリーズ。

◎「へなちょこ探偵24じ」 齊藤飛鳥 童心社 1600
318P／20cm

七草町の商店街にある<探偵事務所・24じ>。全身まっ白なスーツのへなちょこな探偵が、いつでもどんな依頼でも全力で解決してくれるぜ。小学5年の矢間鯨彦は、ある日探偵事務所の窓から落ちてきたぼうしを拾い…。

◎「むのたけじ100歳のジャーナリストからきみへ『育つ』」 むのたけじ・菅聖子 汐文社 1500
71P／22cm

友情が深まると自分より友が大切になる。やるとハラをきめた以上は、全力投球することだ…。戦前、戦中、戦後を生きてきた100歳の現役ジャーナリストが贈る33のメッセージ。

◎「むのたけじ100歳のジャーナリストからきみへ『人類』」 むのたけじ・菅聖子 汐文社 1500
71P／22cm

現代人のすべての生命は、地上に最初に出現した人につながっている。人間の寿命は70年や80年ではない。700万年だ…。戦前、戦中、戦後を生きてきた100歳の現役ジャーナリストが贈る33のメッセージ。

知「はじめてのだしクッキング 昆布だしで定番和食」 宮沢うらら 汐文社 2400
47P／27cm

自然の恵みがたっぷり入った、「昆布だし」の力を知っていますか? 昆布だしのとり方を説明し、汁ものから、主食、主菜、副菜まで、「昆布だし」を使った定番和食料理のレシピを紹介します。

知「現場で働く人たち②災害現場」 こどもくらぶ あすなろ書房 2800
32P／31cm

さまざまな仕事の現場を切りとり、その現場でどんな人たちがどのように働いているのか、写真を交えて紹介。2は、消防官、航空隊など、災害現場で働く人たちを取り上げる。見返しに「働く人たちの制服図鑑」を掲載。

< 中学校 >

◎「すぐそこに、カヤネズミ」 畠佐代子 くもん出版 1400
143P／22cm

生息地である草地を人間が開発して減らしているため、絶滅のおそれがある、小さな野生動物カヤネズミ。カヤネズミの基本的知識から、調査で分かった生態、人間と野生動物が共存するための工夫までを紹介する。

◎「聞く力、話す力 インタビュー術入門」 松原耕二 河出書房新社 1300
205P／19cm

人の心は豊かな森。そこに分け入っていくのがインタビュー。1000人以上にインタビューしてきた名キ

ャスターが、相手の心をひらく聞き方・話し方を解説する。コミュニケーションを円滑にするためのヒントが満載。

◎「しゅるしゅるばん」 おおぎやなぎちか 福音館書店 1500
227P/21cm

東京を離れ岩手の田舎へ引っ越した解人の前にふしぎな男の子が現れた。彼は自分のことを「しゅるしゅるばん」だと言った。現在と過去を行き交いながら、彼の正体が明かされていく…。

知「14歳からの宇宙論」 佐藤勝彦 河出書房新社 1300
218P/19cm

アインシュタインの宇宙モデル、暗黒エネルギー、超弦理論、100兆年後の未来…。138億年を一足飛びに知る、14歳からの宇宙入門。益田ミリの描きおろしマンガも収録。

知「農業の発明発見物語③果物の物語」吉岡博人・監修/小泉光久・著 大月書店 2500
62P/21×22cm

米や野菜、果物、牛肉など、身近な食料はどのようにして、よりおいしく、より効率的な作物となっていたのか。人間の手による「進化の歴史」をたどるシリーズ。3は、世の中の移り変わりと共に刻まれてきた果物の歴史を紹介。

< 高等学校 >

◎「厭世マニュアル」 阿川せんり KADOKAWA 1400
284P/19cm

くにさきみさと、22歳フリーター、札幌在住。常にマスク着用のため自らを「口裂け女」略して「口裂け」と自称している。そんなモラトリアム系乙女が巻き込まれる、おかしみと切なさ満載の人間模様。等身大青春エンタメ。

◎「イカの不思議」 桜井泰憲 北海道新聞社 1500
207P/19cm

イカの寿命は何年？ 本当に空を飛ぶ？ 巨大卵塊はどこに？ イカ研究の最先端を走る著者が生態の謎に迫る。鮮度を保つ秘密兵器や、気候変動による漁場の変化など気になる話題も満載。

◎「集団的自衛権はなぜ違憲なのか」 木村草太 晶文社 1300
277P/19cm

80年代生まれの若き憲法学者がその専門知をもとに、安倍政権が進めようとしている安保法制、集団的自衛権行使に対して根源的な批判を行う。哲学者・國分功一郎との討議も収録。

◎「骨風」 篠原勝之 文藝春秋 1650
227P/20cm

鉄と戯れ、ゲージツする日々。殴られ続けた父親の死。蜂に刺され鹿が迷いこむ山の生活。老いてなお逃げ続ける脚力で描き切った、生と死を見つめる眼差しが優しい私的短編集。『文學界』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

◎「ファインマンさん最後の授業」 レナード・ムロディナウ 筑摩書房 1000
233P/15cm

若手科学者と二度目のガン手術の直後で年老いたファインマン先生との最後の交流。科学や人生の素晴らしさを静かな日々の中に見つめ、一級の物理学者たちの様子も生き生きと描きだす珠玉のノンフィクション。

◎「Masato」 岩城けい 集英社 1200
228P/20cm

父親の転勤にともない、家族全員でオーストラリアに引越し、現地の小学校に通うことになった真人。言語の壁を乗り越え逞しく成長するが…。少年とその家族の<故郷の物語>。『すばる』掲載を書籍化。

< その他 >

あとがき

札幌市学校図書館協議会 副会長 松井 良彰

(札幌市立三里塚小学校長)

本年度、札幌市の学校図書館において最も大きな出来事と言えば、学校司書が配置されたことであると思う。本年度は10名だったが、次年度はさらに増員される予定である。学校司書の配置の必要性は以前から言われていたが、「学校図書館法」が改正され、平成26年6月27日に公布、平成27年4月1日施行の中で、学校司書の配置が努力義務となったことで大きく推進されることとなった。

学校司書の配置の目的は、公布にあたって出された、「文部科学省初等中等教育局長通知」に明らかなので、少し長い引用する。

「学校教育において、児童生徒の確かな学力の育成には、言語活動や探究的な学習の充実が必要であり、同時に、読書活動等を通じて児童生徒の豊かな人間性を育成していくことが求められている。これらの活動の充実のためには学校図書館が利活用できるよう、整備を進めることが重要である。改正法は、この重要性に鑑み、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による利用の一層の促進に資するため司書教諭と連携しながら、その機能向上の役割を担う専ら学校図書館の事務に従事する職員を学校司書として位置づけ、これを学校に置くように努めること等について定めるものである。」(アンダーラインは筆者)

すなわち、学校図書館の二つの役割、「学習センター」と「読書センター」としての機能の利活用の向上である。すでに司書教諭は配置されているが、多くの教諭が担任を持っていることなどから、その活動はどうしても限定的にならざるを得なかったのが現実である。一方、小学校のうち「地域開放図書館」のある学校は司書さんが読書推進の大きな役割を担ってくれている。また、開放図書館のない学校では、保護者や地域の方を中心にした「図書ボランティア」がおり、貸出業務や図書館の装飾、読み聞かせなどをしてくださっている。このような現状から中学校への配置が進められていると考えられる。

今後は、先行配置されている学校での活動の交流等を通し、学校司書の具体的な活動内容や教諭との連携等について本協議会でも研修・研鑽をし、市内の学校にその内容を還元していくことが重要であると考えている。次年度以降の実務研修等で取り上げていきたい。

本協議会にとっては、本年度、研究部、事業部が新たな体制で活動をスタートしたことも大きなことである。「読書感想文コンクール」は事務的な事項も多いことから、やはり戸惑うことも多々あり、前任者の存在の大きさを改めて感じるところとなった。「研究大会」は若手教員による積極的な授業づくりと開催校の全面的な協力をいただき、多くの参観者が集い有意義な研究協議が行われた。

また、本年度は、室蘭で「第41回北海道学校図書館研究大会」が開催された。次の第42回大会は札幌開催である。札幌での開催は平成11年の第33回大会以来、実に18年ぶりのこととなる。室蘭大会の成果を引き継ぎながら、札幌として取り組んできた活動をしっかりと形にしていくことが求められる。その準備はようやく緒についたばかりである。残念ながら、まだまだ「人」が足りないのが現状であるが、各学校で地道に図書館の利活用のための活動に取り組んでいる先生はたくさんいる。是非多くの先生方の力を結集して札幌大会を充実したものとしていきたい。

平成28年度は例年の研究活動、事業と共に、札幌大会の本格的な準備に取り組んでいくためにも多くの図書館人を糾合していく年としたい。



発行年月日 平成28年 3月31日

編集者 札幌市学校図書館協議会
事務局

発行者 札幌市学校図書館協議会

印刷・製本 (株)有伸商会